

松戸市子育て世帯生活実態調査 分析中間報告

2017年12月

首都大学東京
子ども・若者貧困研究センター

有効回答数

有効回答数（上段） および有効回答率（下段）

	配布人数	子ども票	保護者票	親子のマッチング ができた票
小学5年生	3,929	3,603	3,605	3,405
		91.7%	91.8%	86.7%
中学2年生	3,740	3,178	3,192	3,115
		85.0%	85.3%	83.3%

回答者の属性

子どもの性別（子ども票ベース）

	男	女	無回答
小学5年生	1,695	1,654	254
中学2年生	1,440	1,479	259

保護者の子どもとの属性

	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	施設職員	無回答
小学5年生	257	3,286	0	5	2	2	2	51
中学2年生	267	2,848	1	13	3	1	3	56

母親の国籍

	日本	日本以外	いない	無回答
小学5年生	3,417	113	19	56
中学2年生	3,046	61	27	58

父親の国籍

	日本	日本以外	いない	無回答
小学5年生	3,334	78	83	110
中学2年生	2,949	25	82	136

回答者の属性

保護者の年齢

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
小学5年生	5	1	20	214	826	1,446	852	154	19	11	57
中学2年生	1	2	3	66	378	1,140	1,182	305	35	28	52

世帯タイプ

	ふたり親 (二世代)	ふたり親 (三世代)	ひとり親 (二世代)	ひとり親 (三世代)	父母なし世帯	施設
小学5年生	2,740	300	472	81	10	2
中学2年生	2,298	289	490	98	14	3

世帯タイプ・親の就労状況

世帯タイプ：

(保護者票ベース)

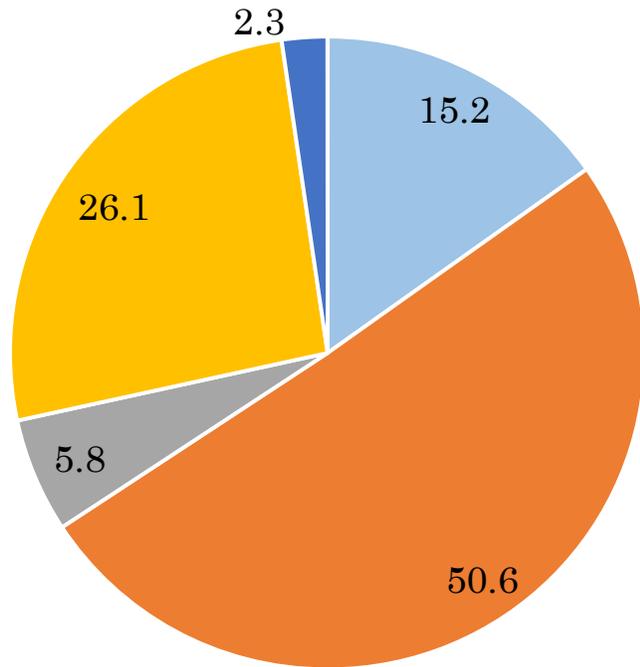
	小学5年生		中学2年生	
	松戸市	東京都 (※参考)	松戸市	東京都 (※参考)
ふたり親 (二世帯)	76.0%	76.1%	72.0%	74.1%
ふたり親 (三世帯)	8.3%	8.2%	9.1%	8.1%
ひとり親 (二世帯)	13.1%	11.1%	15.4%	11.8%
ひとり親 (三世帯)	2.2%	2.0%	3.1%	2.5%
父母なし世帯	0.3%	2.6%	0.4%	3.5%
施設	0.1%		0.1%	

※ 東京都「子どもの生活実態調査（小中高校生）」平成28年度、調査対象：墨田区、豊島区、調布市、日野市

- ひとり親世帯（二世帯＋三世帯）は、小学生では15.3%、中学2年生では18.4%。東京都4自治体平均よりも若干多め。
- 三世帯世帯は、小5は10.6%、中2は12.1%。

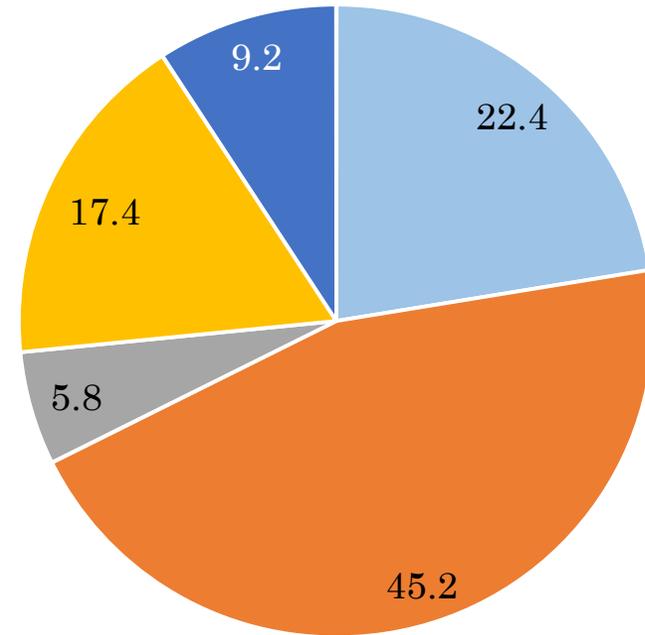
小学5年生の母親の就労状況

松戸市母親の就労状況
(小学5年生)



■ 正規 ■ 非正規 ■ 自営業等 ■ 主婦等 ■ 無回答

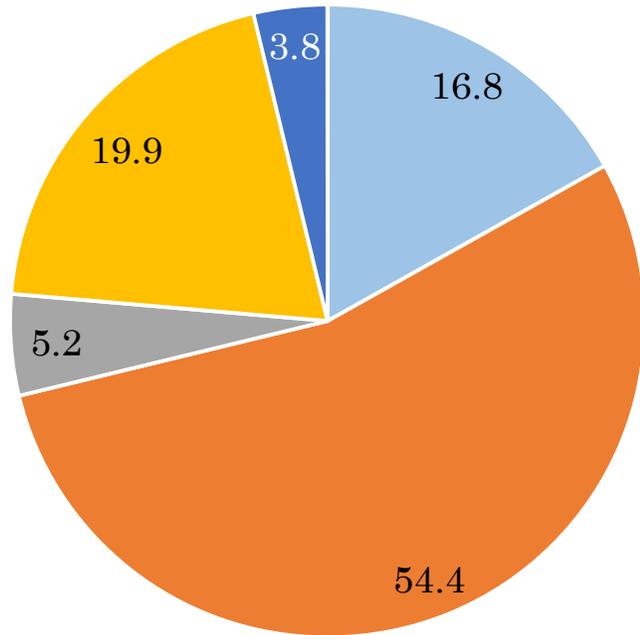
松戸市母親の就労状況
(小学5年生・ひとり親世帯)



■ 正規 ■ 非正規 ■ 自営業等 ■ 主婦等 ■ 無回答

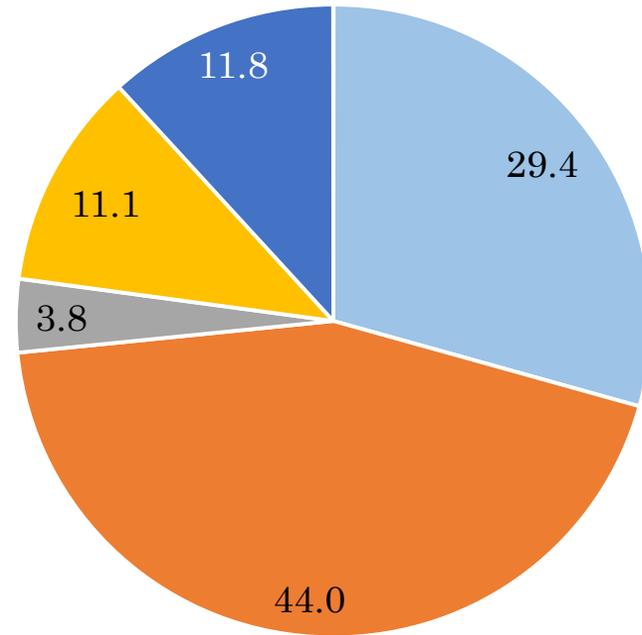
中学2年生の母親の就労状況

母親の就労状況
(中学2年生)



■ 正規 ■ 非正規 ■ 自営業等 ■ 主婦等 ■ 無回答

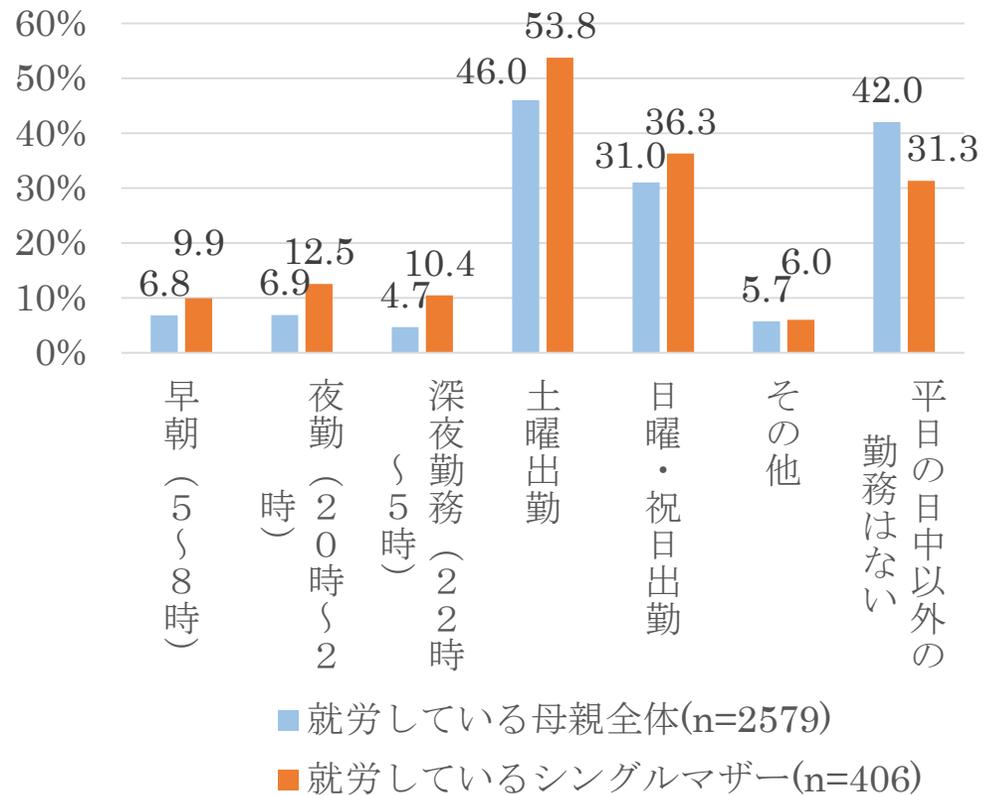
母親の就労状況
(中学2年生・ひとり親世帯)



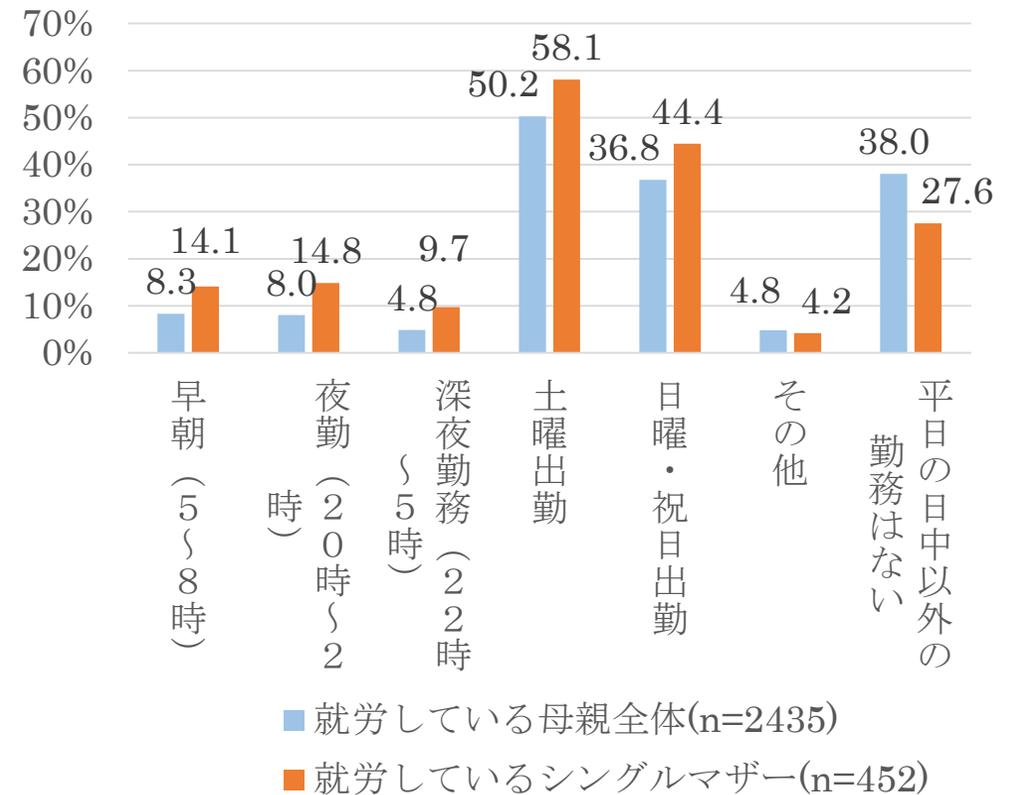
■ 正規 ■ 非正規 ■ 自営業等 ■ 主婦等 ■ 無回答

シングルマザーは平日の日中以外の就労が比較的多い

平日の日中以外の勤務状況（小学5年生）



平日の日中以外の就労状況（中学2年生）



困窮層・周辺層・一般層の割合

松戸市 子育て世帯生活実態調査(2017): 生活困難の定義

低所得

等価世帯所得（（収入＋社会保障給付金）÷√世帯人数）が厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準未満。

低所得基準：

所得中央値(428万円)÷

√平均世帯人数(2.47人)×50%

=136.2万円

2人世帯の基準=192.6万円

4人世帯の基準=272.3万円

「国民生活基礎調査」の所得には、稼働所得、公的年金・恩給、財産所得、社会保障給付金、仕送り・企業年金・個人年金・その他の所得が含まれる。税金・社会保険料などを含む。

金銭的理由による子どもの体験・所有物の不足

以下の15項目のうち、経済的な理由で体験・所有物が不足している項目が3つ以上。

1. 海水浴に行く
2. 博物館・科学館・美術館などに行く
3. キャンプやバーベキューに行く
4. スポーツ観戦や劇場に行く
5. 遊園地やテーマパークに行く
6. 毎月おこづかいを渡す
7. 毎年新しい洋服・靴を買う
8. 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わず
9. 学習塾に通わせる
10. お誕生日のお祝いをする
11. 1年に1回程度家族旅行に行く
12. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉
13. 子どもの年齢に合った本
14. 子ども用のスポーツ用品
15. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所

家計の状況

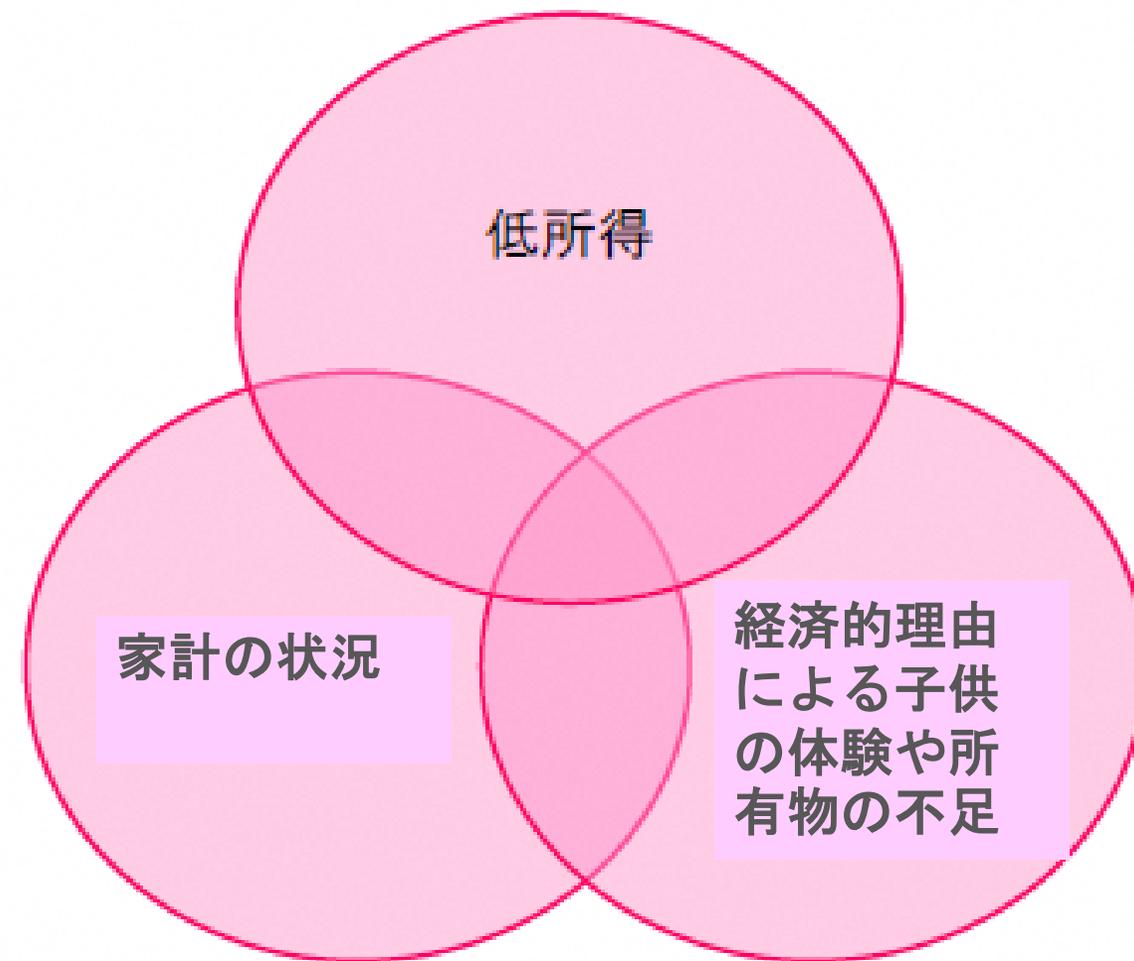
以下の7項目のうち、経済的な理由で料金を滞納したり、購入できなかったりしたことがある項目が1つ以上。

1. 電話
2. 電気
3. ガス
4. 水道
5. 家賃
6. 家族が必要な食料が買えなかった
7. 家族が必要な衣服が買えなかった

注：本定義は東京都（2016）「子供の生活実態調査」の定義と同じ（ただし収入については、平成28年度値を使用）

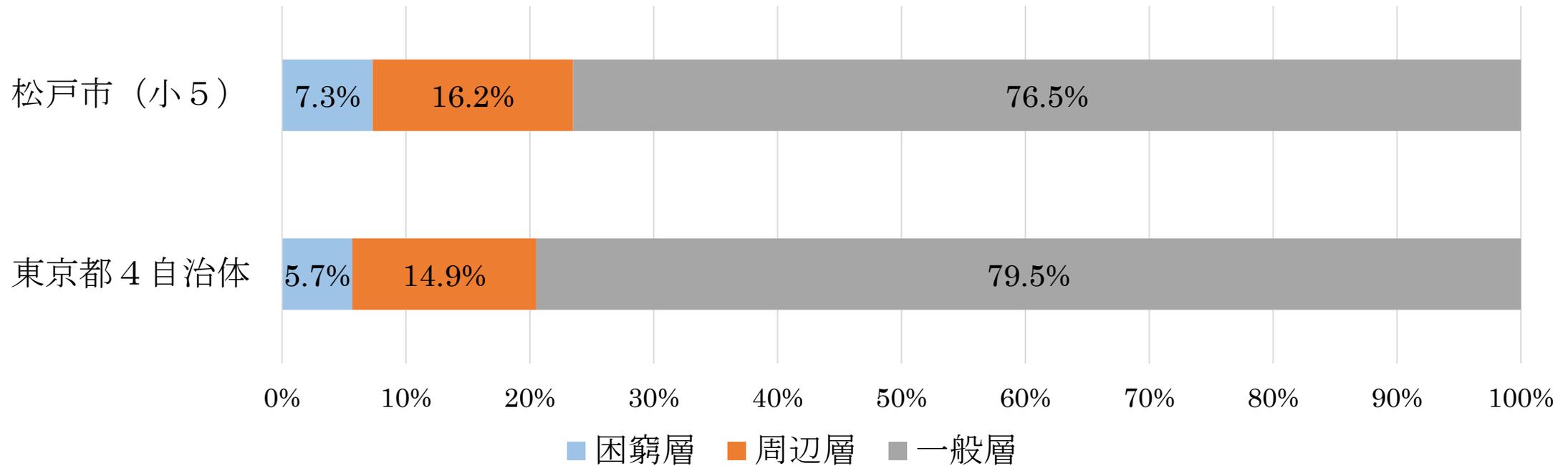
◆生活困難層(困窮層・周辺層)、一般層

生活困難層	困窮層 + 周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない



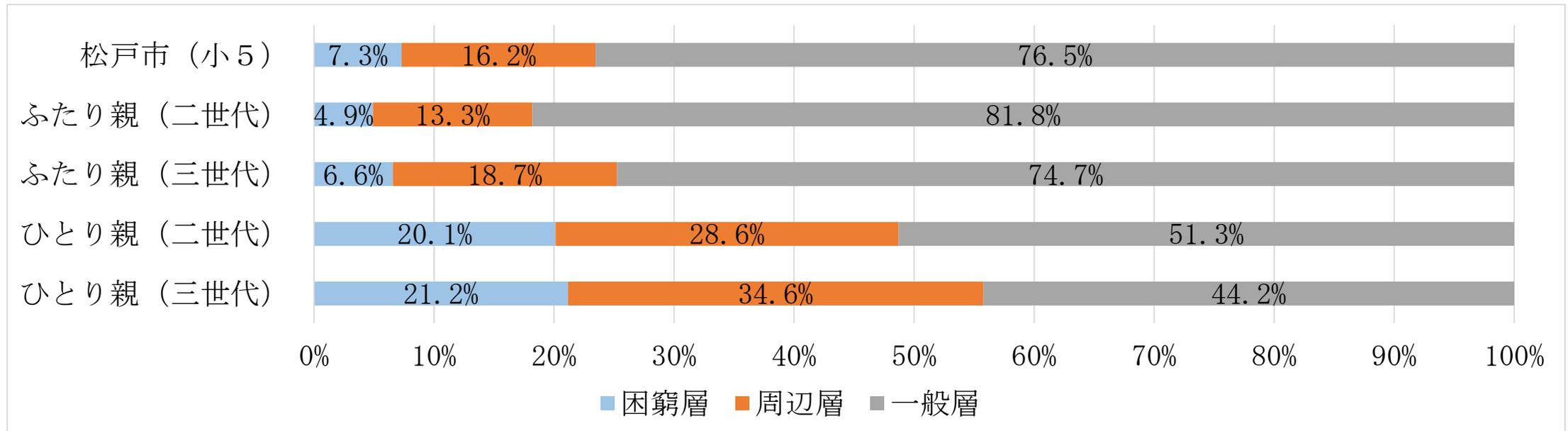
※ 以下、この3層を「生活困難度」と定義。

松戸市の小学5年生の7.3%が困窮層、 16.2%が周辺層。



- この割合は、東京都4自治体平均よりも若干多い。
- 松戸市調査において、所得の欠損値が多かったことによる影響も否めない（欠損の割合は、松戸市35.9%、東京都22.0%）。

世帯タイプ別では、ひとり親世帯、三世 代世帯の方が生活困難度が高い。



- ひとり親世帯の生活困難度は、ふたり親世帯よりも圧倒的に高く、困窮層、周辺層を合わせると半数近い。
- 三世代の世帯は、二世代の世帯よりも若干ではあるが生活困難度が高い。

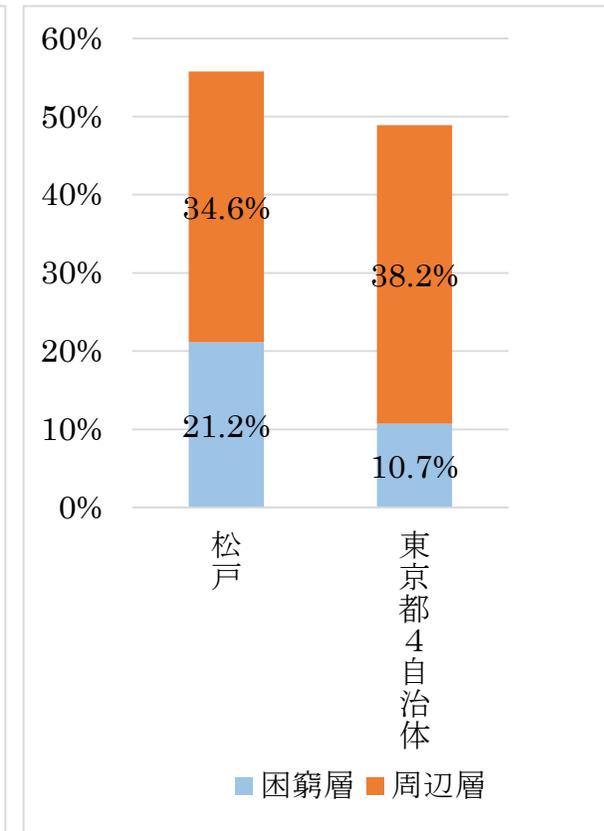
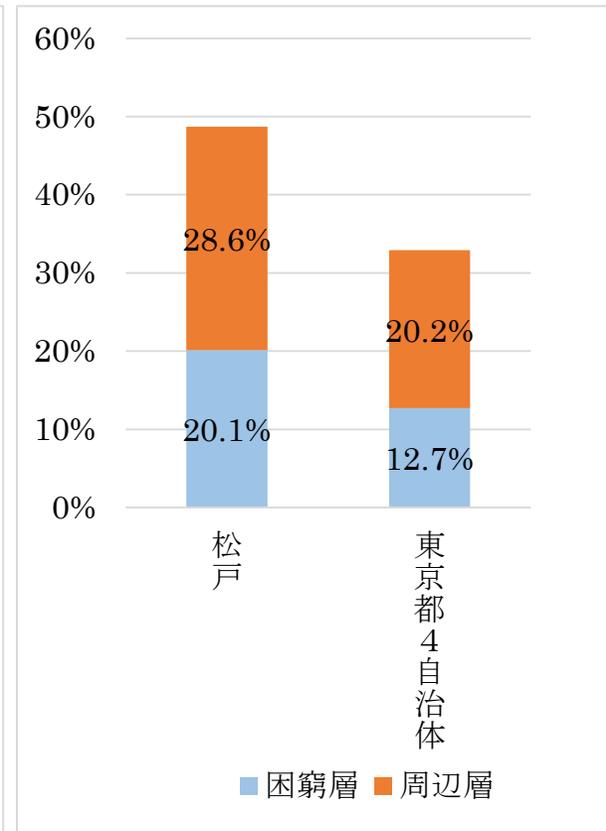
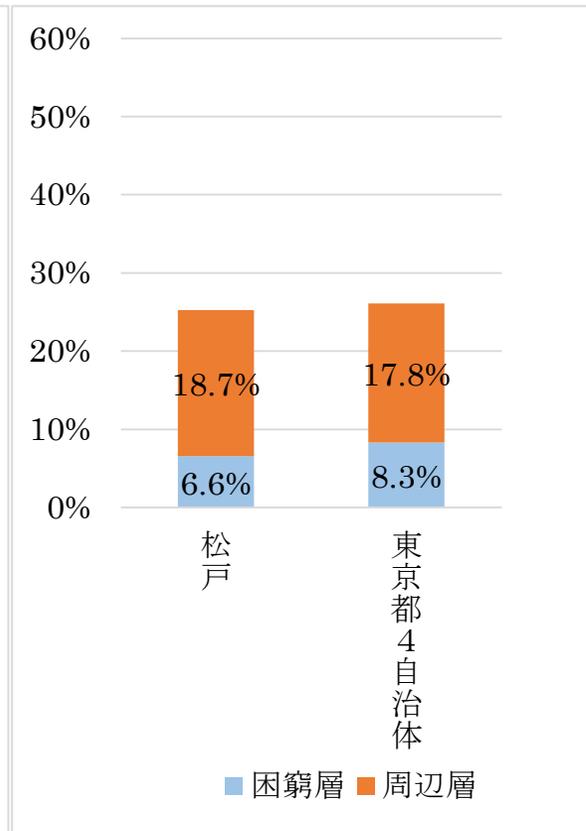
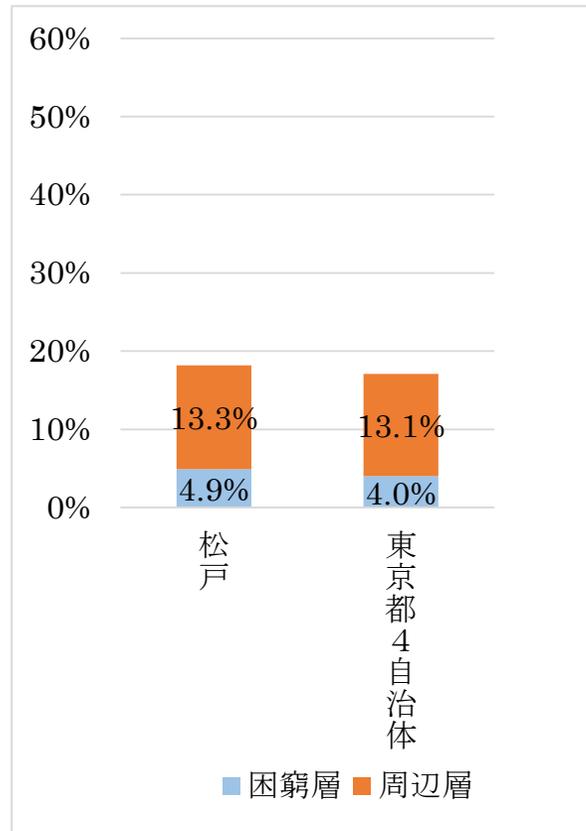
(小学5年生) 松戸のひとり親世帯は、東京都のひとり親世帯より生活困難の度合いが大きい。

ふたり親（二世代）世帯

ふたり親（三世代）世帯

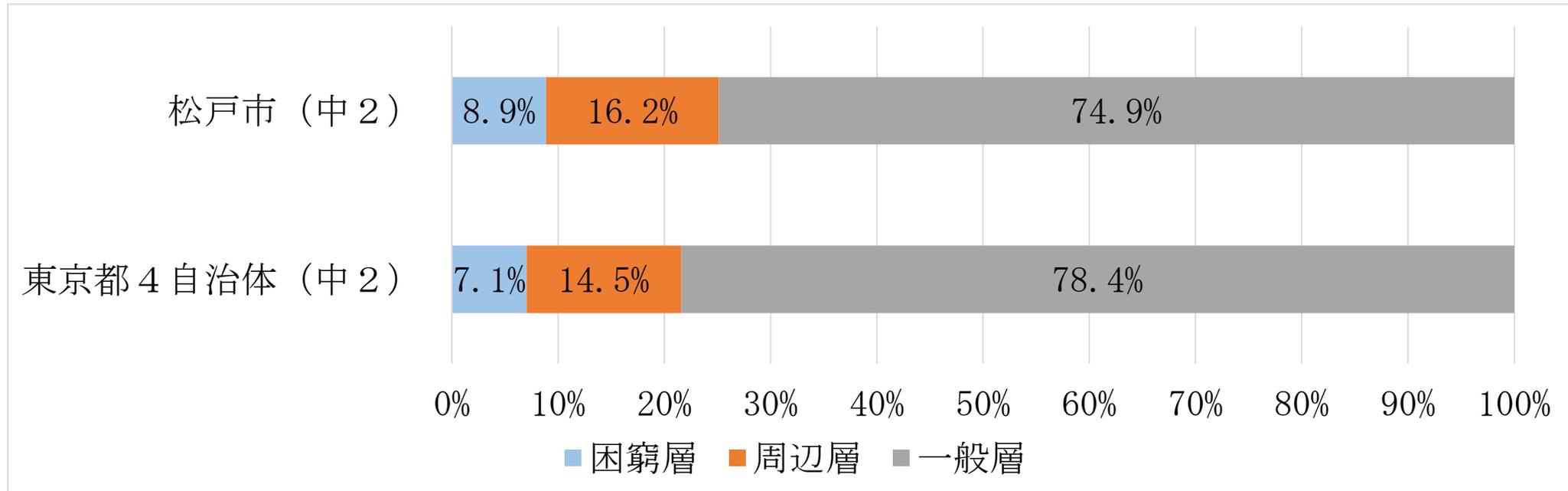
ひとり親（二世代）世帯

ひとり親（三世代）世帯



- 世帯タイプ別に東京と比べると、ふたり親世帯（二世代）の生活困難度は殆ど違いがないが、ひとり親世帯（二世代、三世代）では差が検証される。

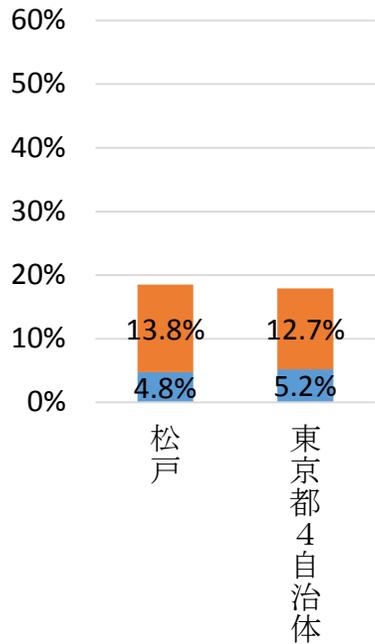
中学2年生は、小学5年生より生活困難度が若干高い。



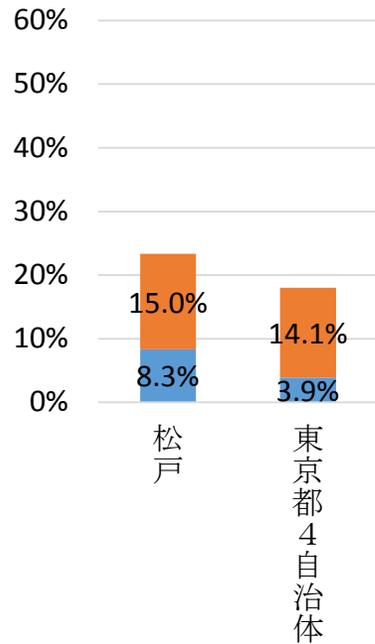
- また、小5と同様に、東京都よりも若干、生活困難度が高い傾向がある。

中2では、二世代と三世代とで、松戸と東京都の比較結果がかわる

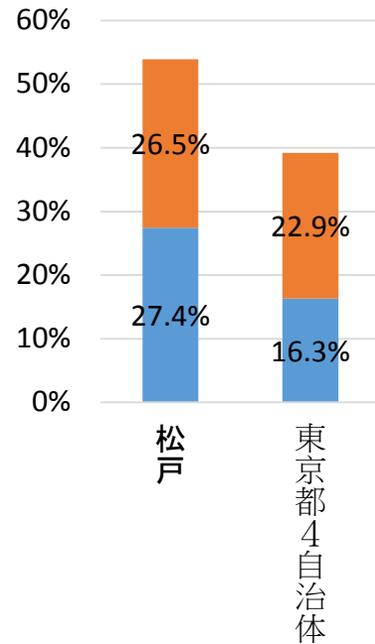
ふたり親（二世代）世帯



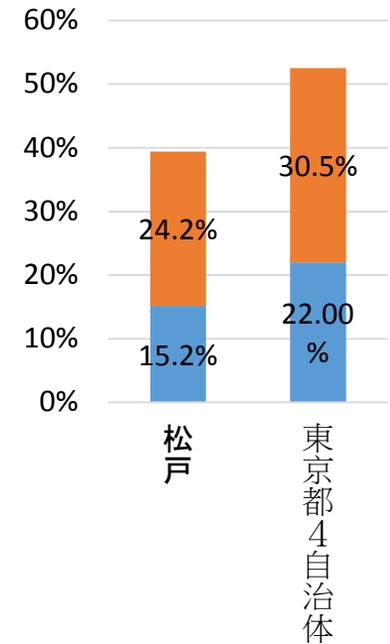
ふたり親（三世代）世帯



ひとり親（二世代）世帯



ひとり親（三世代）世帯



■ 困窮層 ■ 周辺層

■ 困窮層 ■ 周辺層

■ 困窮層 ■ 周辺層

■ 困窮層 ■ 周辺層

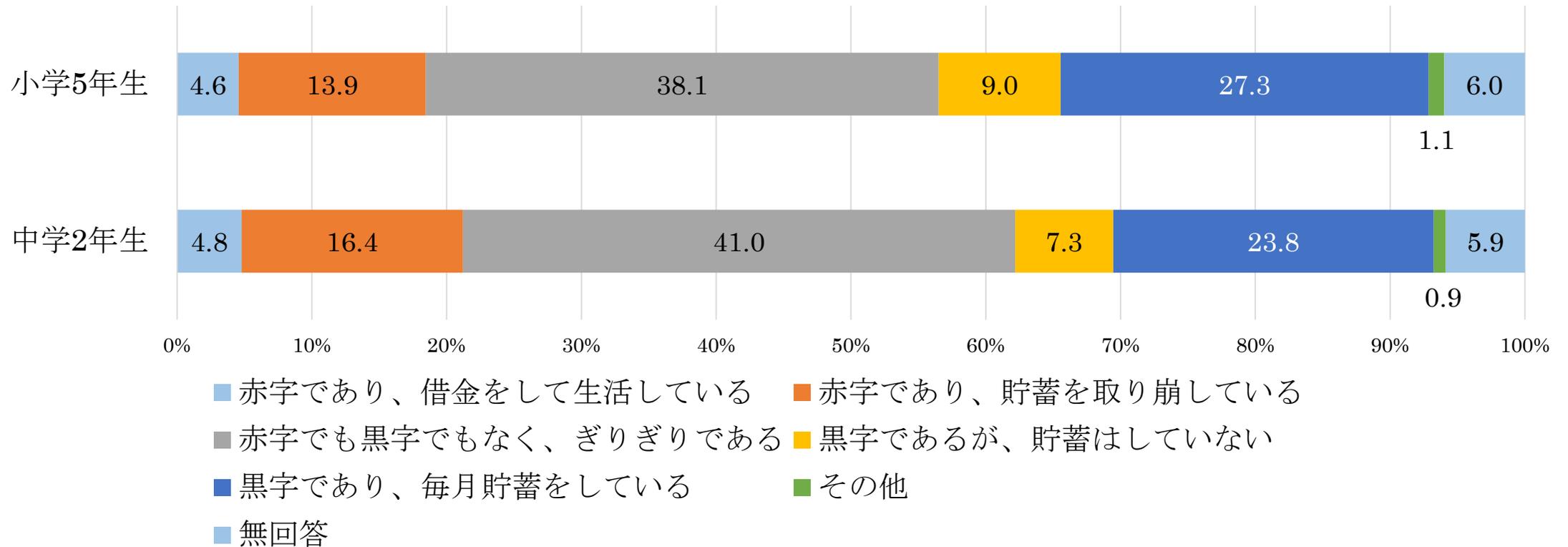
- 世帯タイプ別に東京と比べると、ふたり親世帯（二世代）は若干低め、ふたり親（三世代）、ひとり親（二世代）は東京都より高く、ひとり親（三世代）は、東京の方が高い。

家計の状況

- ・ 家計の状況
- ・ 食料を買えなかった経験
- ・ 衣類を買えなかった経験
- ・ 公共料金等の滞納経験

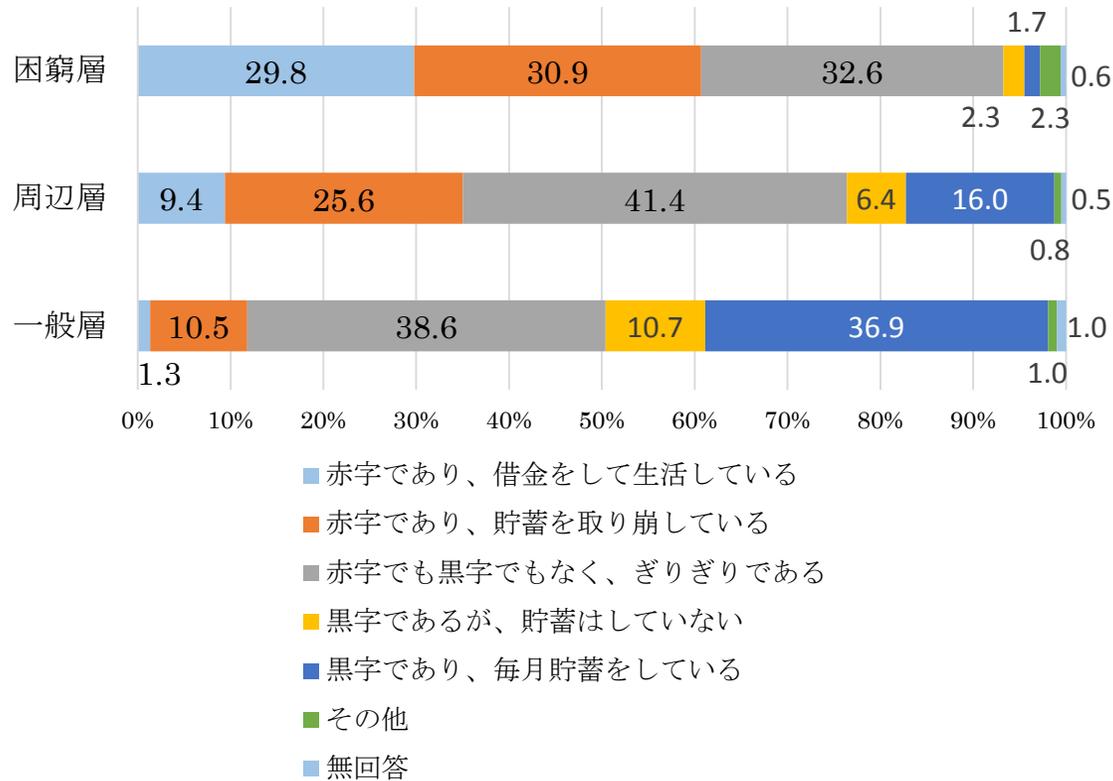
家計の状況：2割の世帯が赤字、5%は借金をして生活している

家計の状況

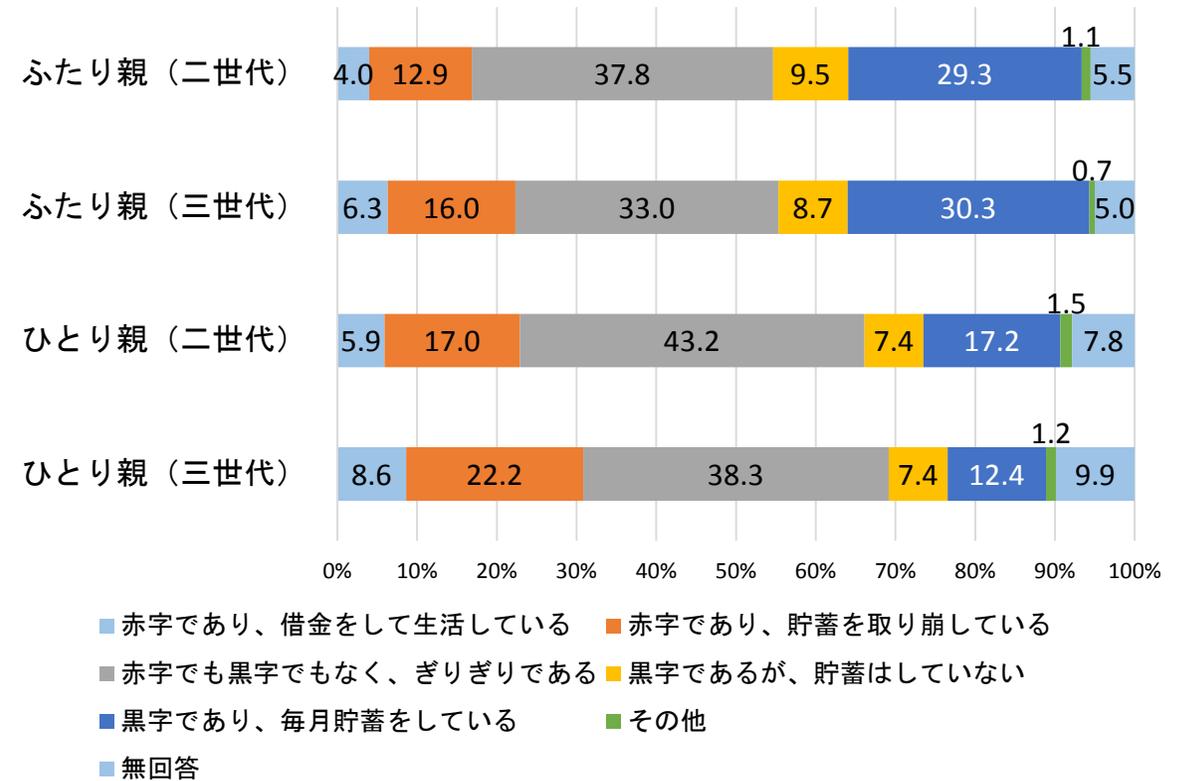


小学5年生の困窮層の3割、周辺層の1割は借金をして生活

家計の状況（小学5年生）：生活困難度別(***)



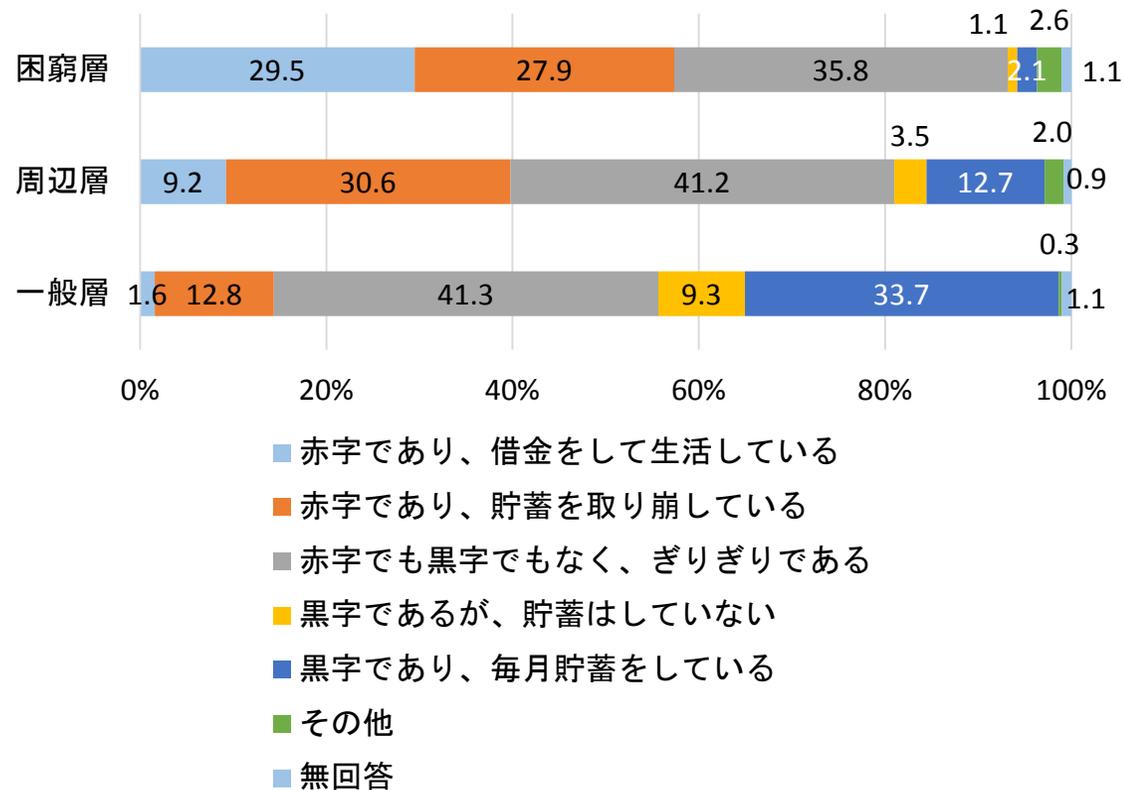
家計の状況（小学5年生）：世帯タイプ別(***)



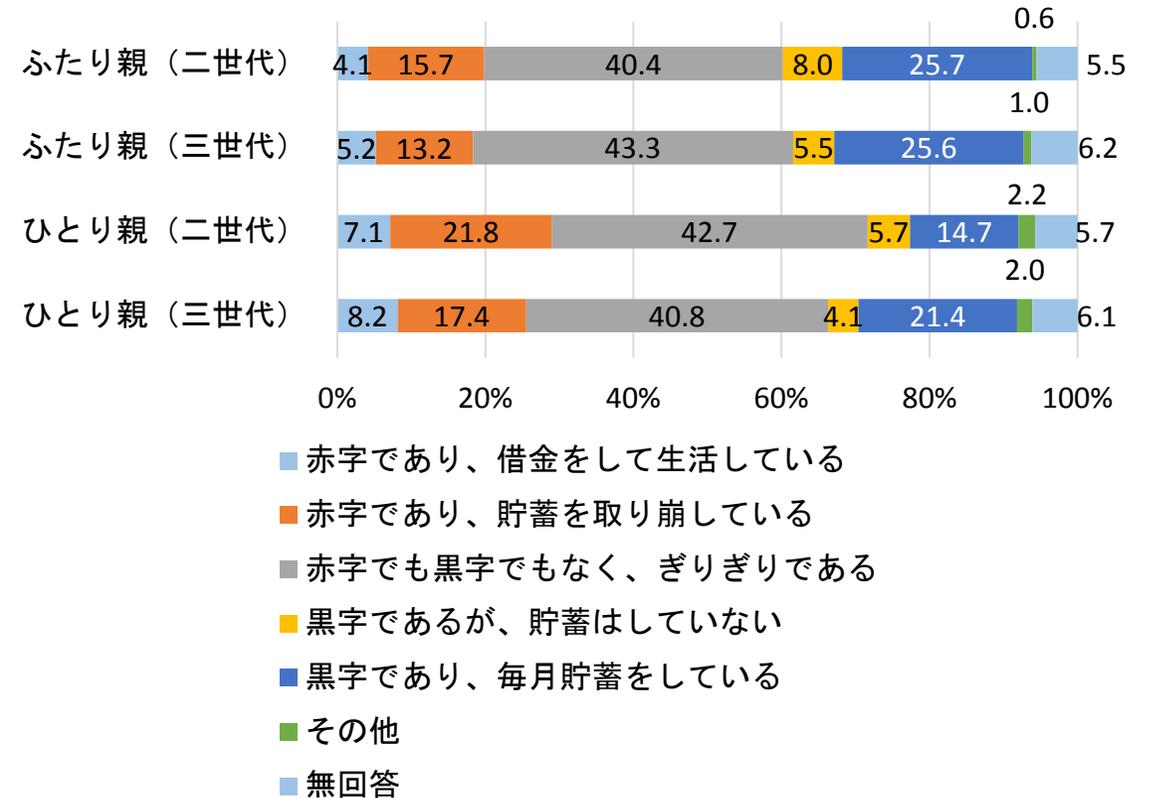
- 赤字世帯は、一般層の11.8%である一方、周辺層の35.0%、困窮層の60.7%。ふたり親（二世帯）の16.9%である一方、ひとり親（二世帯）の22.9%、ひとり親（三世帯）の30.8%

中学2年生の困窮層の3割、周辺層の1割が借金をして生活

家計の状況（中学2年生）：生活困難度別(***)



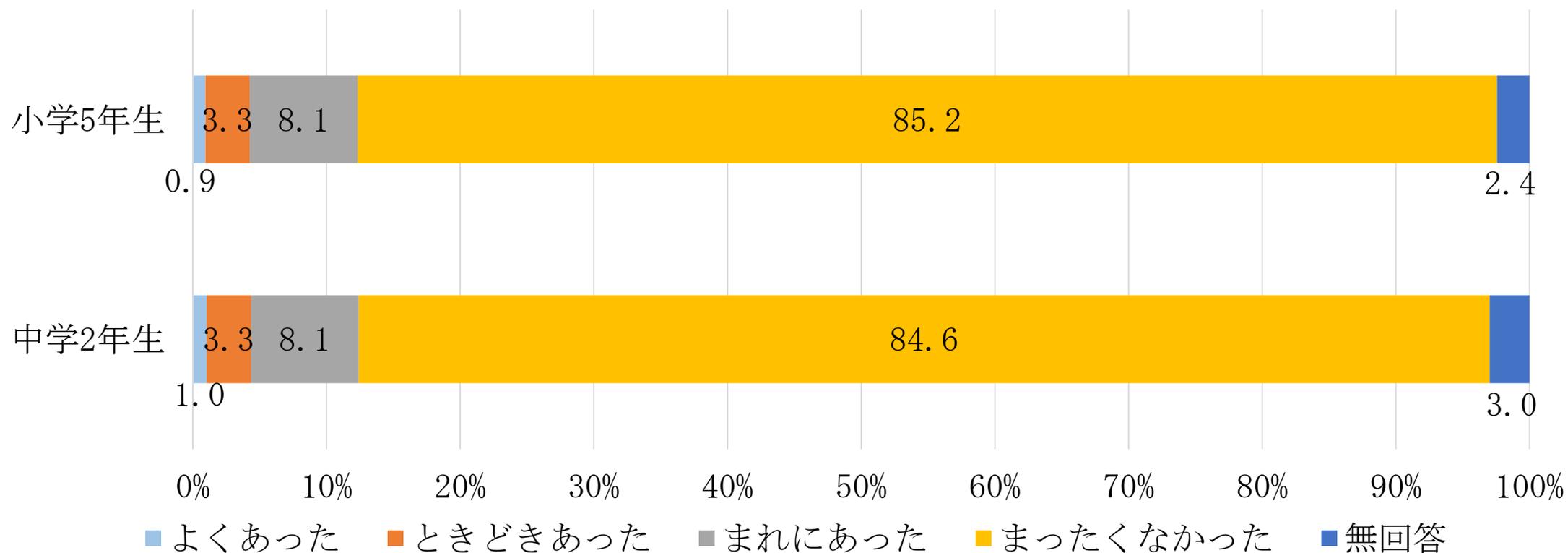
家計の状況（中学2年生）：世帯タイプ別(***)



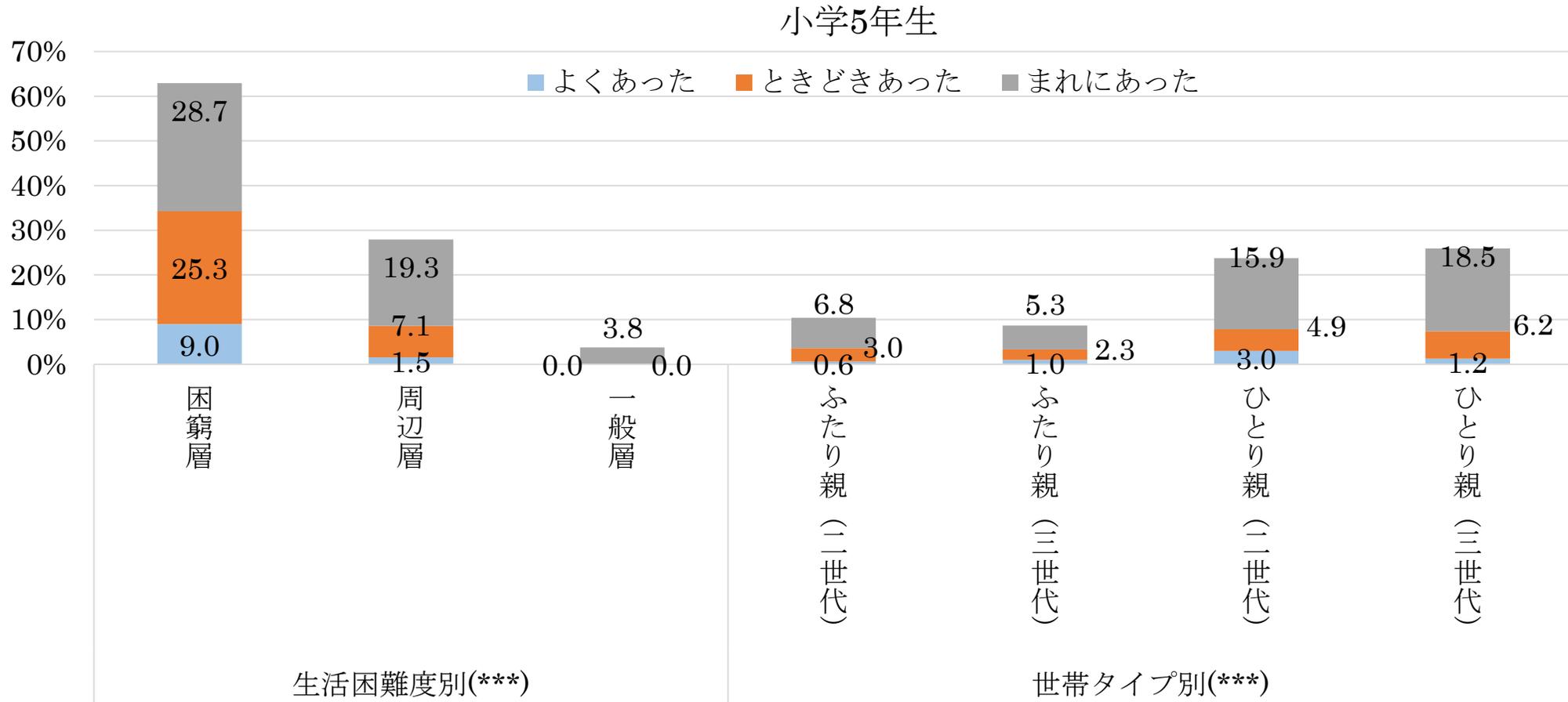
- 赤字世帯は、一般層の14.4%である一方、周辺層の40.8%、困窮層の57.4%。ふたり親（二世帯）の19.8%である一方、ひとり親（二世帯）の28.9%、ひとり親（三世帯）の25.6%

過去1年間に経済的理由で食料を買えなかった経験をしたのは、約12%

食料を買えなかった経験

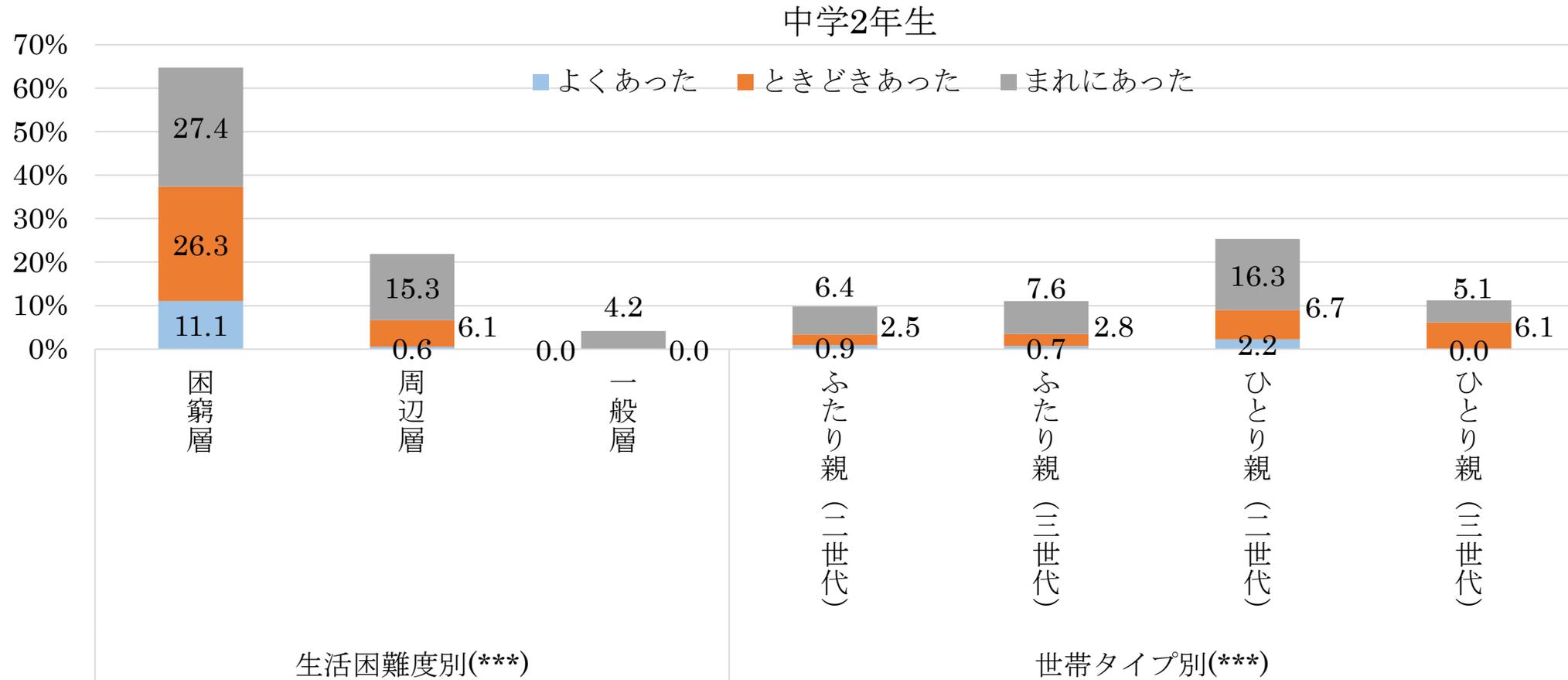


小学5年生の困窮層の1割は食料を買えなかった経験が「よくあった」



- 食べ物を買えなかった経験が「あった」のは、困窮層の63.0%、周辺層の27.9%、ひとり親（二世帯）の23.8%、ひとり親（三世帯）の25.9%。

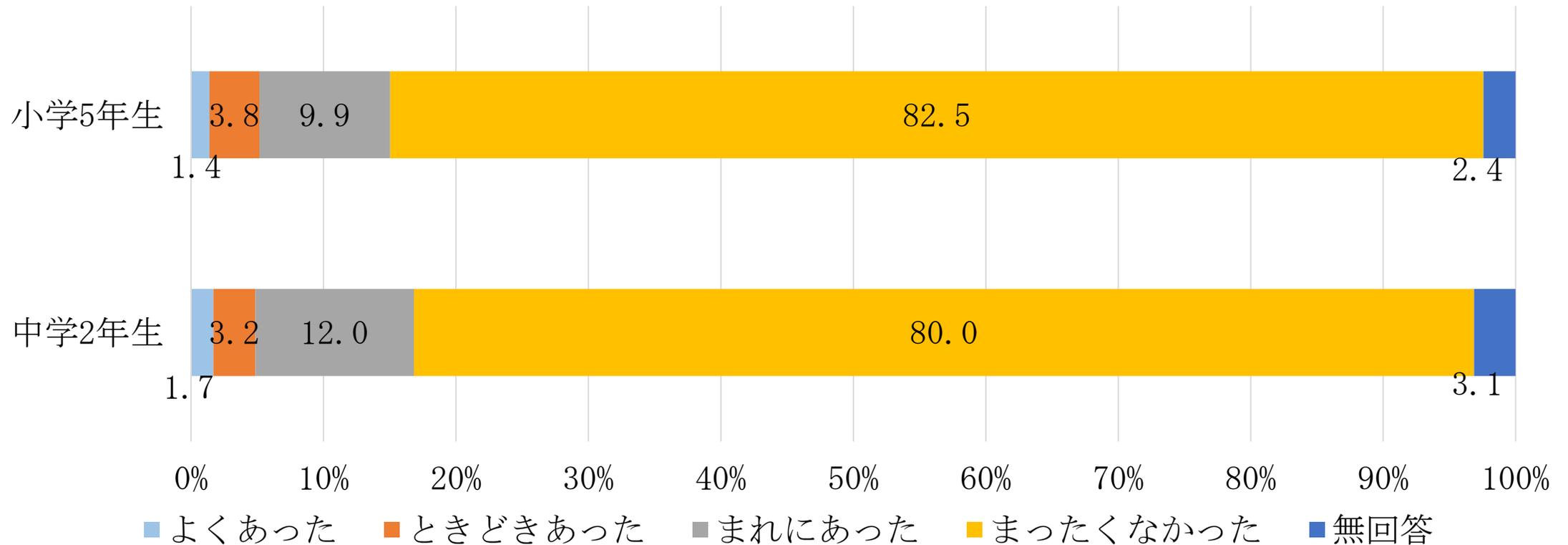
中学2年生の困窮層の1割は食料を買えなかった経験が「よくあった」



- 食べ物を買えなかった経験が「あった」のは、困窮層の64.8%、周辺層の22.0%、ひとり親（二世代）の25.2%。

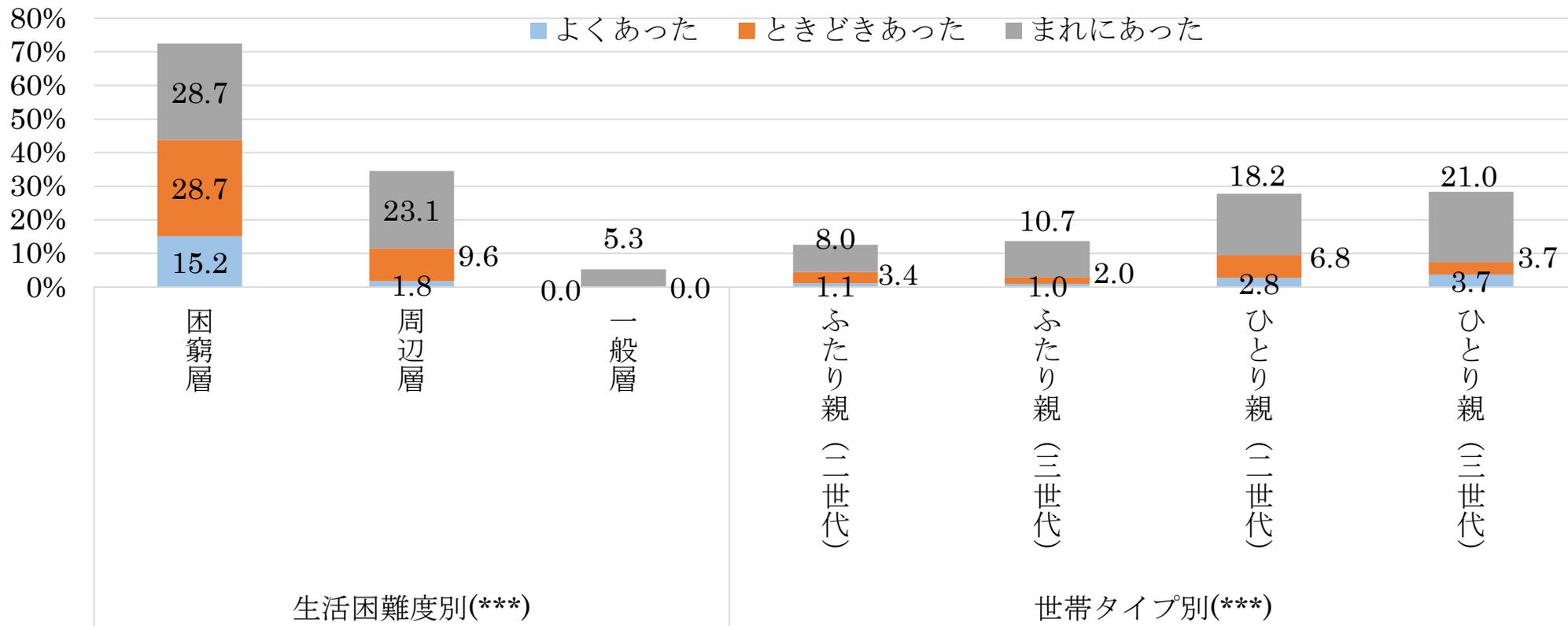
過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかった経験をしたのは、約15～17%

衣類を買えなかった経験



小学5年生の困窮層の15%は衣類を買えなかった経験が「よくあった」

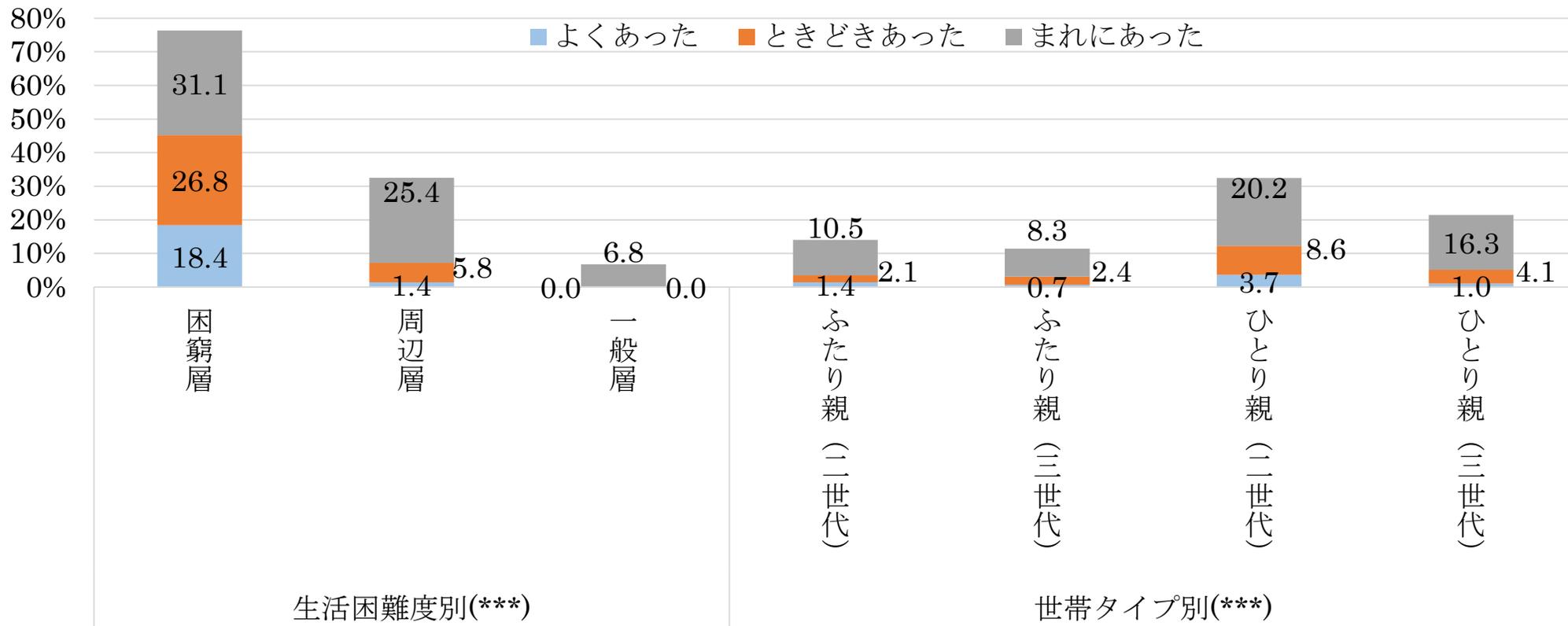
小学5年生



- 衣類を買えなかった経験が「あった」のは、困窮層の72.6%、周辺層の34.5%、ひとり親（二世帯）の27.8%、ひとり親（三世帯）の28.4%。

中学2年生の困窮層の18%は衣類を買えなかった経験が「よくあった」

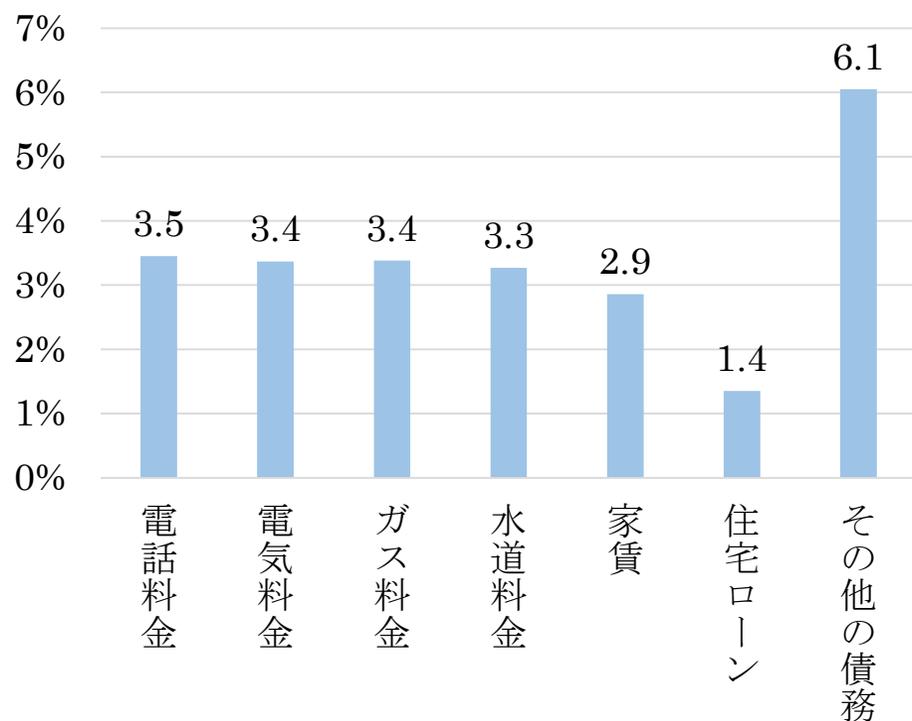
中学2年生



- 衣類を買えなかった経験が「あった」のは、困窮層の76.3%、周辺層の32.6%、ひとり親（二世帯）の32.5%、ひとり親（三世帯）の21.4%。

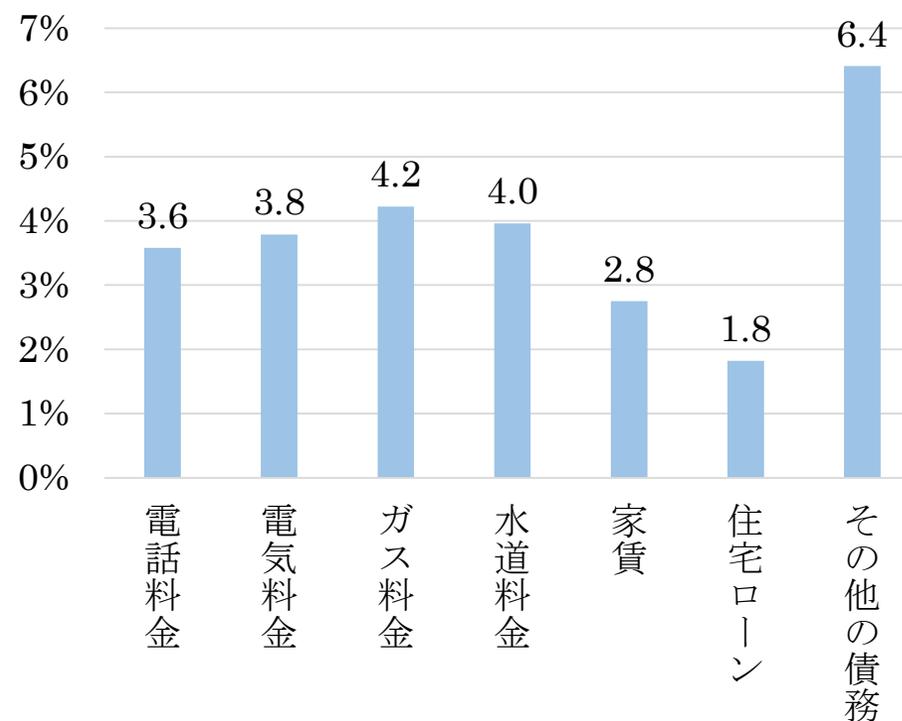
3~4%の世帯が過去1年間に公共料金を滞納した経験がある

公共料金等の滞納経験（小学5年生）



■ あった

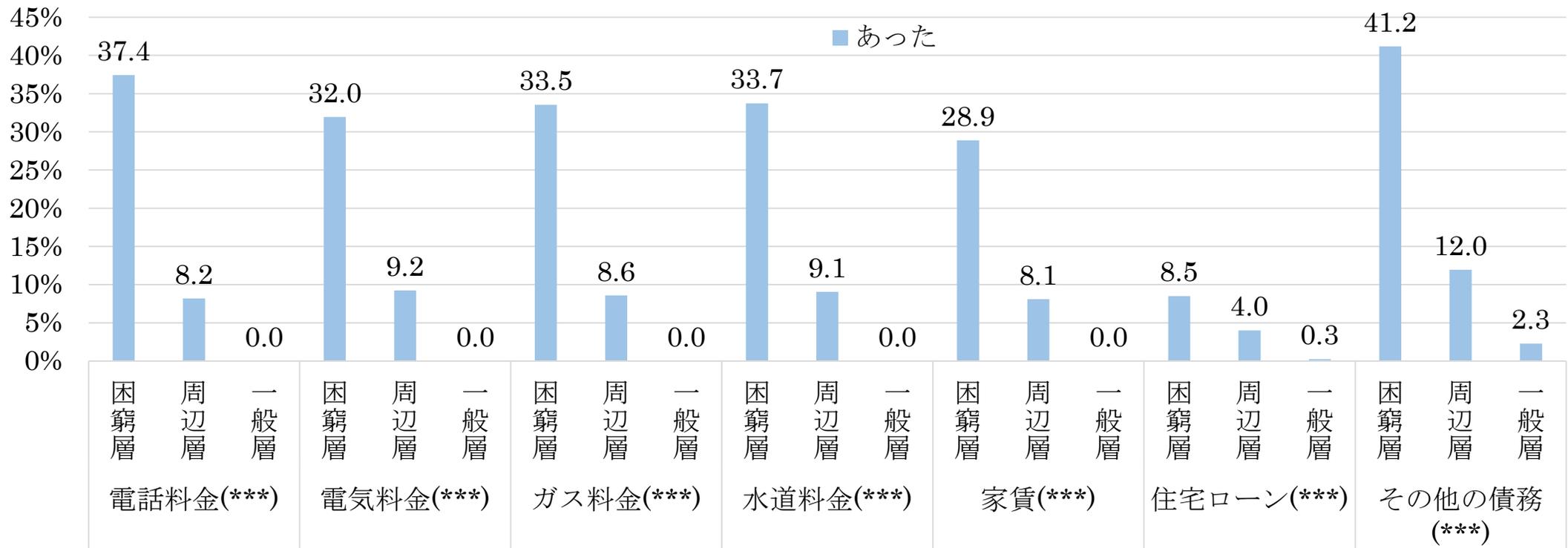
公共料金等の滞納経験（中学2年生）



■ あった

小学5年生の困窮層は3~4割、周辺層は1割弱が公共料金滞納経験あり

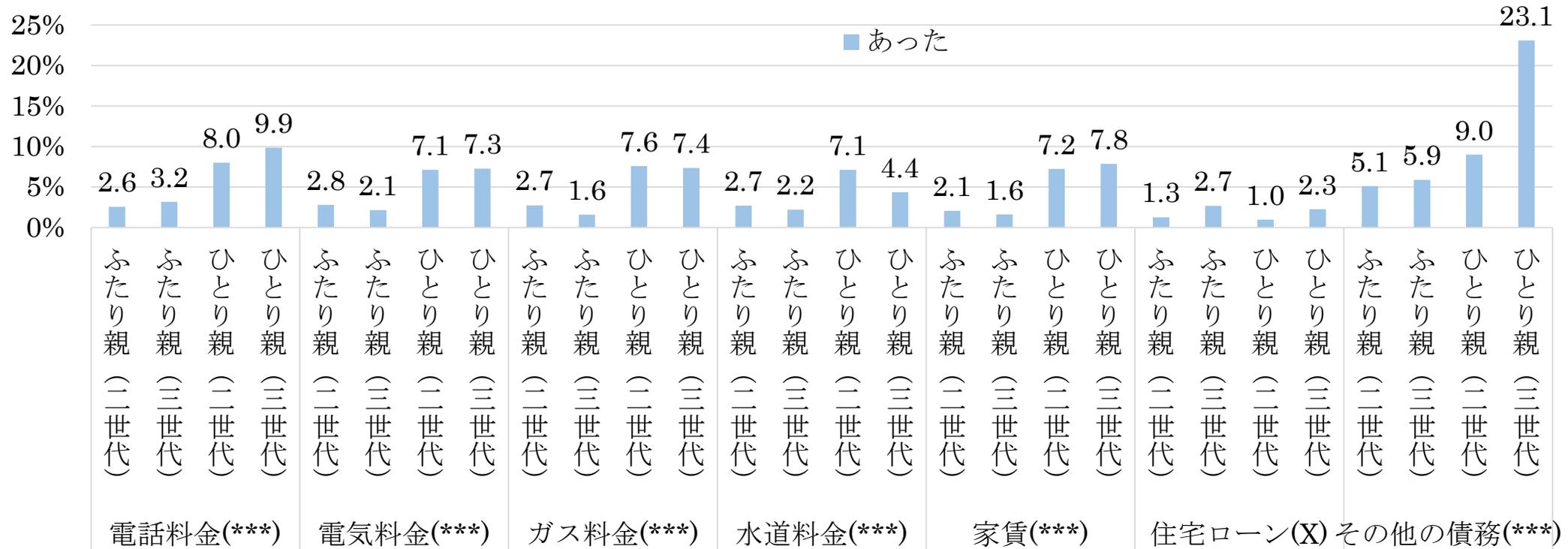
公共料金等の滞納経験（小学5年生）：生活困難度別



- 一般層の公共料金の滞納経験は0%。
- 困窮層の家賃滞納経験は約3割、その他の債務滞納経験は4割強

ひとり親世帯はふたり親世帯よりも公共料金の滞納経験割合が高い

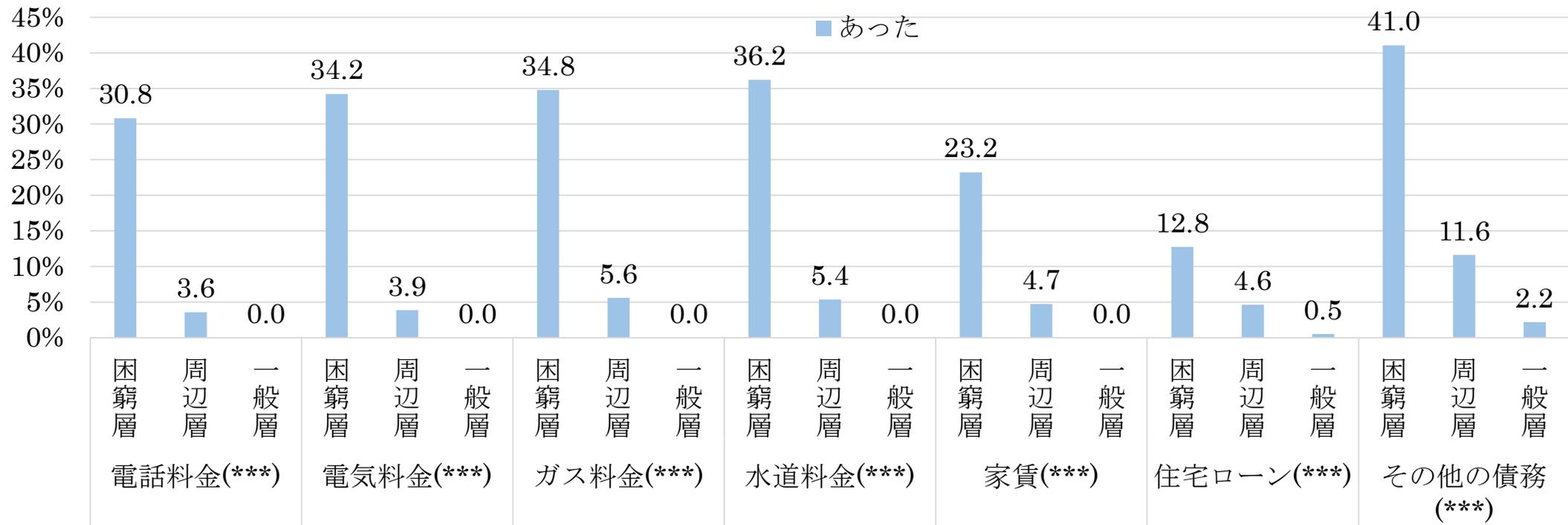
公共料金等の滞納経験（小学5年生）：世帯タイプ別



- ふたり親世帯の公共料金の滞納経験は2～3%であるのに対し、ひとり親世帯は7～9%。
- ひとり親（三世帯）は、その他の債務滞納経験が特に多い。

中学2年生の困窮層は3~4割、周辺層は4~6%が公共料金等の滞納経験あり

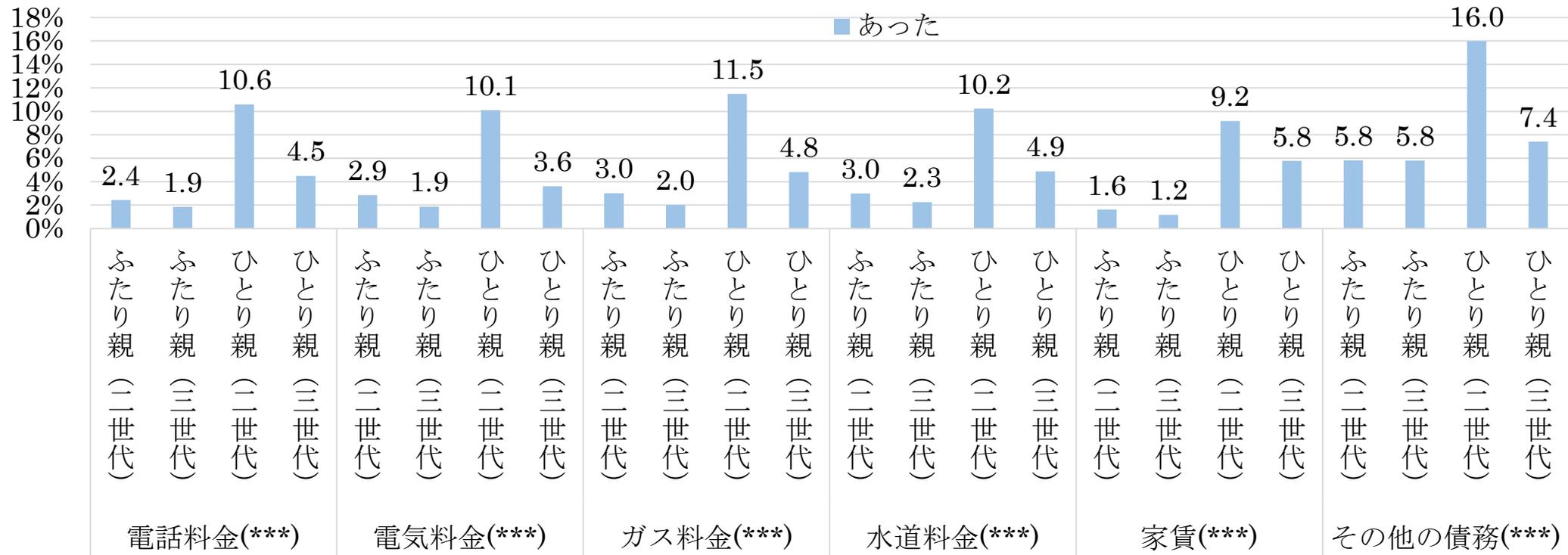
公共料金等の滞納経験（中学2年生）：生活困難度別



- 中学2年生の周辺層は、小学5年生の周辺層よりも滞納経験割合がやや少ない。
- 困窮層の家賃滞納経験は2割強、その他の債務滞納経験は4割強

公共料金の滞納状況：中2世帯タイプ別

公共料金等の滞納経験（中学2年生）：世帯タイプ別

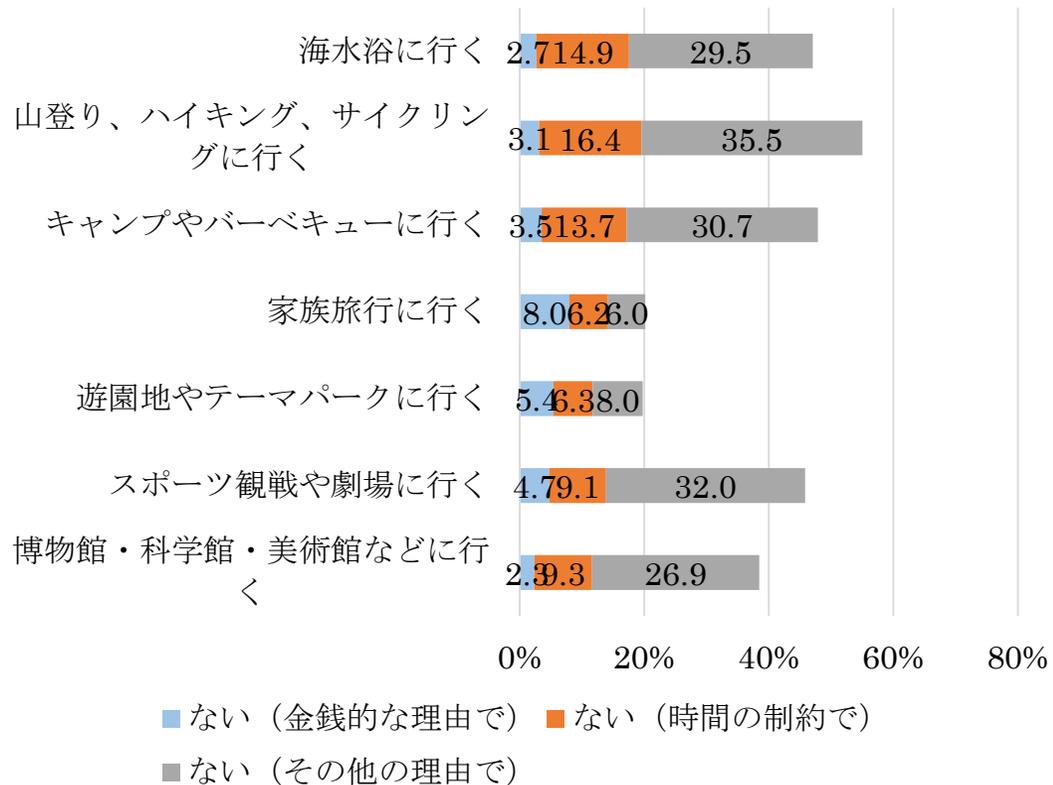


- ふたり親世帯の公共料金の滞納経験は2～3%であるのに対し、ひとり親（二世帯）は約1割。
- 中学2年生の場合、ひとり親（二世帯）で、その他の債務滞納経験が特に多い。

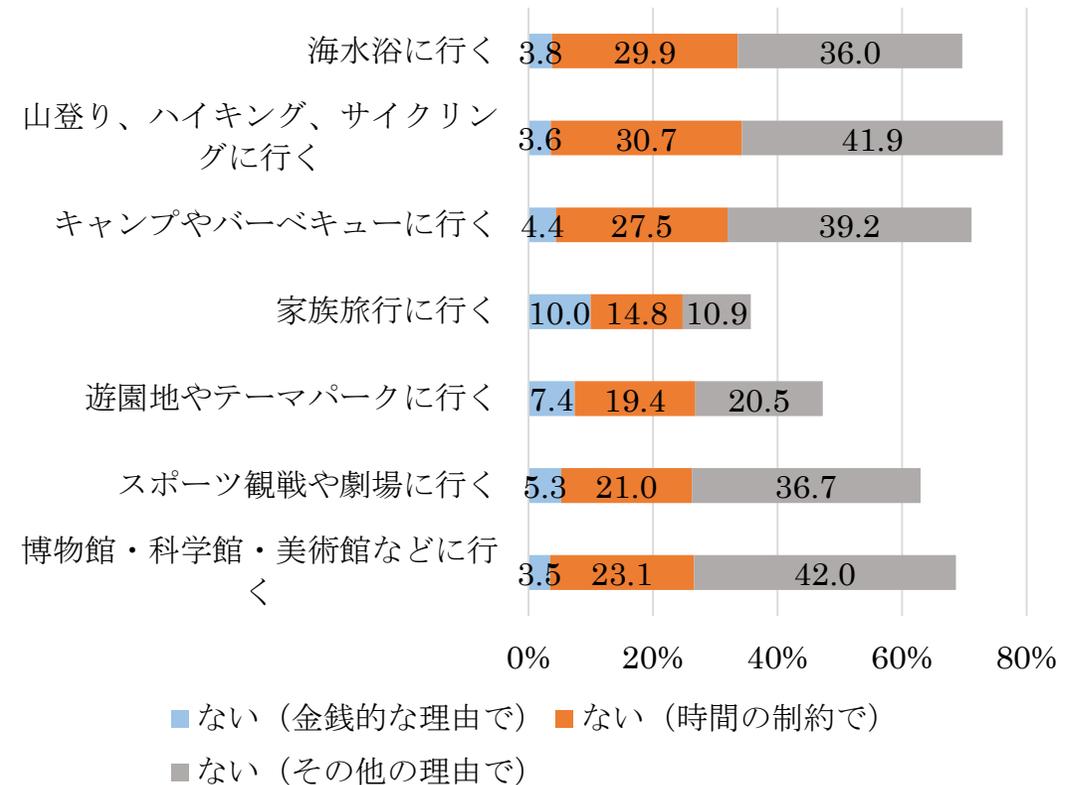
子ども期の経済的理由による
体験不足

金銭的理由による体験不足は3~10%

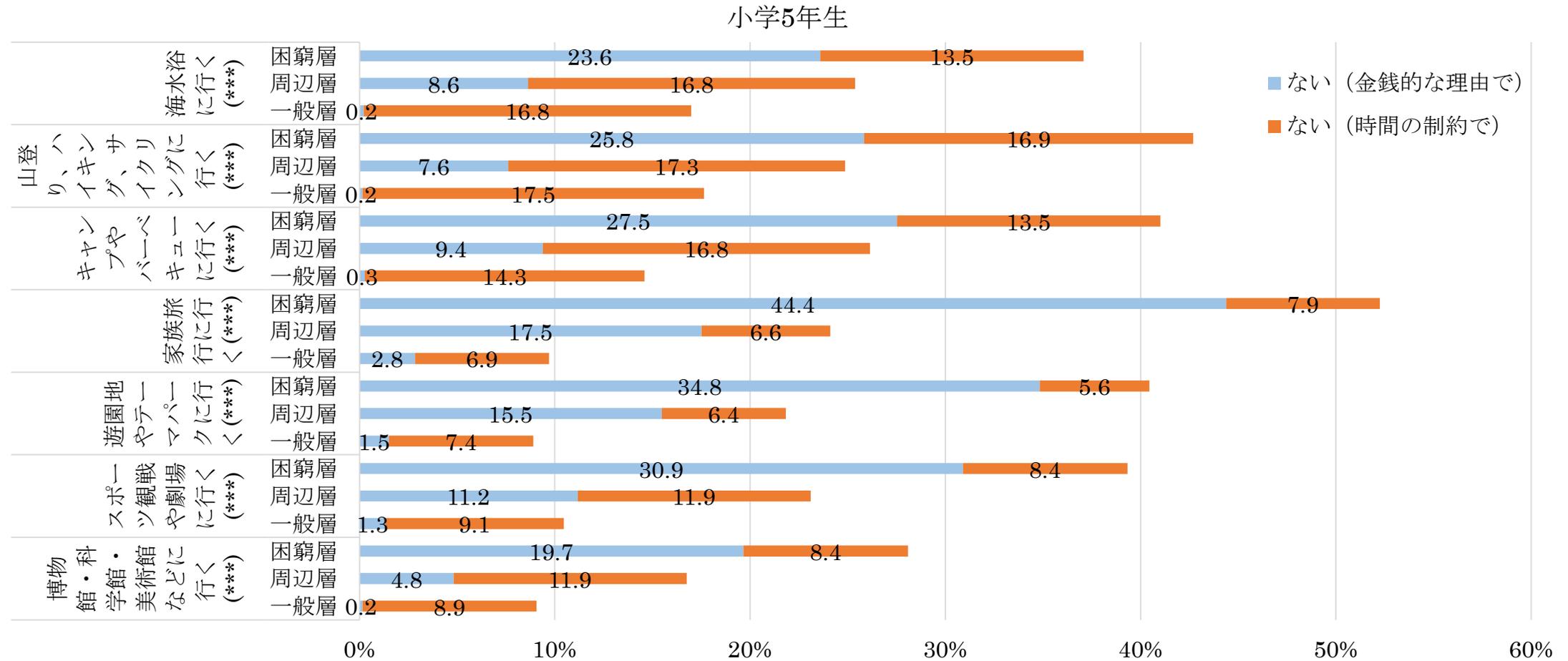
小学5年生



中学2年生



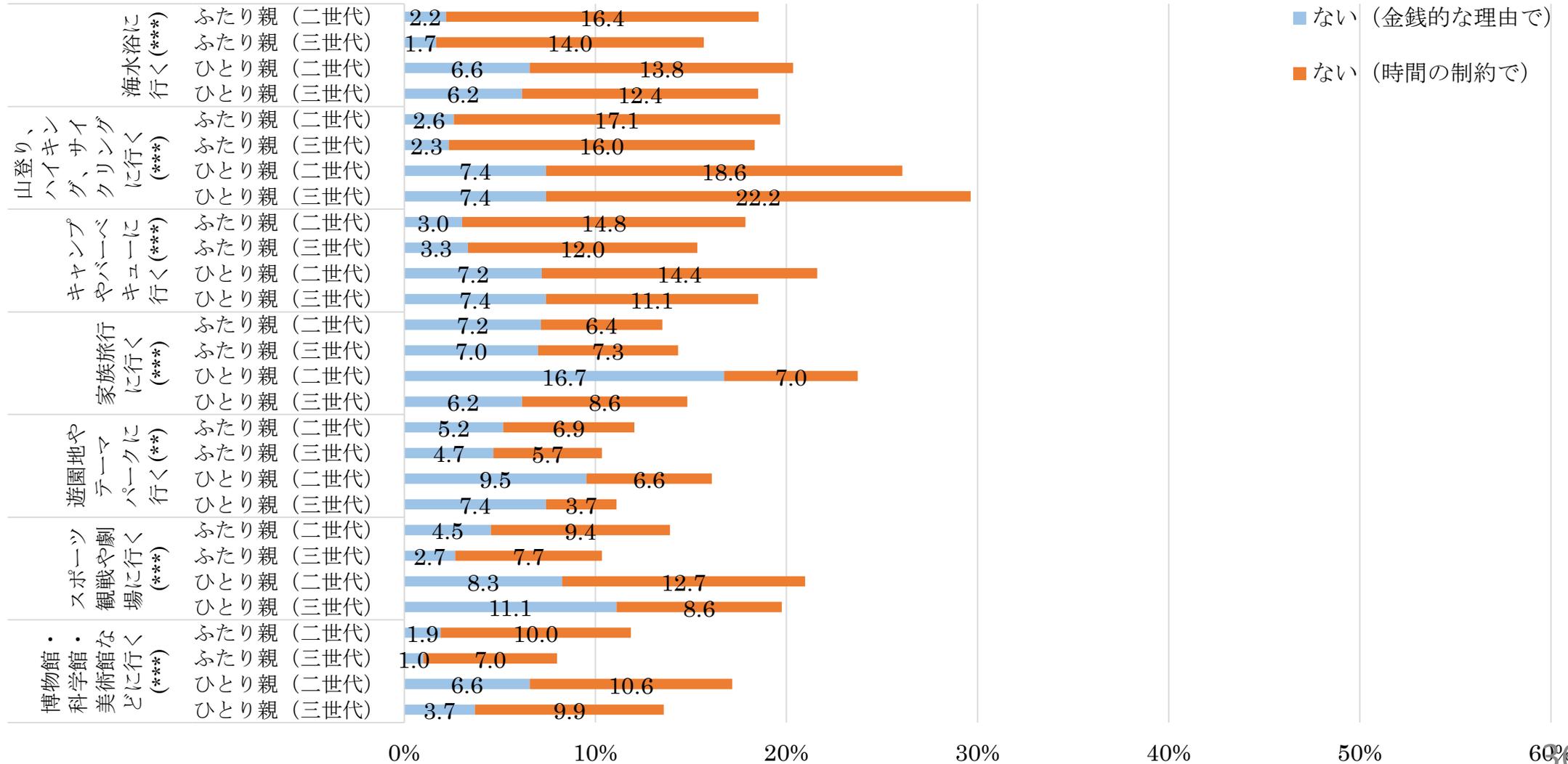
(小5) 困窮層は金銭的理由による体験不足が顕著



- 小学5年生の困窮層は、「金銭的理由で行けない」が2~4割。
- とりわけ多いのは、家族旅行（44.4%）、遊園地やテーマパーク（34.8%）

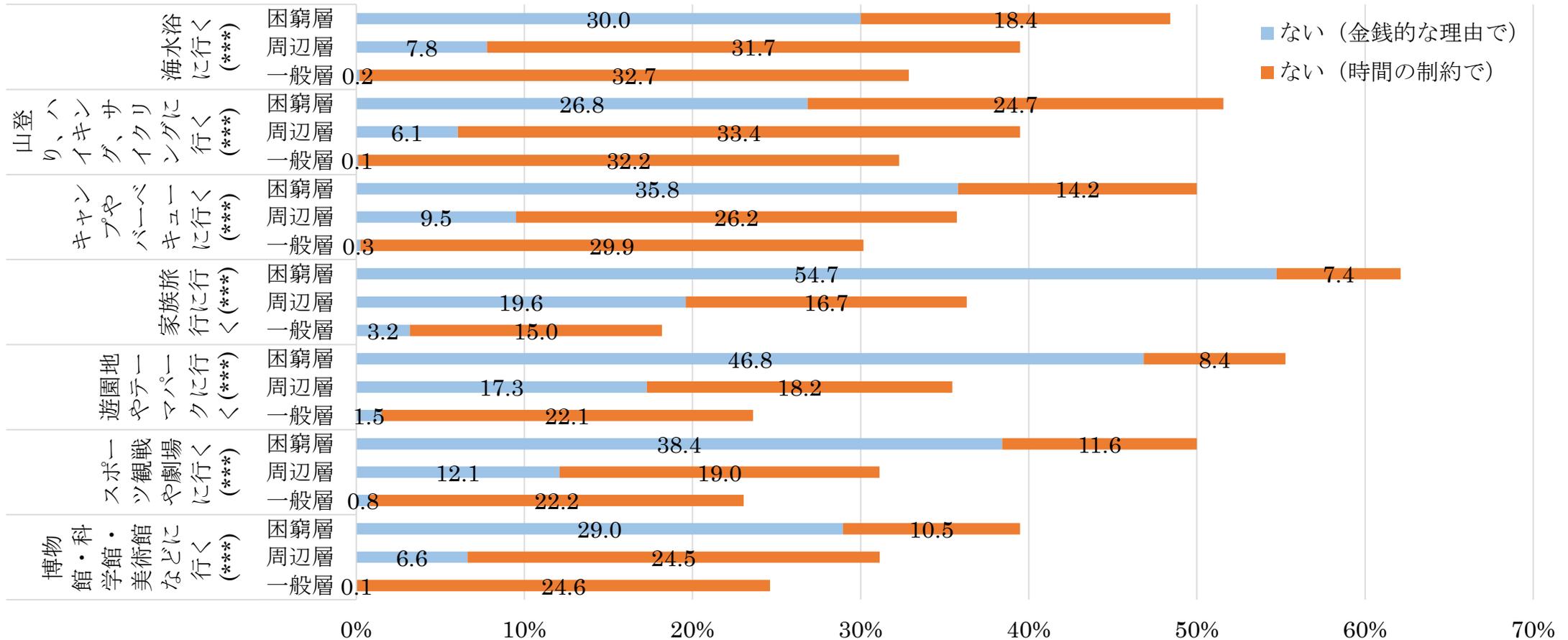
(小5) 金銭的理由による体験不足はひとり親世帯で多い

小学5年生



(中2) 困窮層の金銭的理由による体験不足は小学5年生よりも悪い

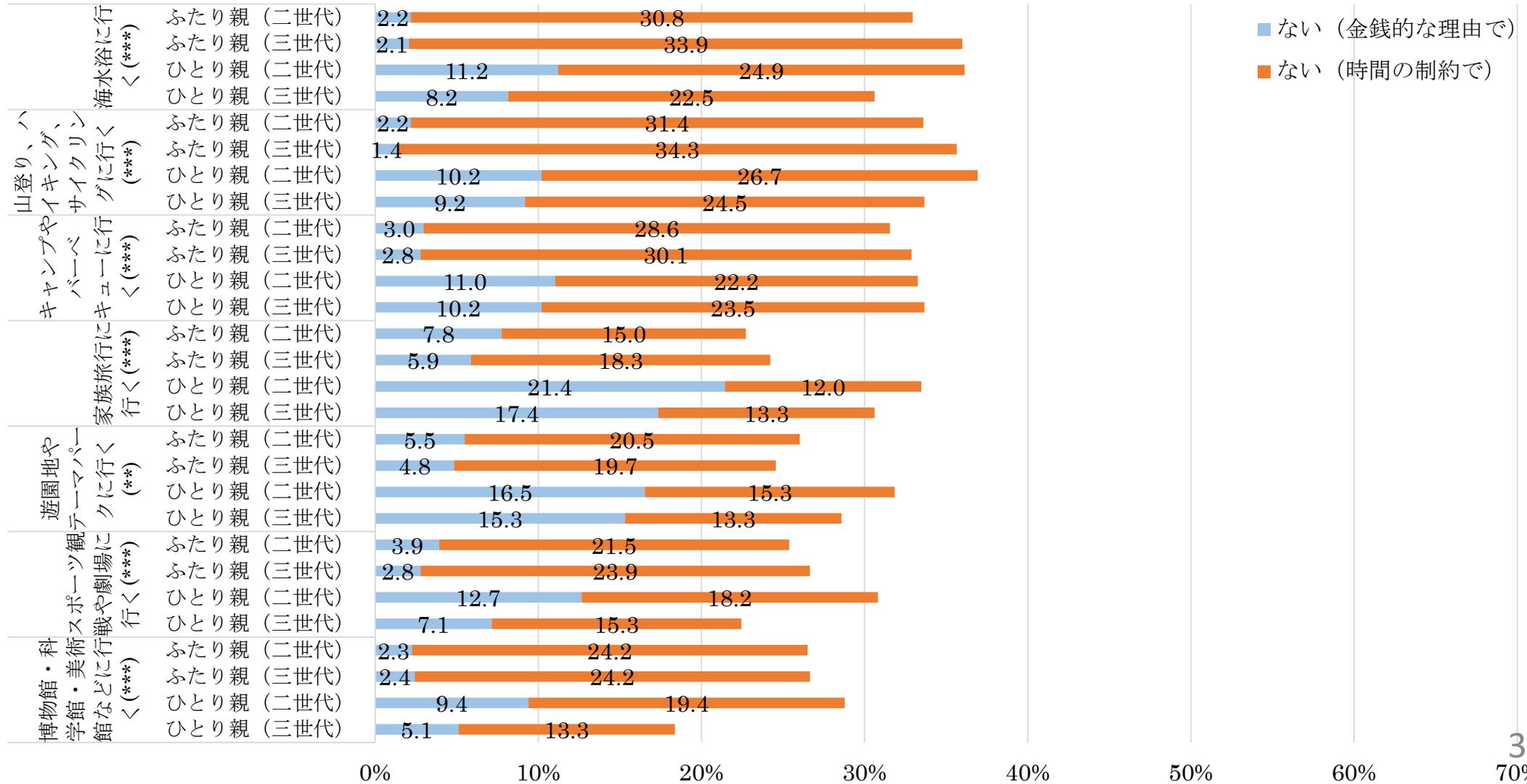
中学2年生



- 困窮層は、「金銭的理由で行けない」が3~5割。
- とりわけ多いのは、家族旅行 (54.7%)、遊園地やテーマパーク (46.8%)

ふたり親世帯は時間的理由による体験不足、ひとり親世帯は金銭的理由による体験不足が多い

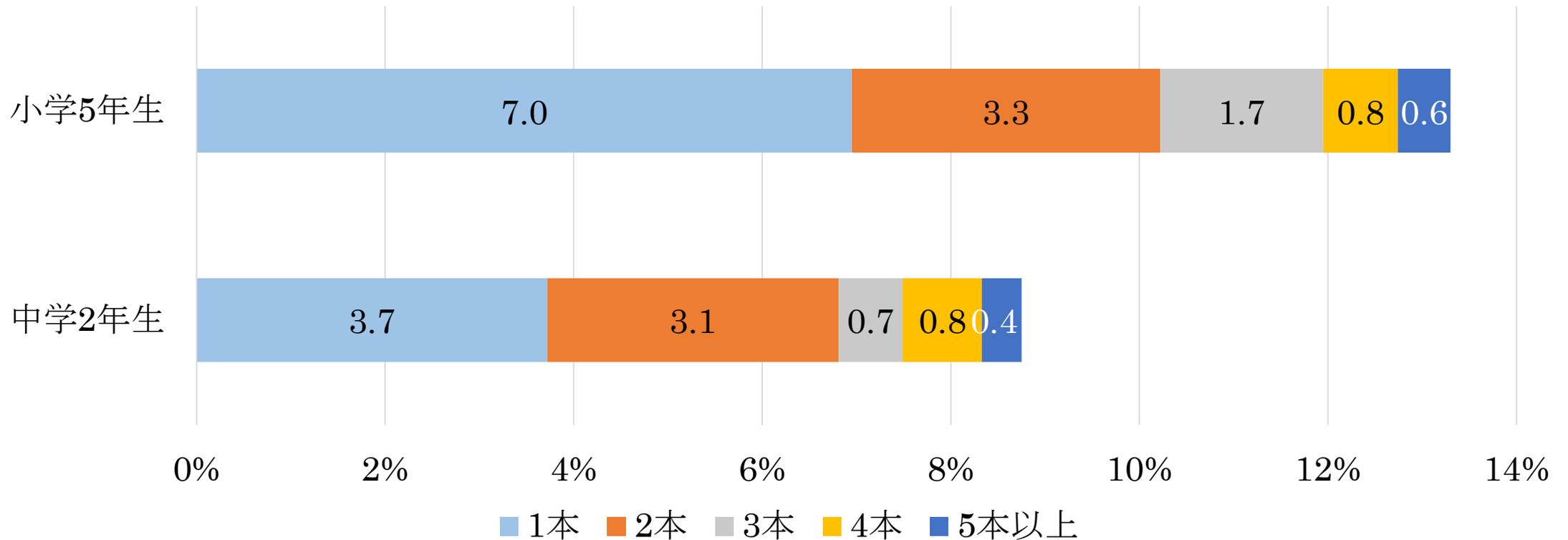
中学2年生



虫歯・医療未受診の状況

虫歯が1本以上あると答えた子どもは小学5年生の13.4%、中学2年生の8.7%

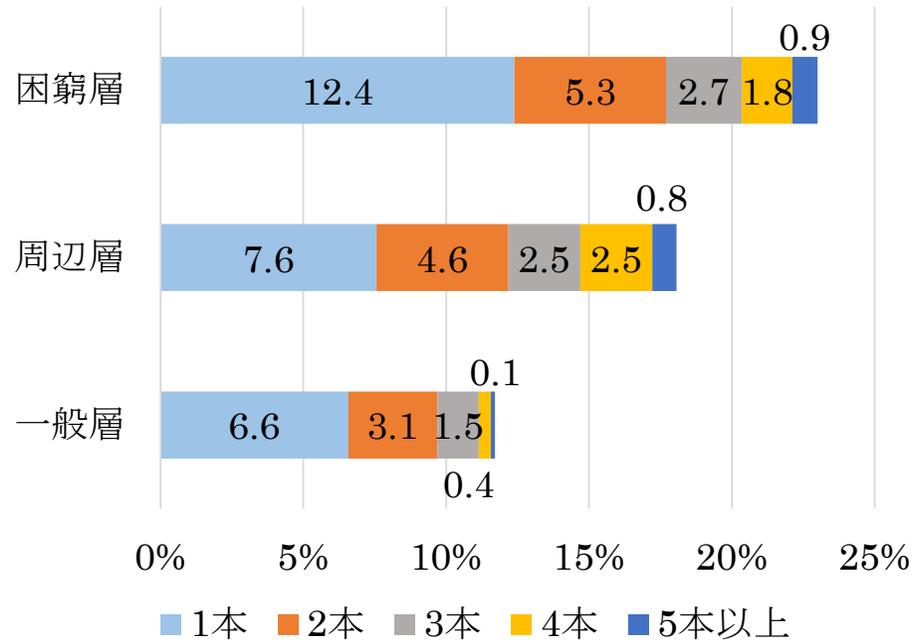
虫歯の本数



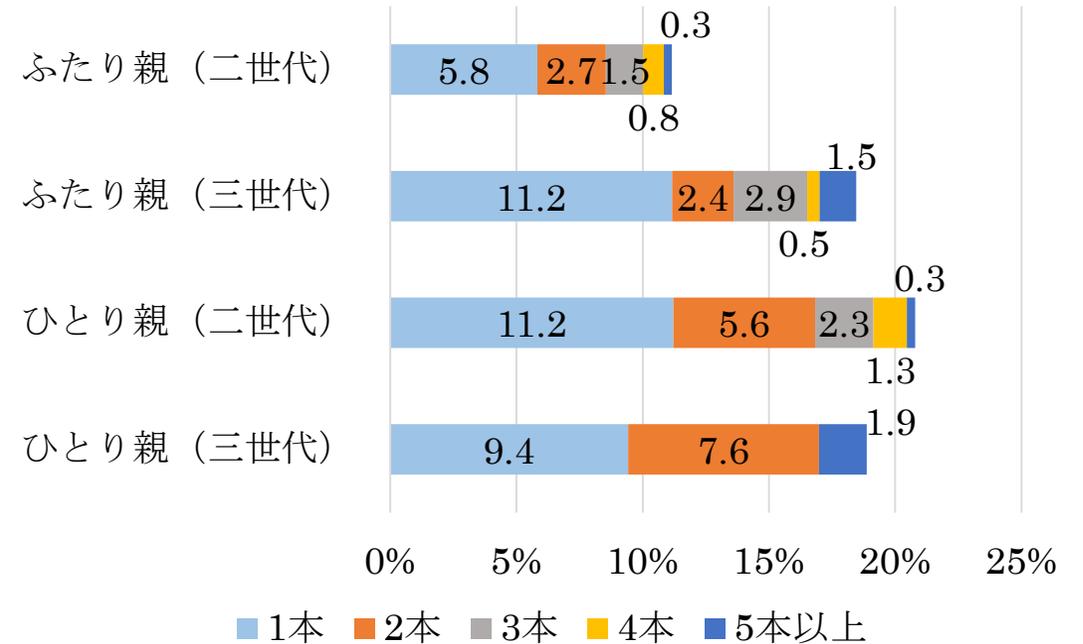
* 虫歯の有無、本数がわかる子どものうち、1本以上と答えた子どもの割合

困窮層ほど虫歯が多い

虫歯の本数（小学5年生）：生活困難度別(***)



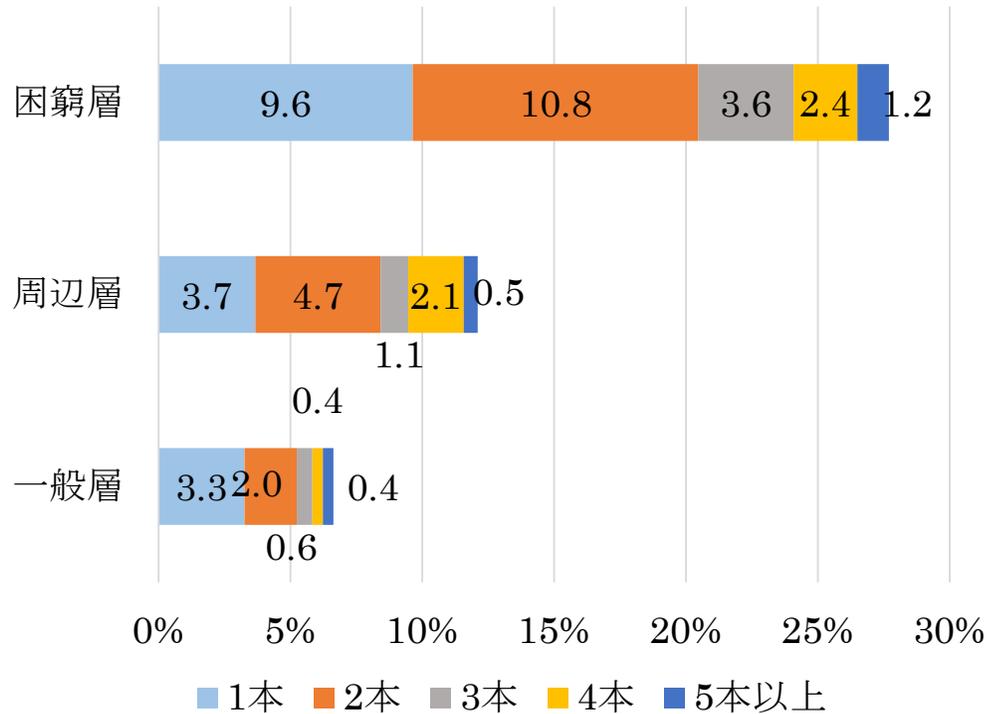
虫歯の本数（小学5年生）：世帯タイプ別(***)



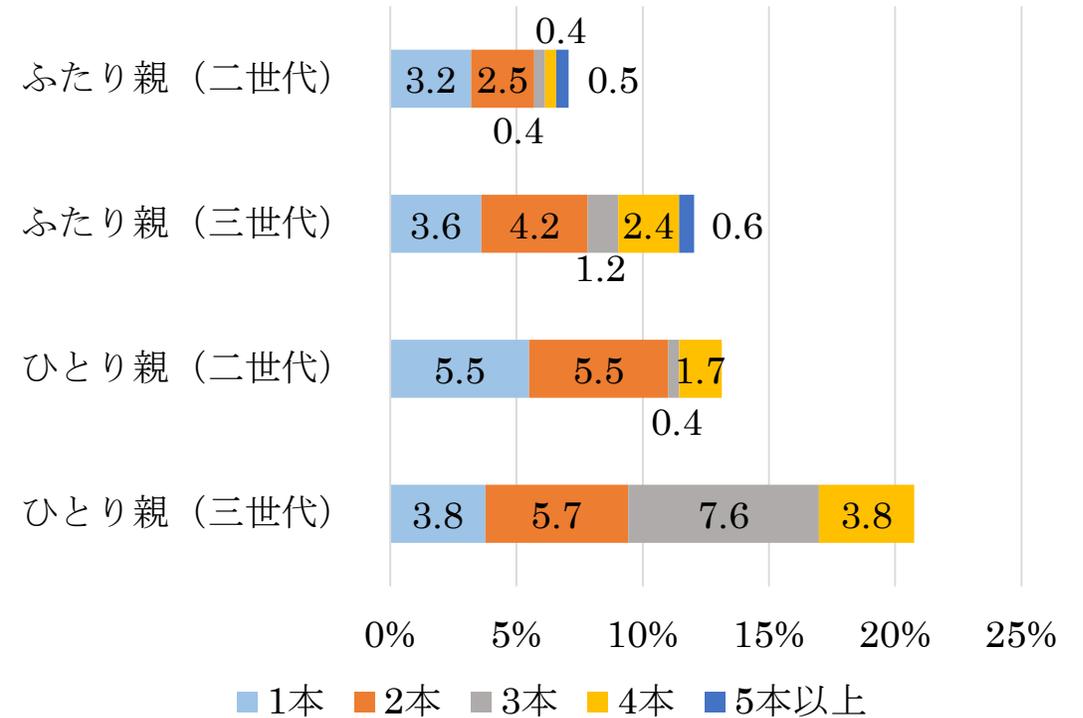
- ひとり親世帯の小学5年生は、虫歯が2本以上の割合が多い。

中学2年生の困窮層、ひとり親（三世代）は虫歯が多い

虫歯の本数（中学2年生）：生活困難度別(***)



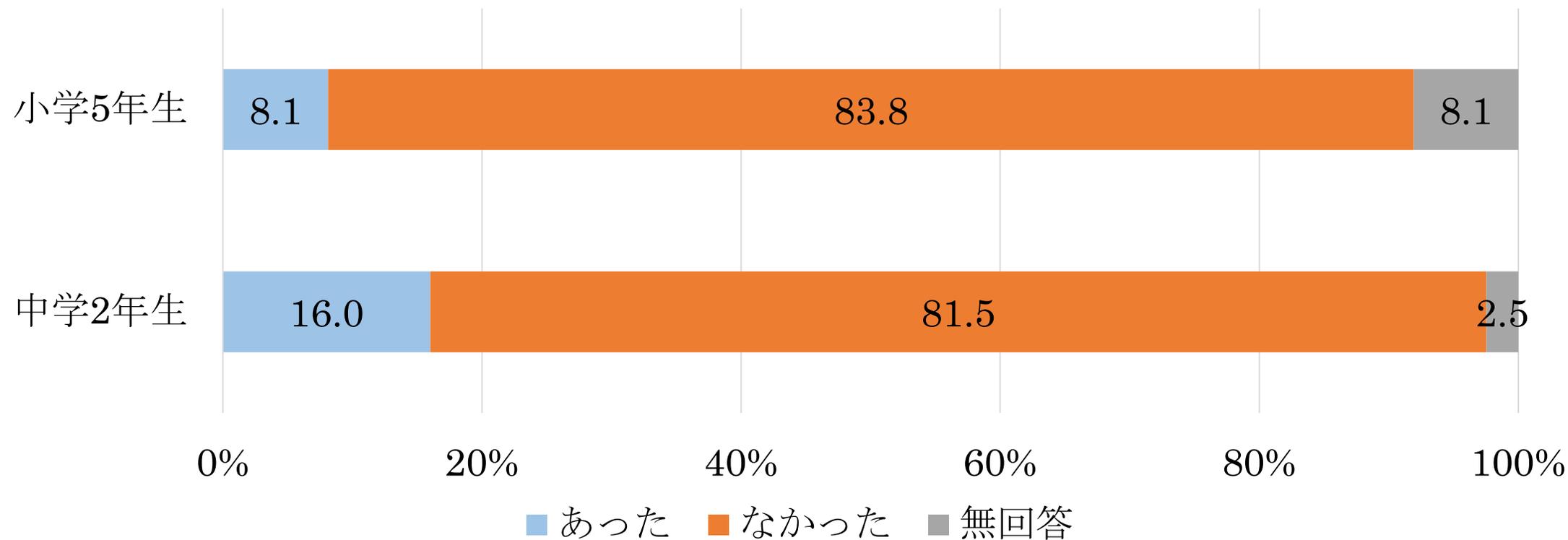
虫歯の本数（中学2年生）：世帯タイプ別(***)



- ひとり親（三世代）の中学2年生は、虫歯が3本以上の割合が著しく多い。

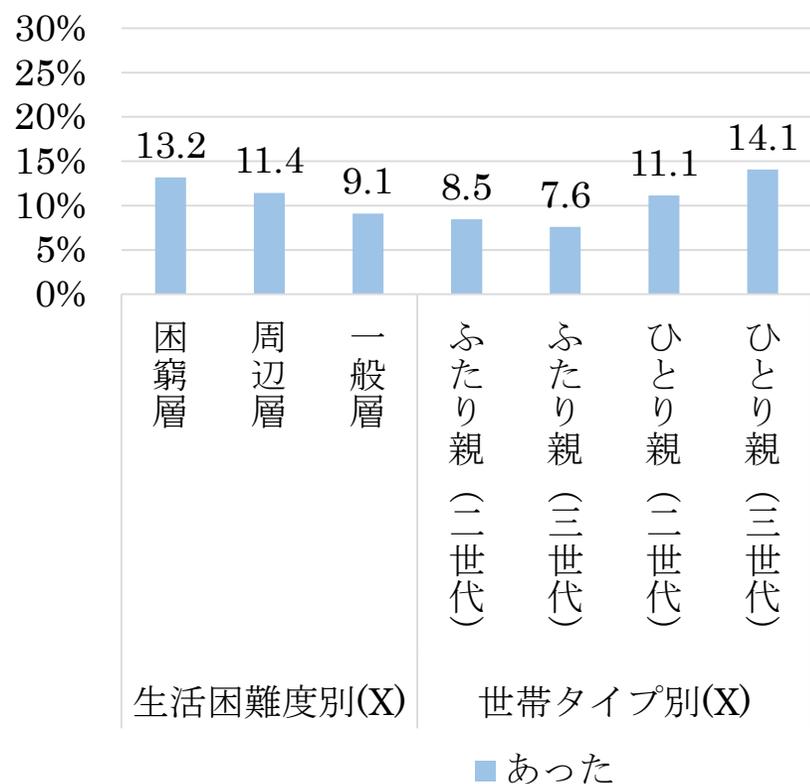
子どもを受診させた方が良かったと思ったが受診させなかった経験は、小学5年生で8%、中学2年生で16%

子どもの医療未受診

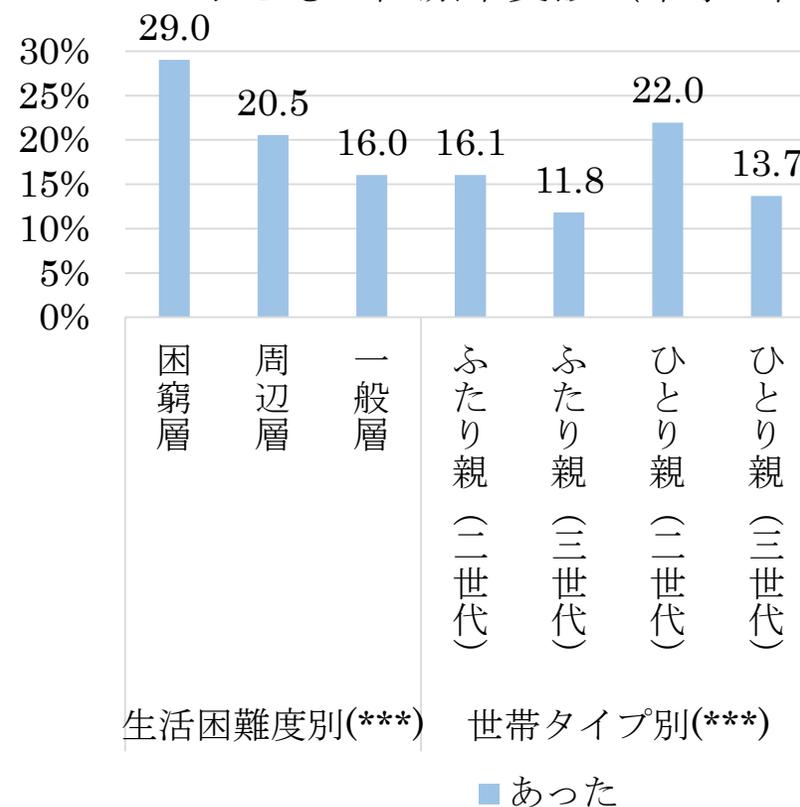


未受診は中学2年生の困窮層、ひとり親 (二世代) が多い

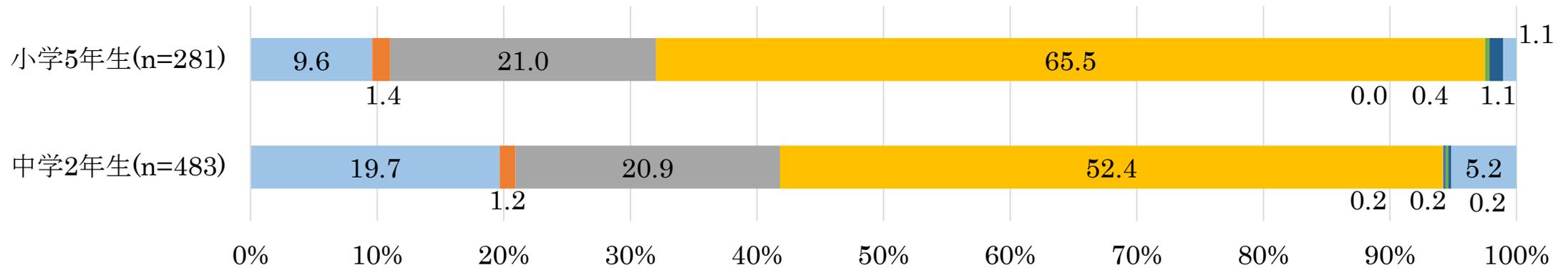
子どもの医療未受診（小学5年生）



子どもの医療未受診（中学2年生）

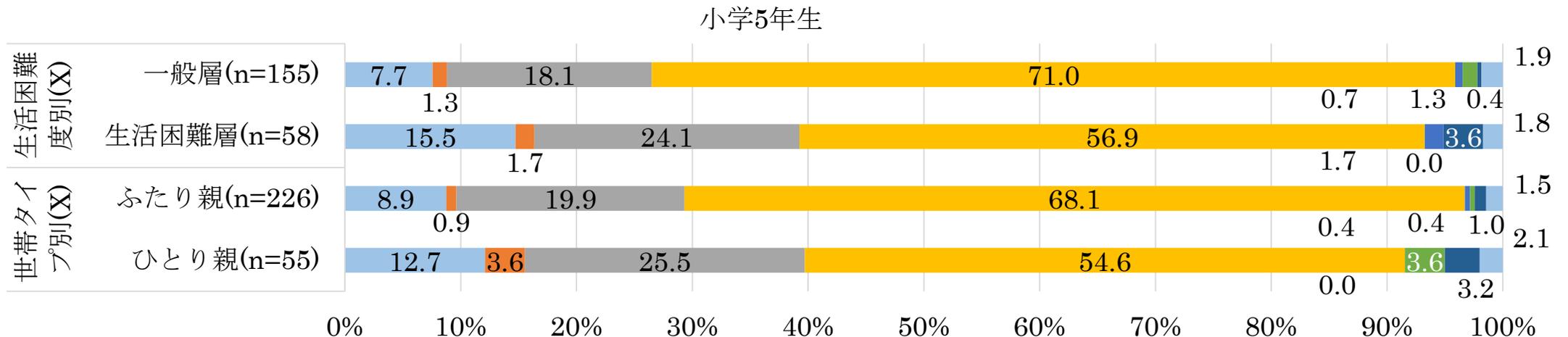


未受診の理由は、過半数が「様子改善」、次に「多忙」が多い



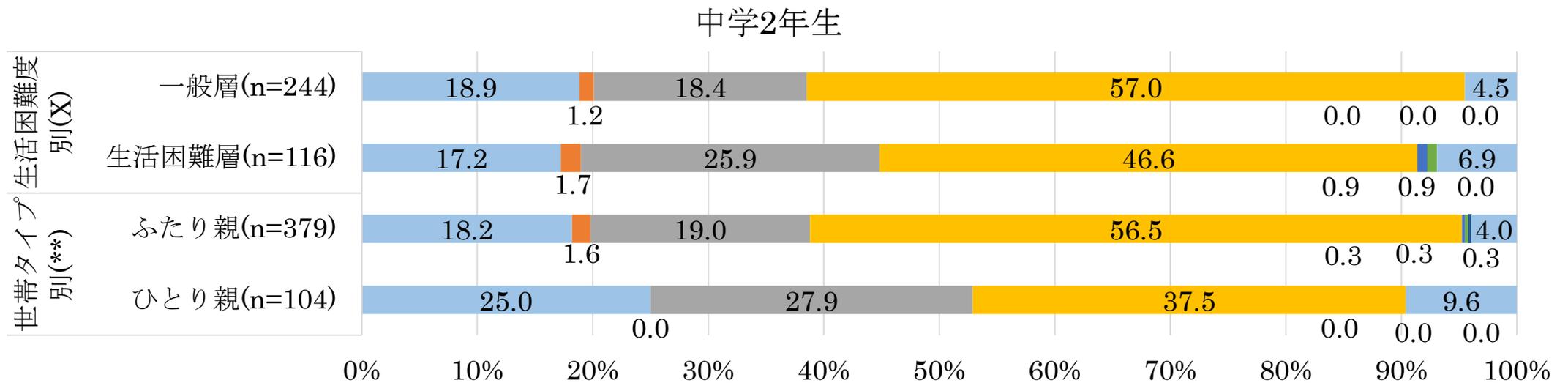
- 子ども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他

小5の未受診理由：どの層も「様子改善」が最も多いが、生活困難層、ひとり親世帯は「子どもが受診拒否」が13~16%、「多忙」が24~26%と多い



- 子ども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他

中2の未受診理由：どの層も「様子改善」が最も多いが、ひとり親は「子供が受診拒否」が25%、「多忙」が28%と多い

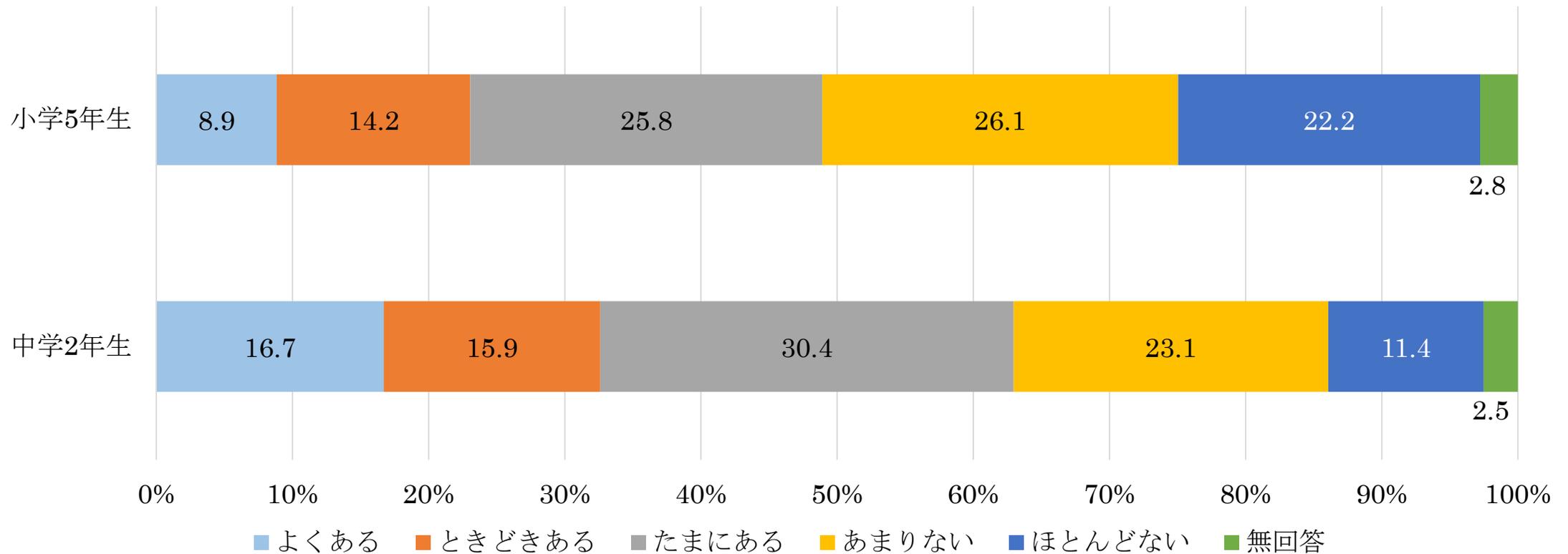


- 子ども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他

学習関連

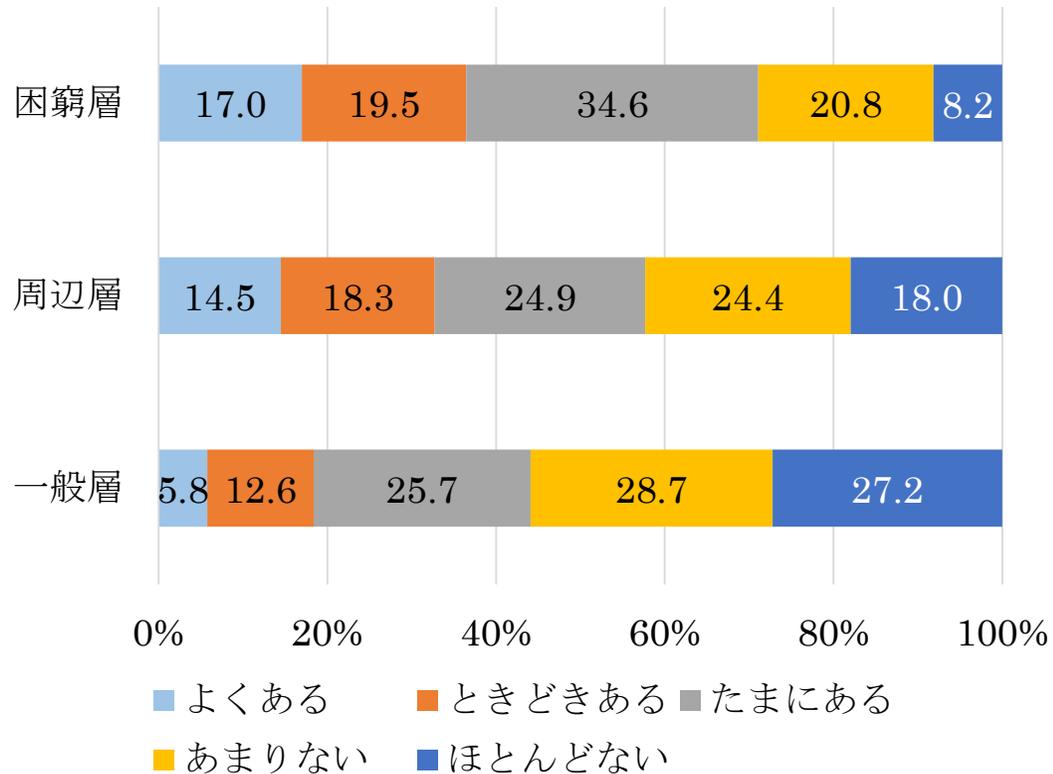
授業がわからないことが「よく・ときどきある」子どもは小5の23.1%、中2の32.6%

授業がわからない

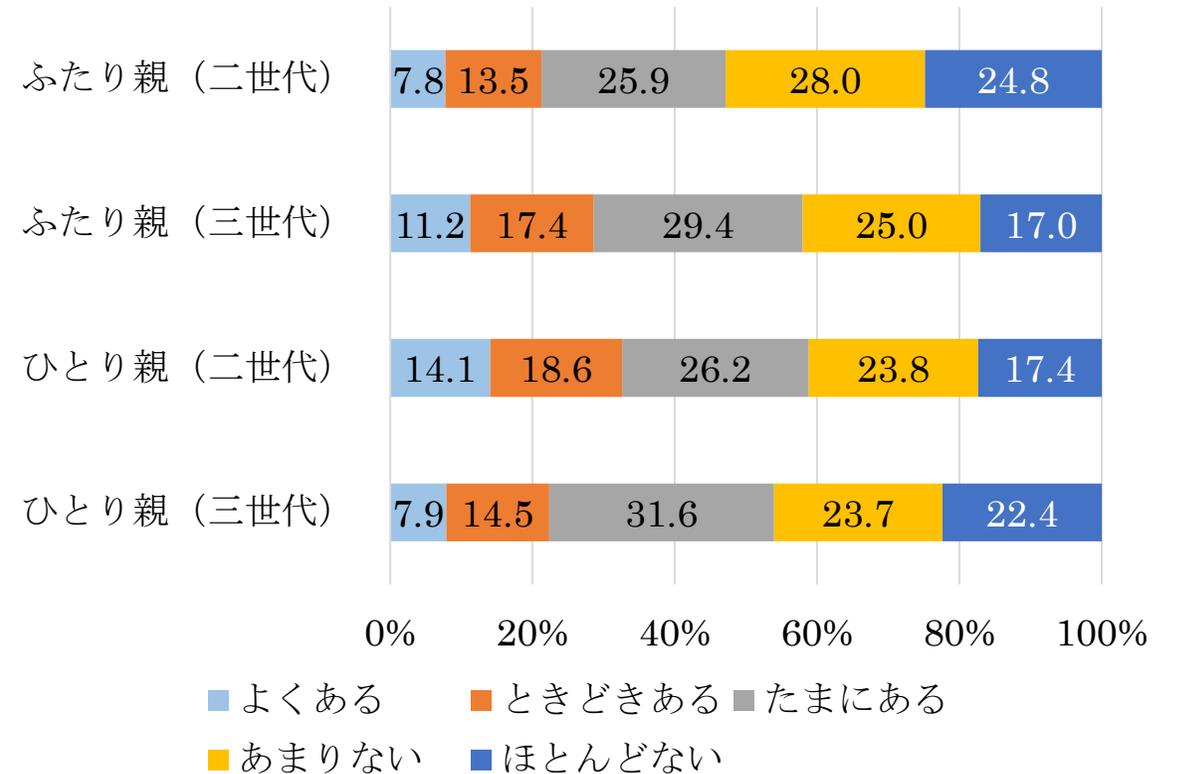


小5：困窮層ほど授業がわからないことが「よく・ときどきある」傾向がある。また、ひとり親（二世世代）、ふたり親（三世代）でも、多い。

授業がわからない（小学5年生） (***)

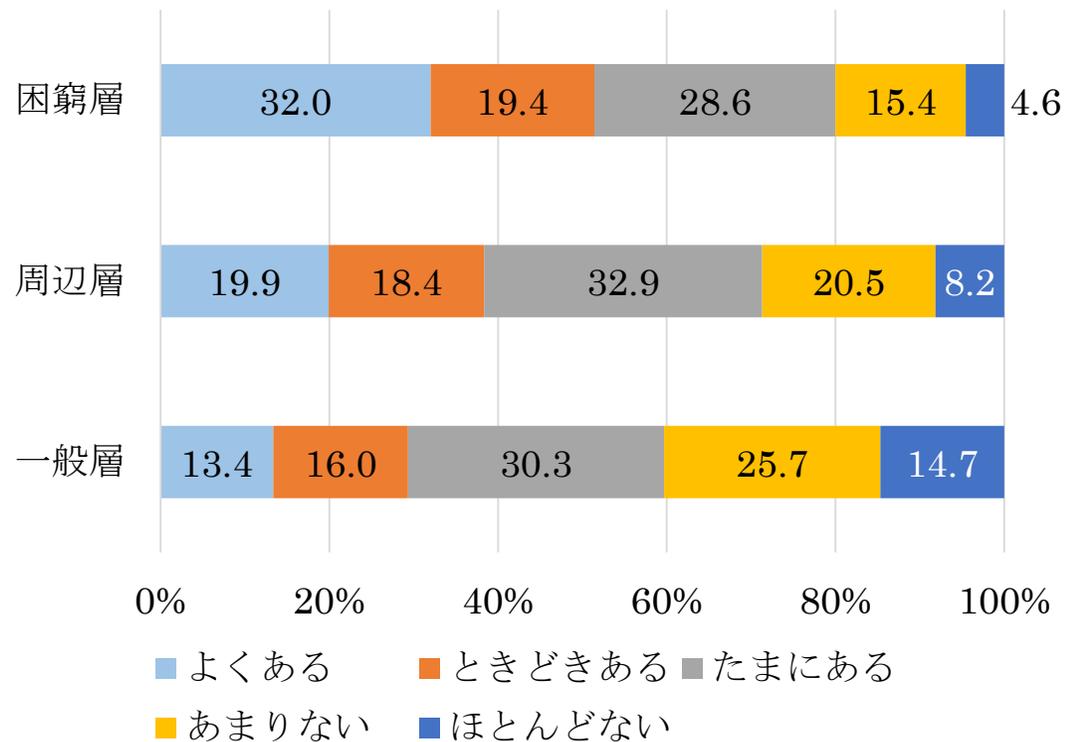


授業がわからない（小学5年生） (***)

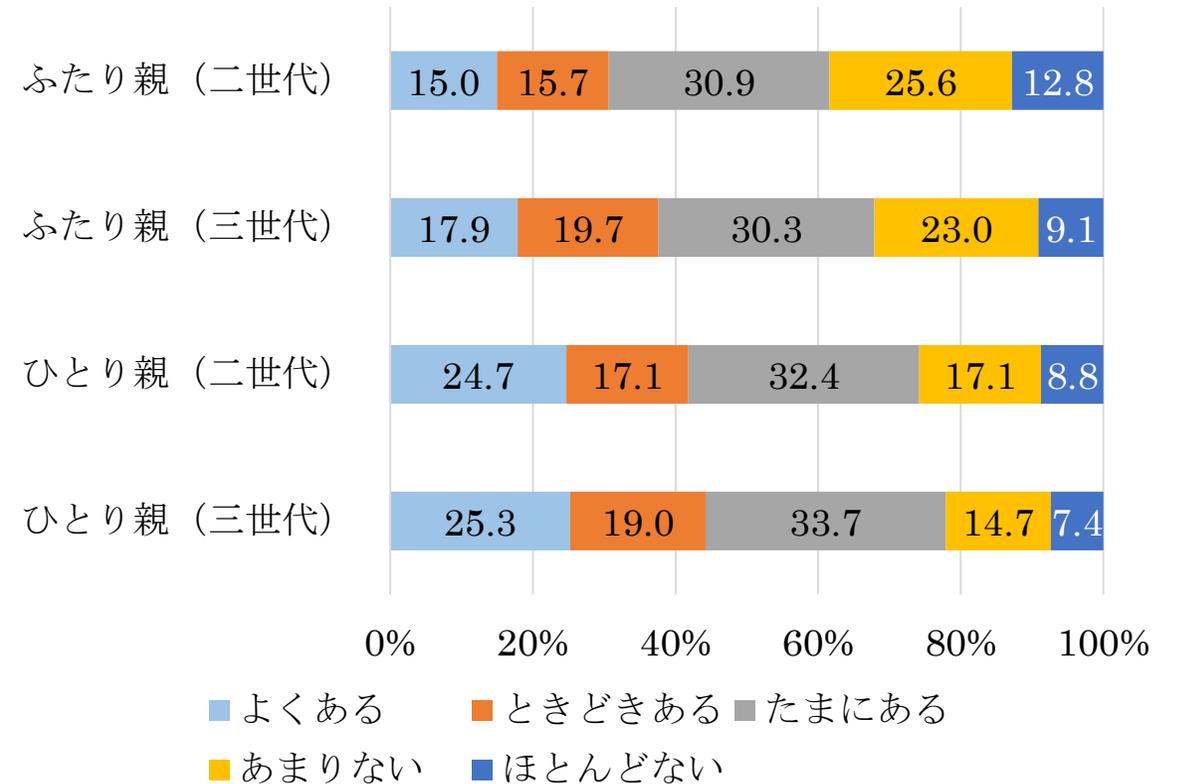


中2：困窮層ほど授業がわからないことが「よく・ときどきある」傾向がある（困窮層51.4%、周辺層38.3%）、ひとり親世帯は4割強

授業がわからない（中学2年生）：生活困難度別 (***)

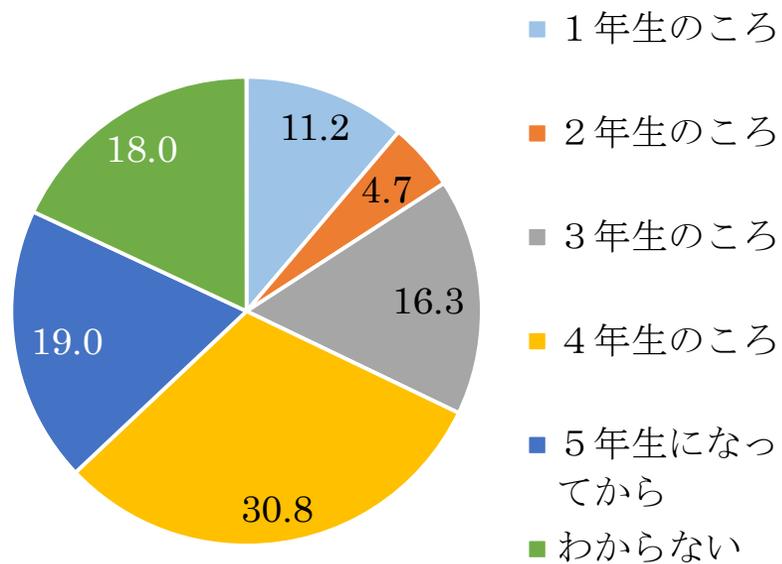


授業がわからない（中学2年生）：世帯タイプ別 (***)

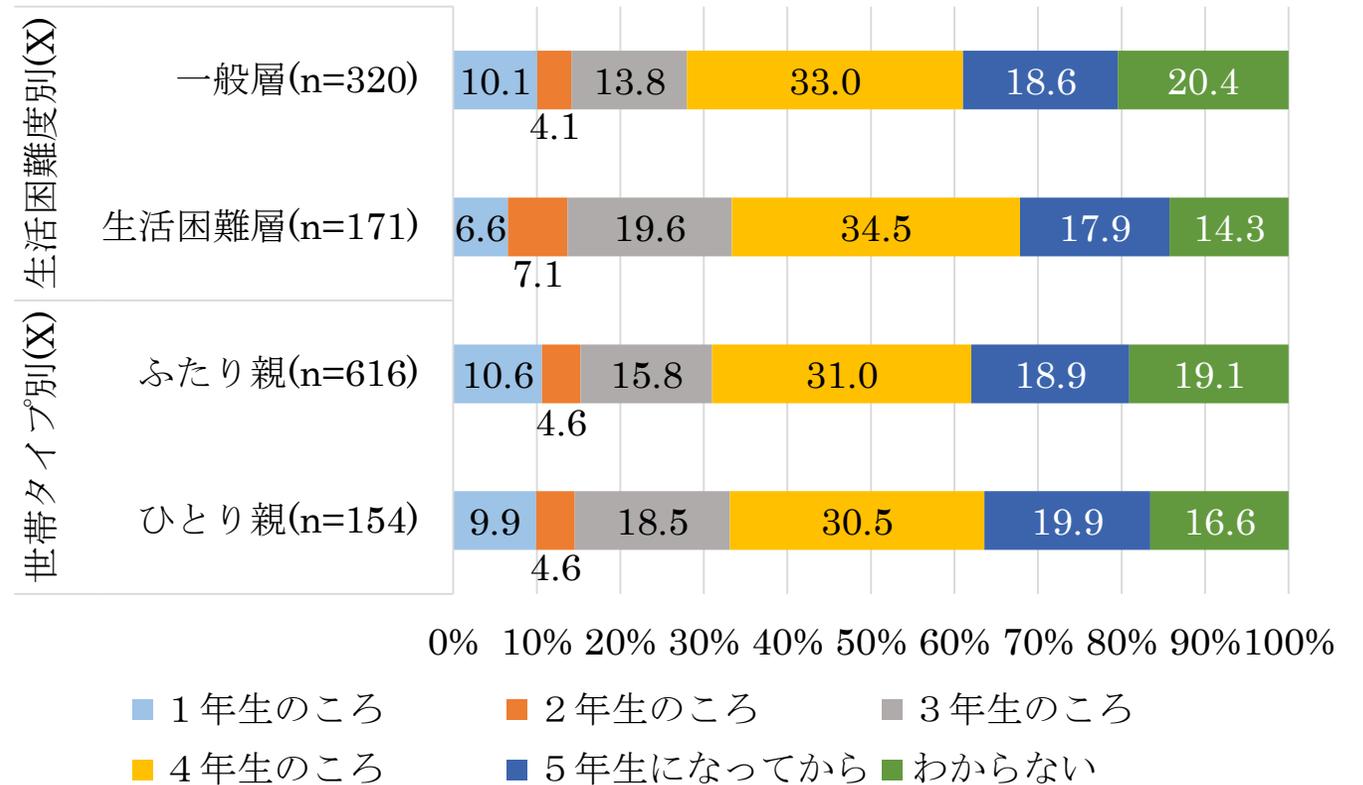


小5：小4以降にわからなくなかった子どもが半数だが、授業がわからない小5の1割は小1の時にわからなくなっている。2割は、いつのまにか、わからなくなった。

授業がわからなくなってきた時期
(小学5年生) (n=831)

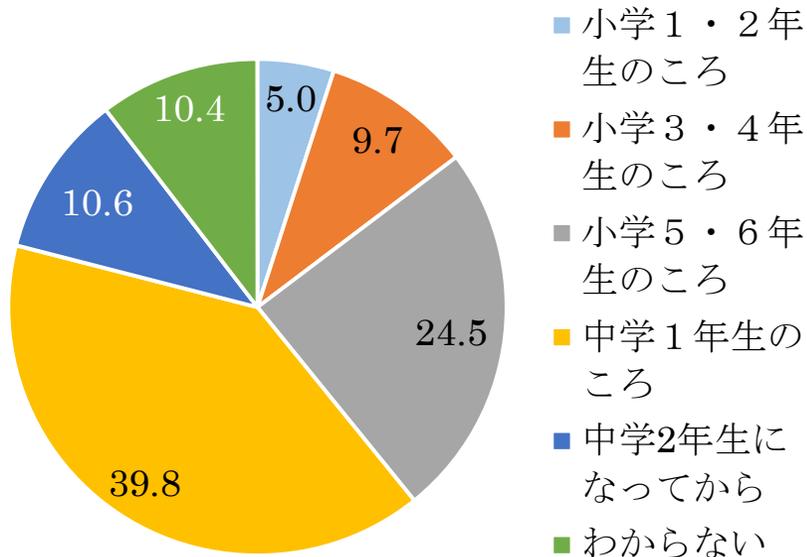


分からなくなってきた時期 (小学5年生)

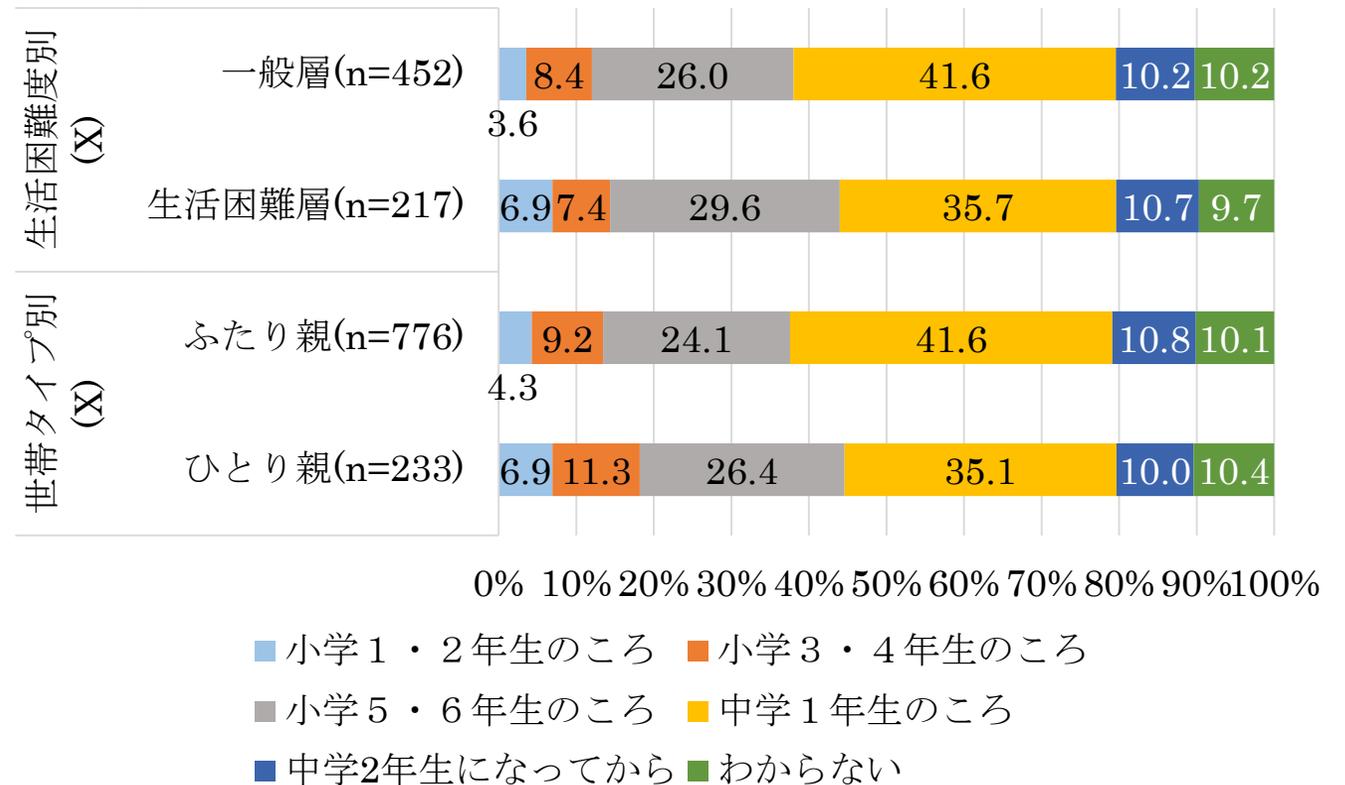


中1で授業がわからなくなかった子どもが最も多いが、授業がわからない中2の4割は小学生の間にわからなくなっている

授業が分からなくなってきた時期
(中学2年生) (n=1036)

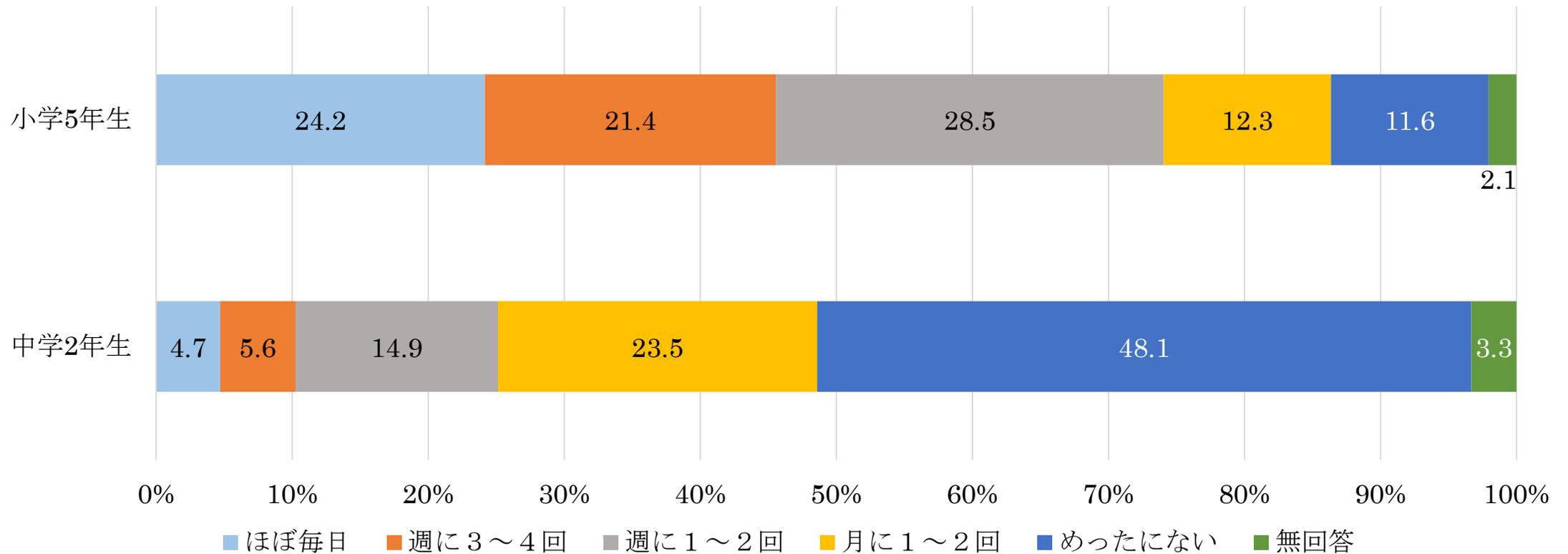


分からなくなってきた時期 (中学2年生)



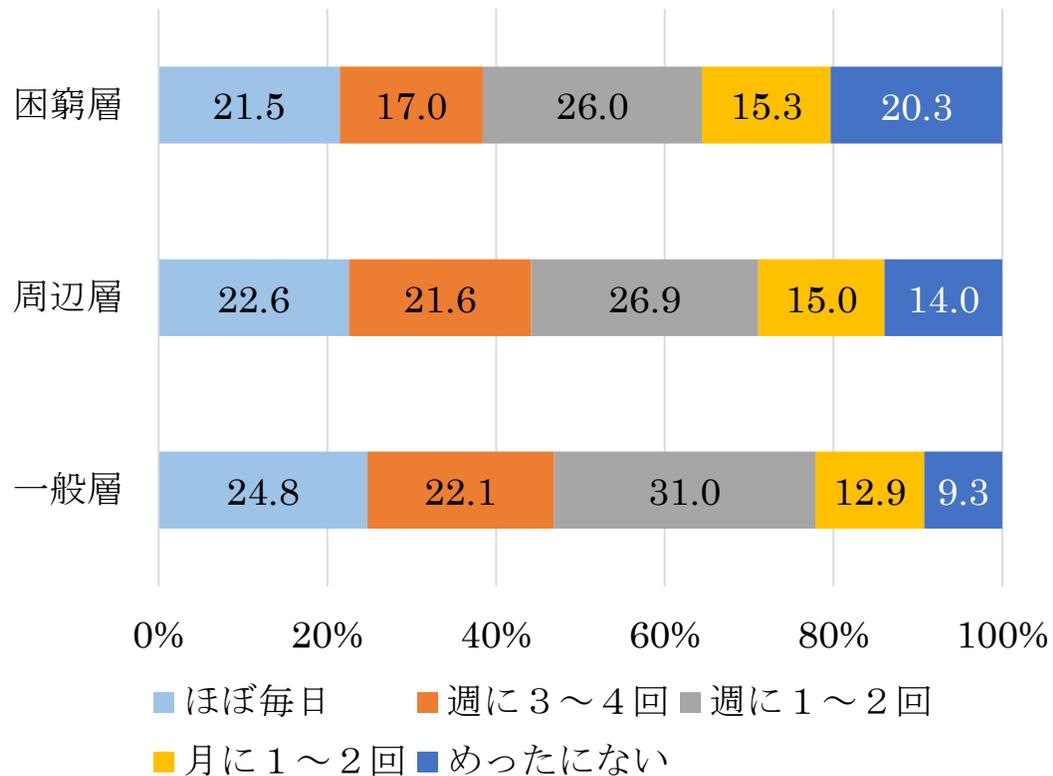
小5保護者の4割強、中2保護者の約1割が週に3日以上、お子さんの勉強をみている

お子さんの勉強をみる

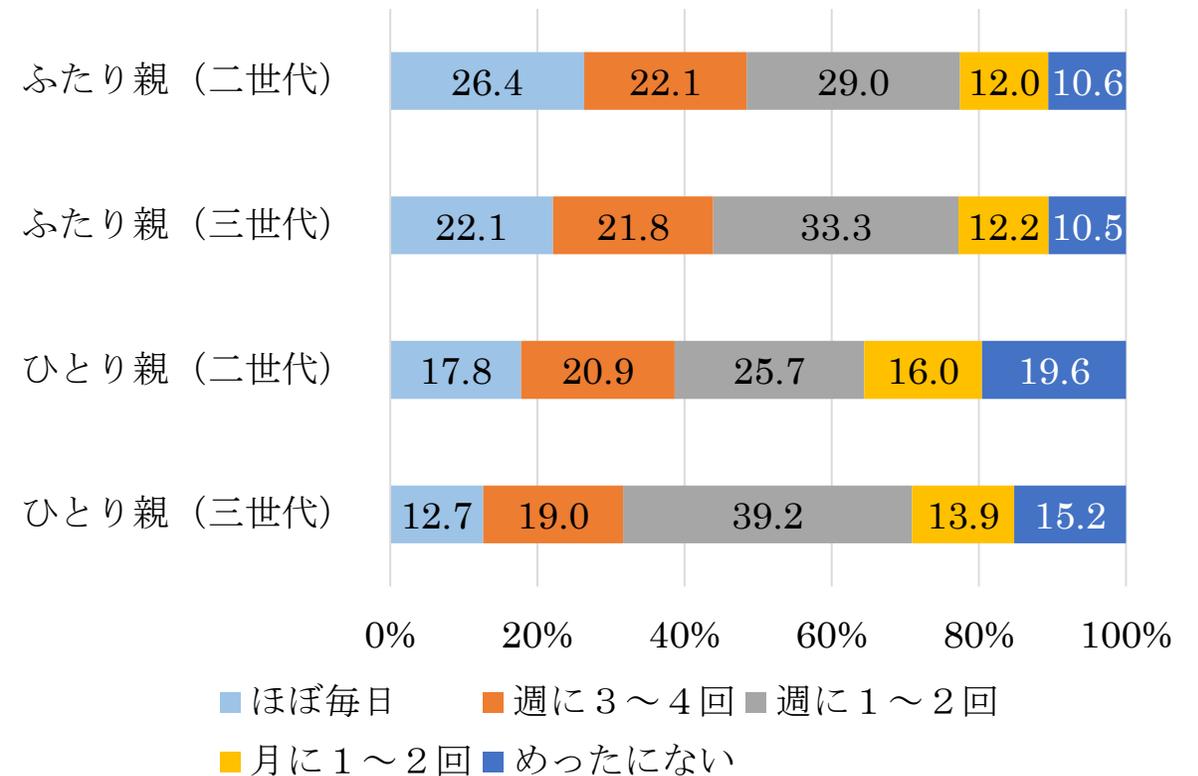


小5：子どもの勉強をみることは「めったにない」は困窮層、ひとり親（二世代）では2割

お子さんの勉強をみる（小学5年生） (***)

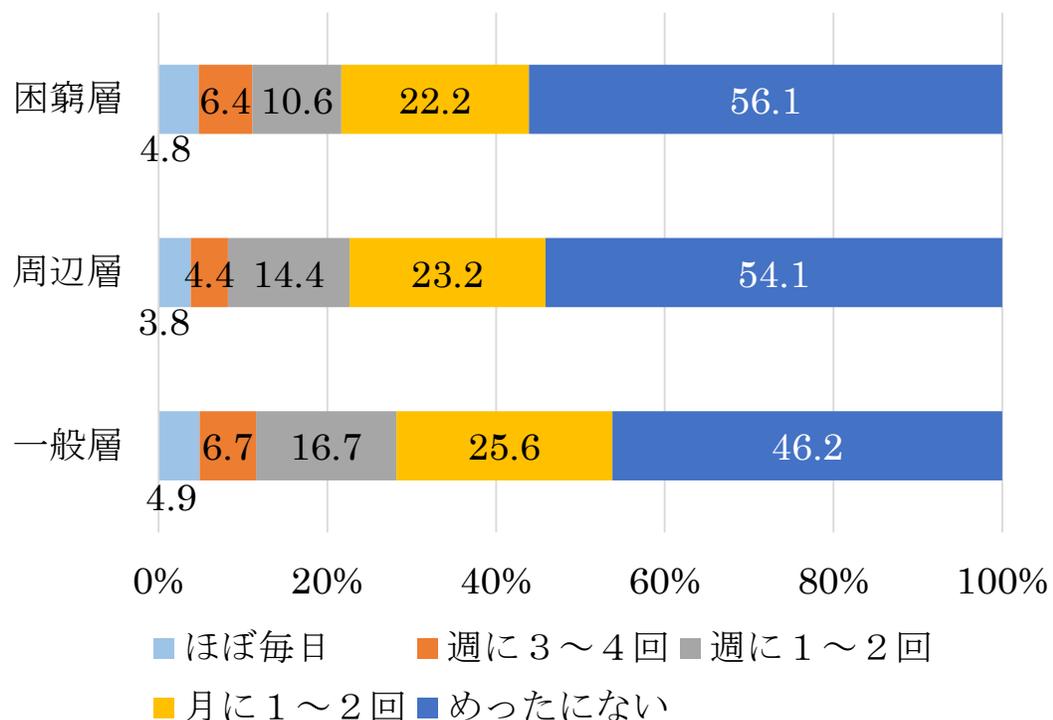


お子さんの勉強をみる（小学5年生） (***)

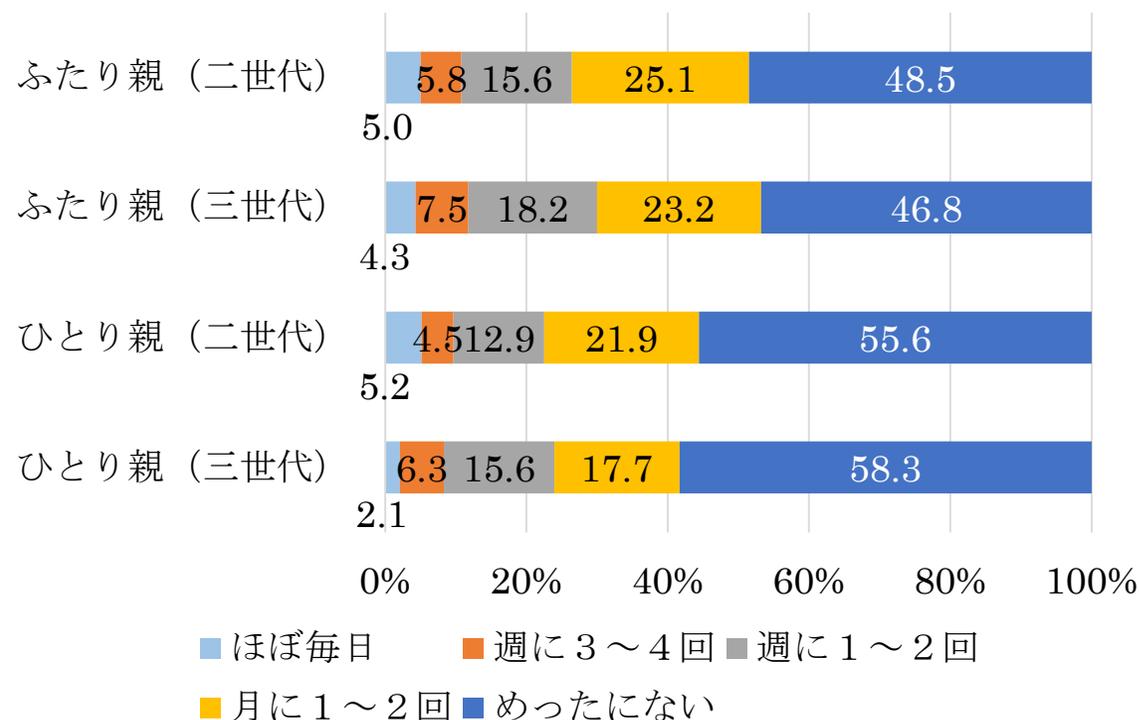


中2：子どもの勉強をみることは「めったにない」は困窮層、周辺層、ひとり親世帯が多い

子どもの勉強をみる（中学2年生）：生活
困難度別(*)



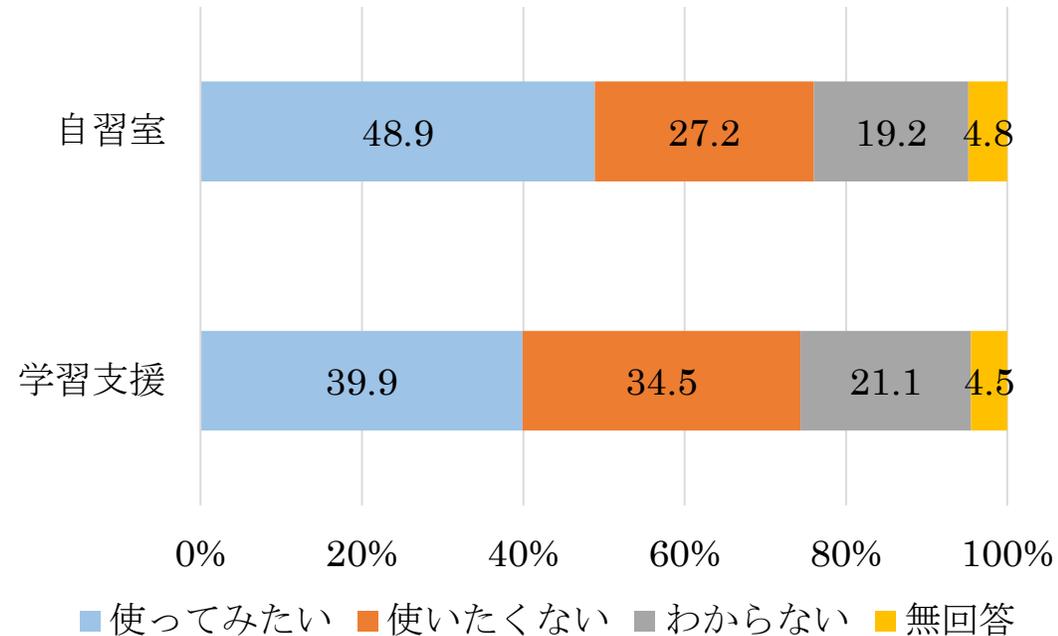
子どもの勉強をみる（中学2年生）：世帯タイプ別(X)



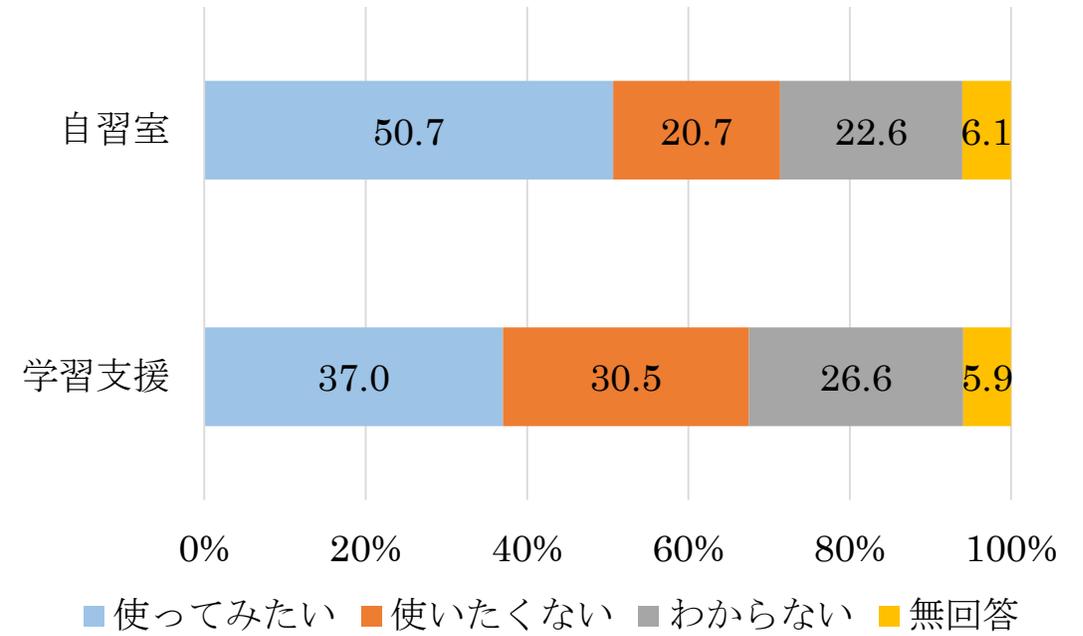
学習支援ニーズ

自習室・学習支援事業の利用意向

小学5年生



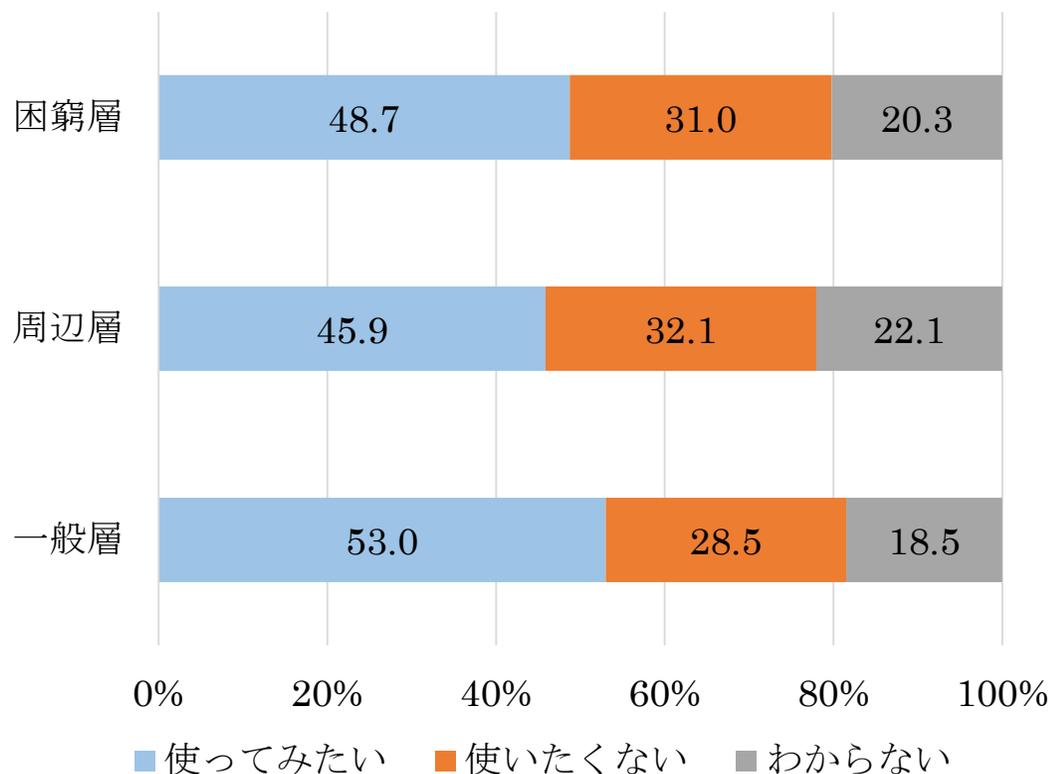
中学2年生



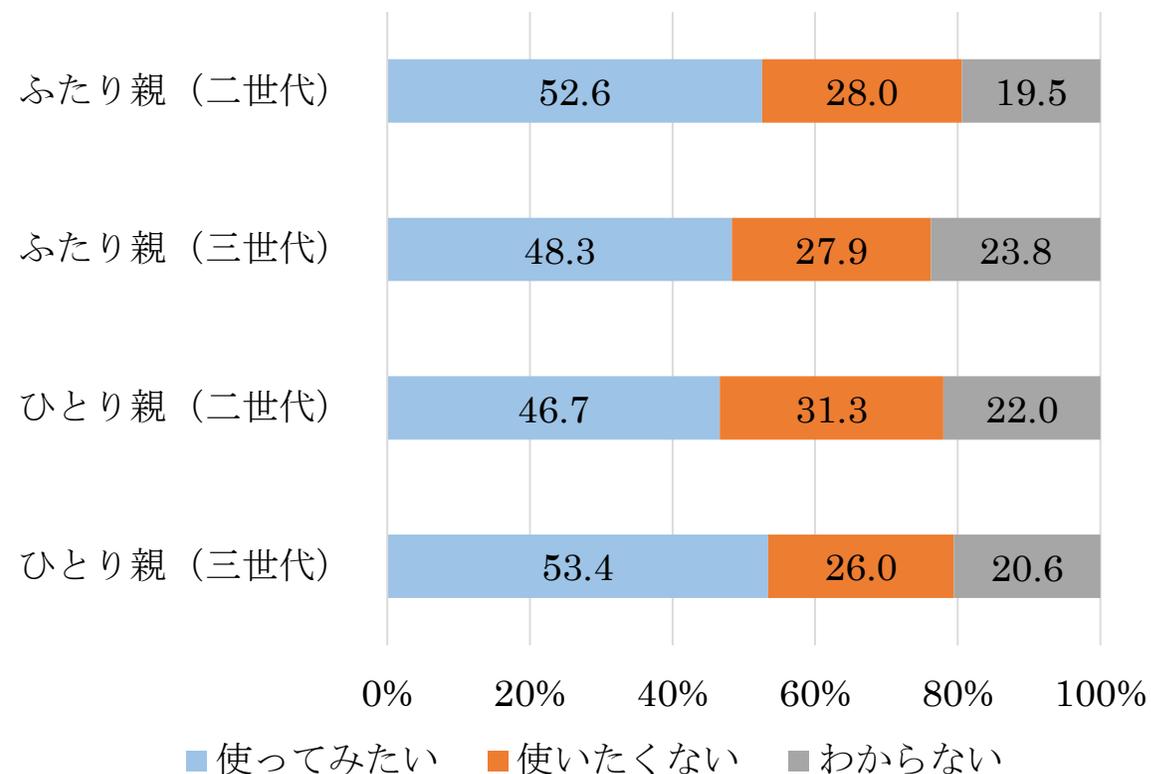
- 自習室の利用意向は、小5、中2の約5割
- 学習支援の利用意向は、小5の4割、中2の4割弱

自習室：小5では、生活困難度別、世帯タイプ別に有意な差はみられない

自習室（小学5年生）(X)

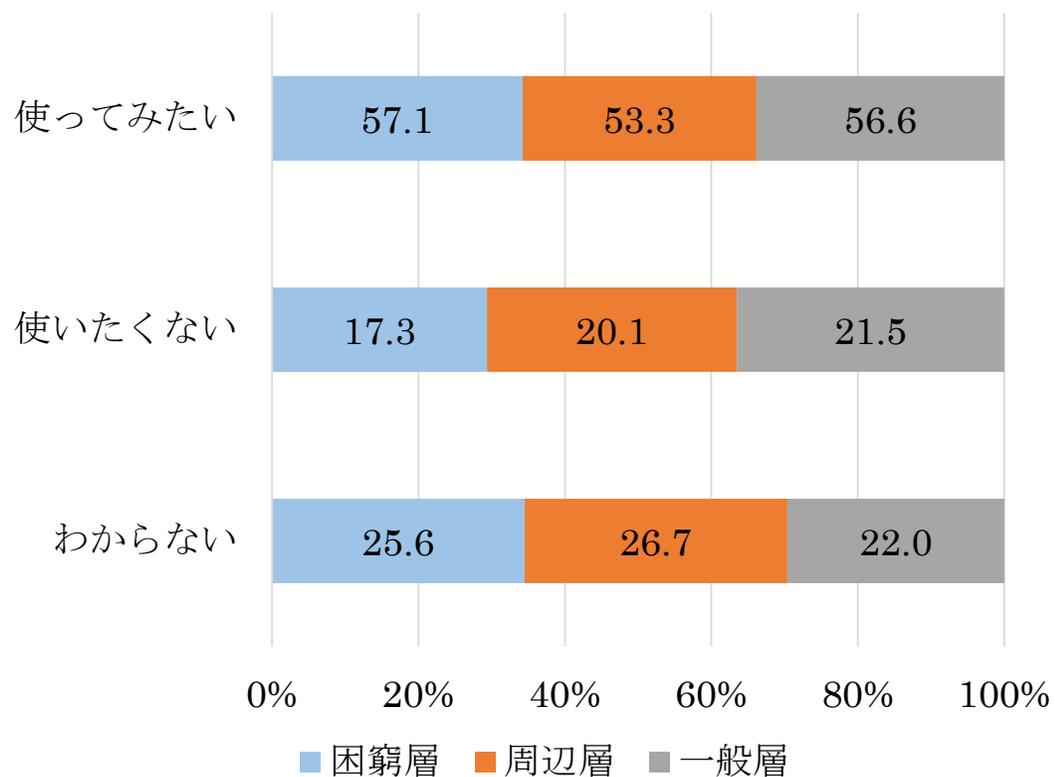


自習室（小学5年生）：世帯タイプ別(X)

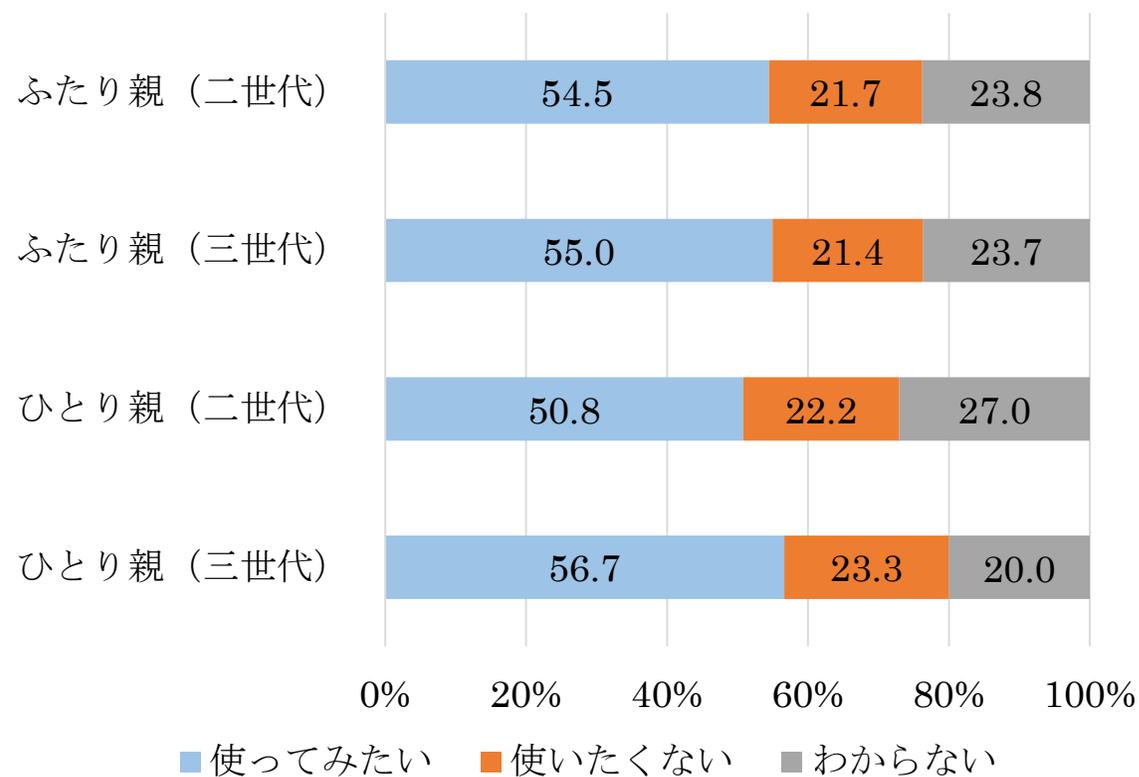


自習室：中2でも、生活困難度別、世帯タイプ別に有意な差はみられない

自習室（中学2年生）：生活困難度別(X)

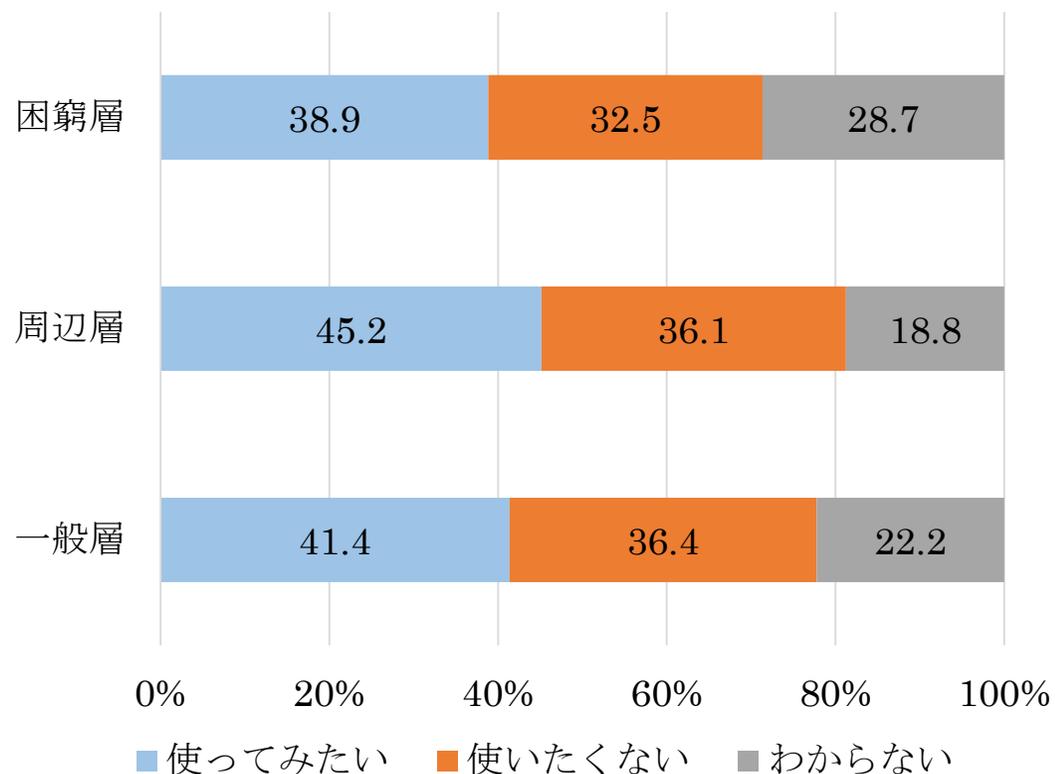


自習室（中学2年生）：世帯タイプ別(X)

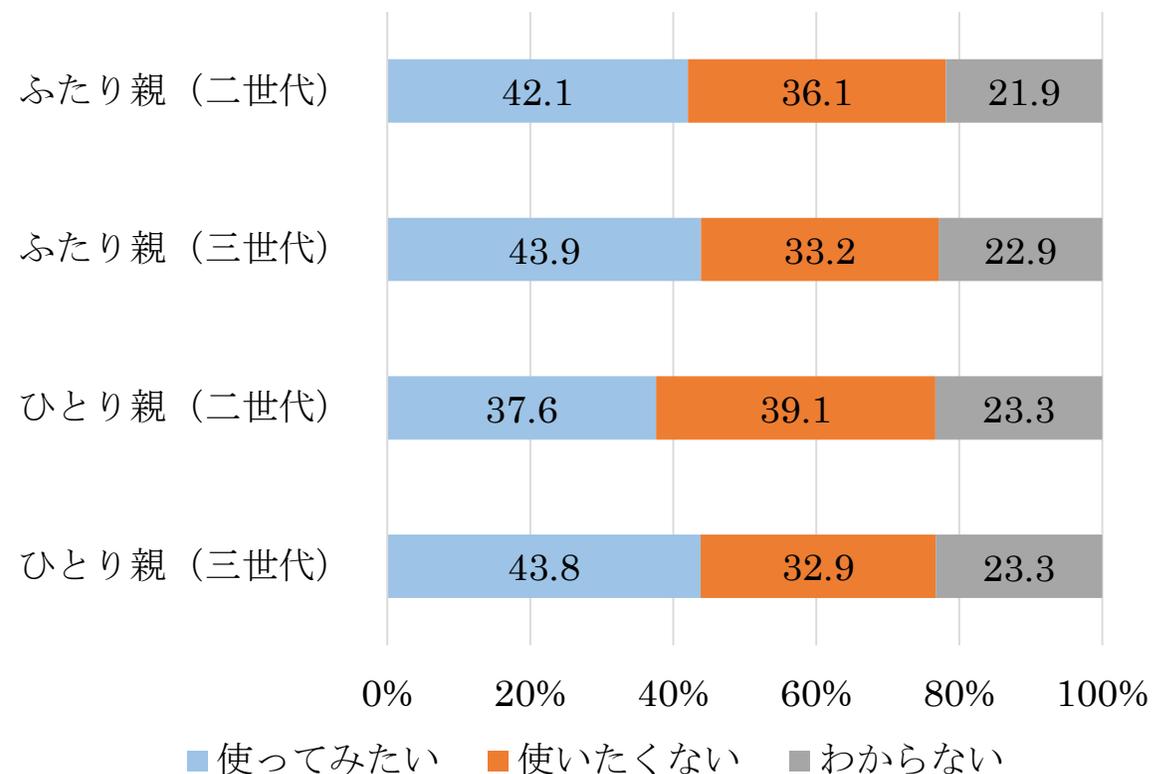


学習支援：小5では、生活困難度別、世帯タイプ別に有意な差はみられない

学習支援（小学5年生）(X)

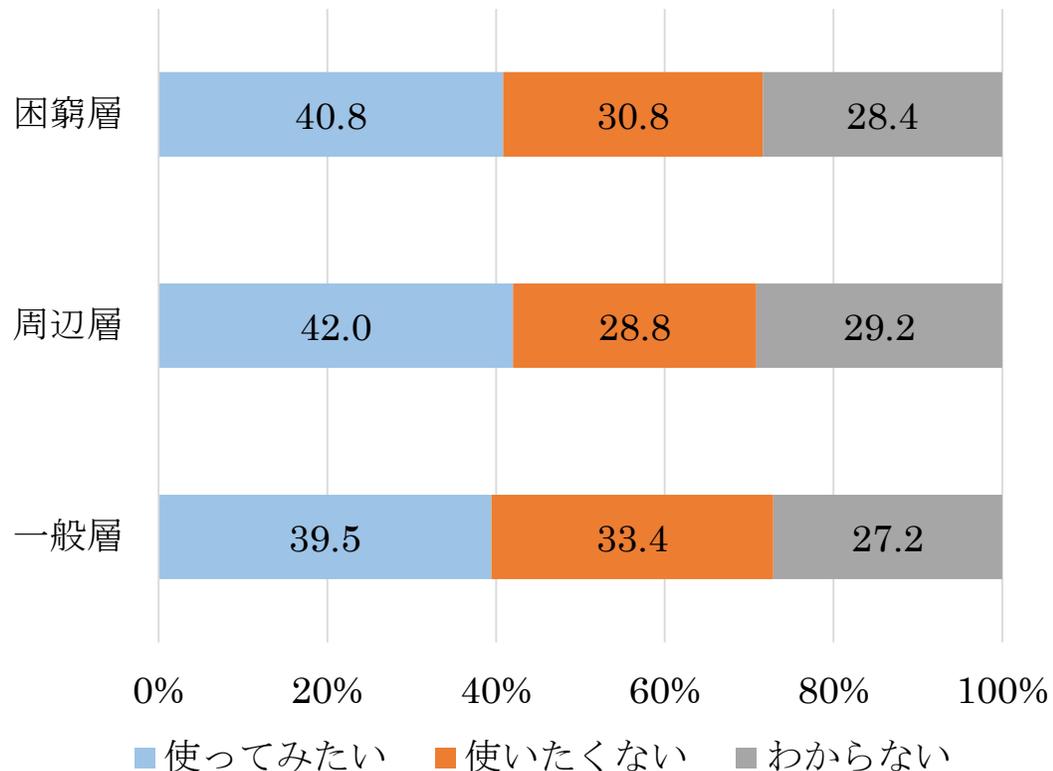


学習支援（小学5年生）：世帯タイプ別(X)

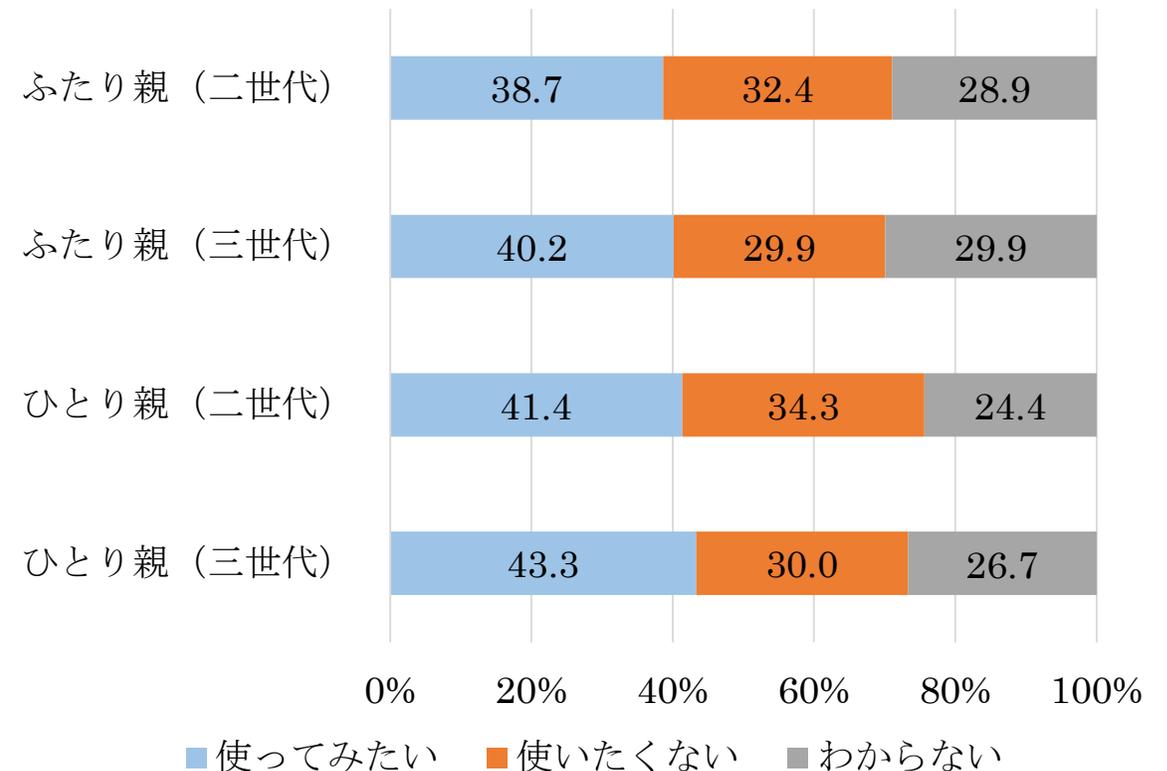


学習支援：中2でも、生活困難度別、世帯タイプ別に有意な差はみられない

学習支援（中学2年生）：生活困難度別(X)



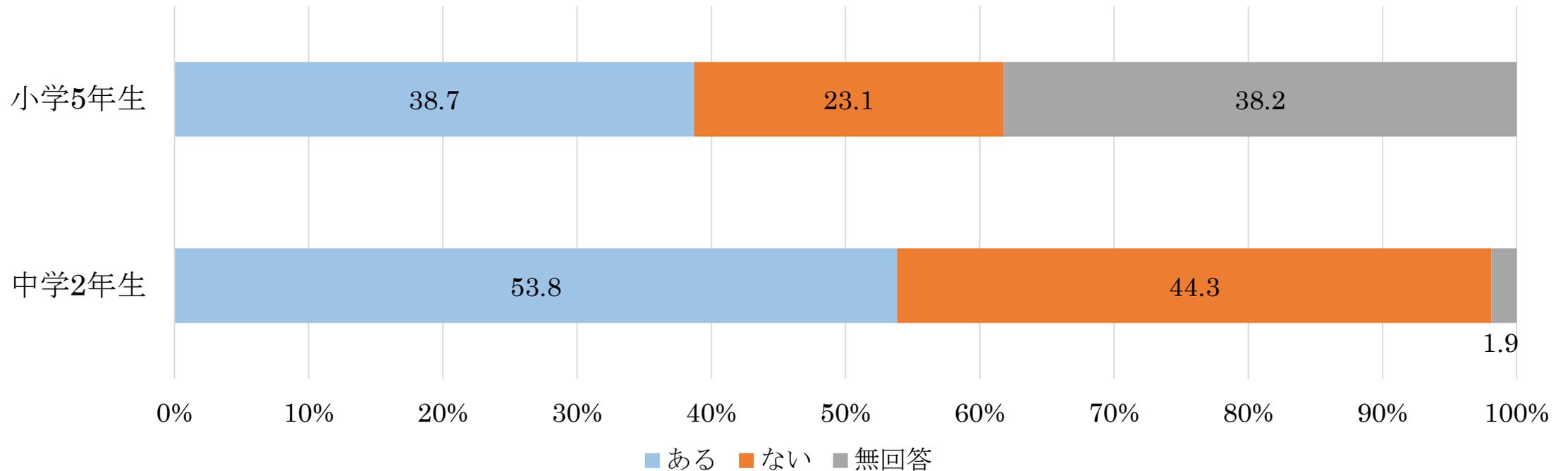
学習支援（中学2年生）：世帯タイプ別(X)



将来の夢

将来の「夢がある」小学5年生は4割、中学2年生は5割強

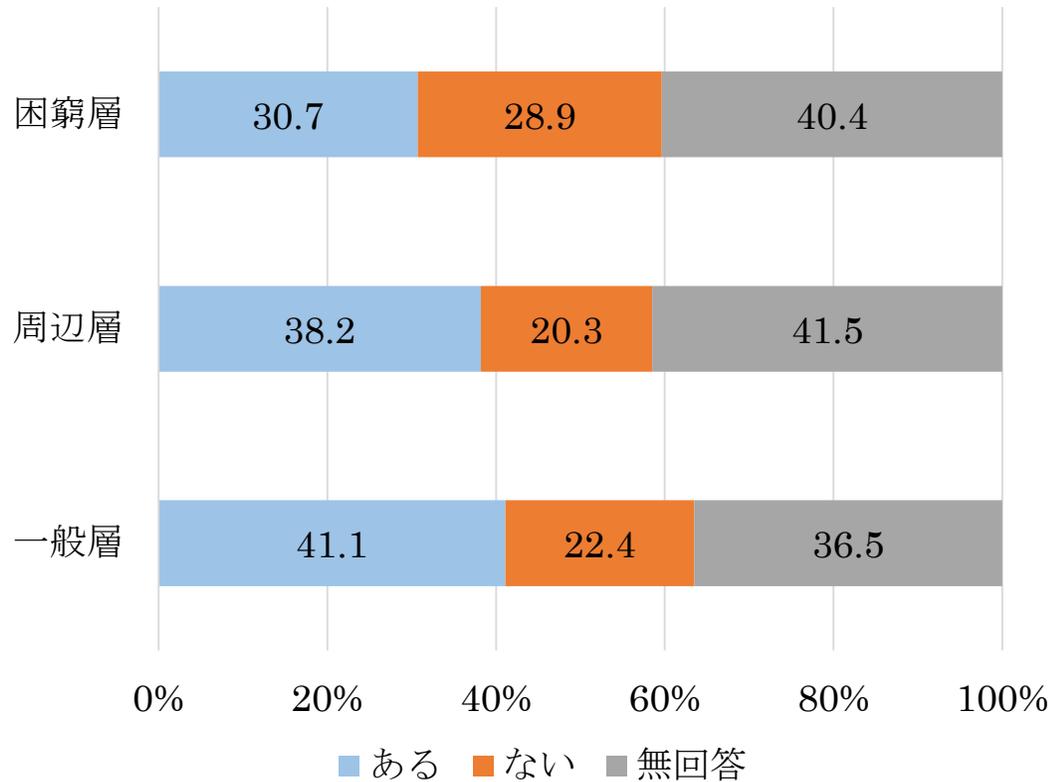
将来の夢



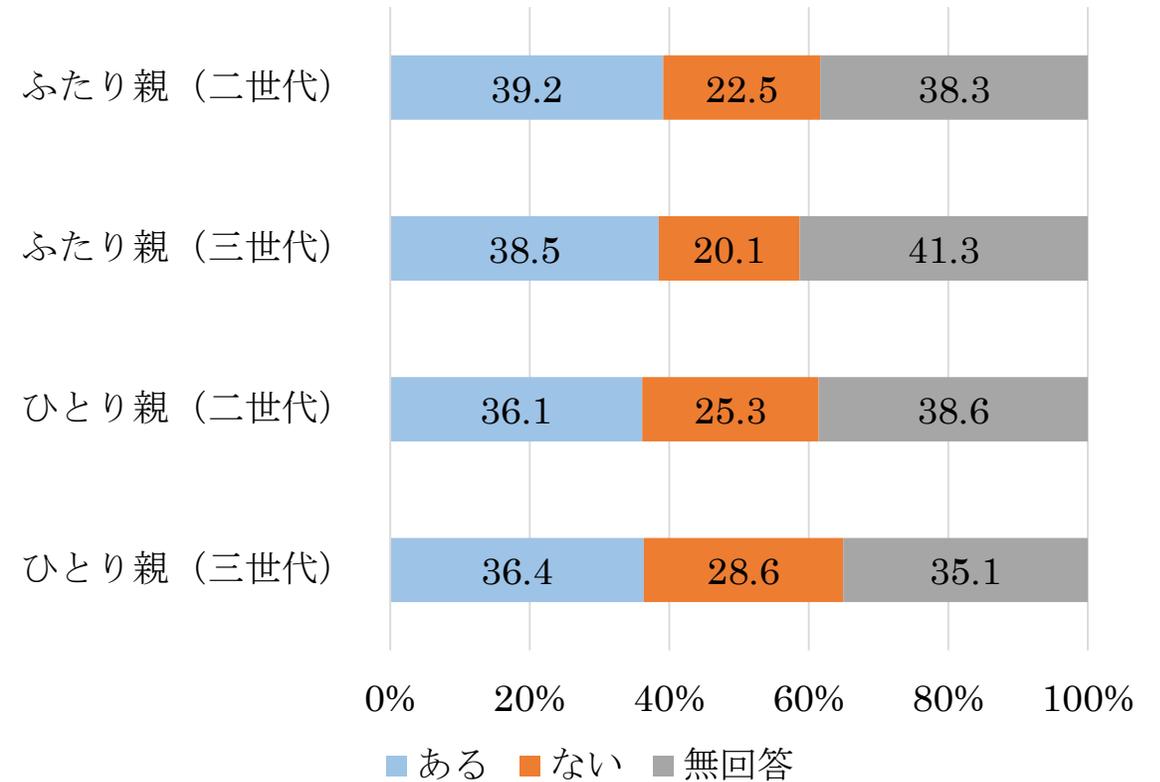
注：小学5年生については、無回答の回答が4割近くになっており（理由は不明）、分析結果に関しては注意が必要である。

小学5年生の困窮層で「夢がある」は3割である

将来の夢の有無（小学5年生）：生活困難度別(**)

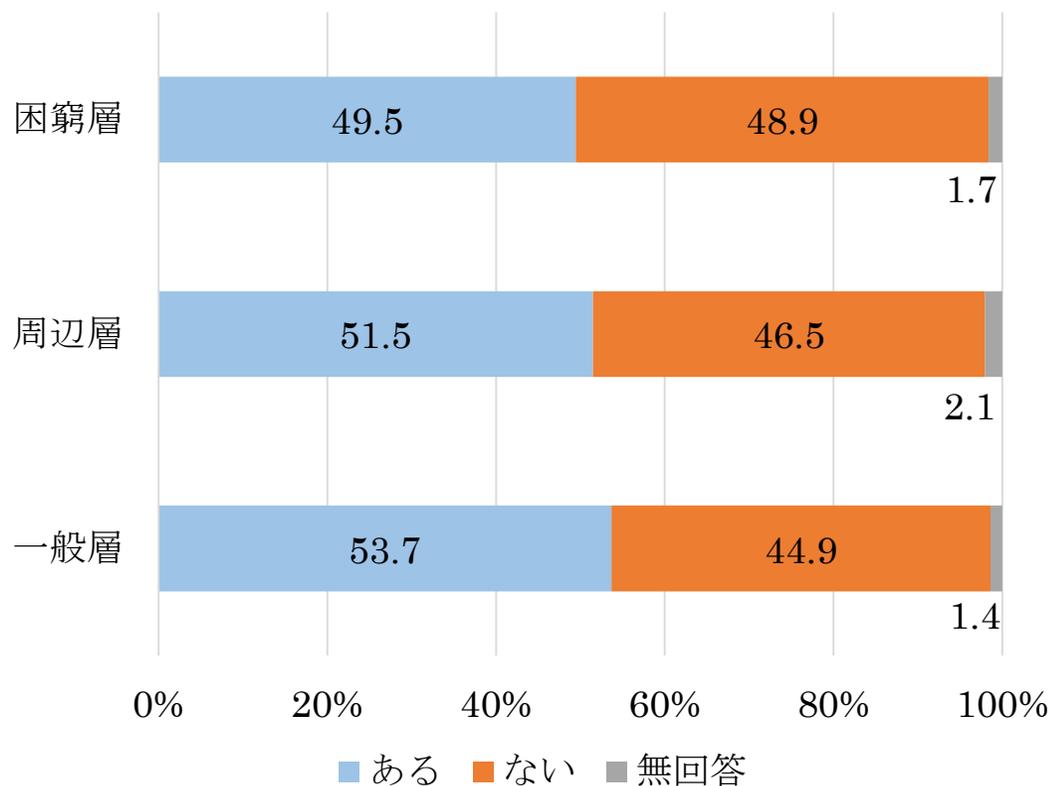


将来の夢の有無（小学5年生）：世帯タイプ別(X)

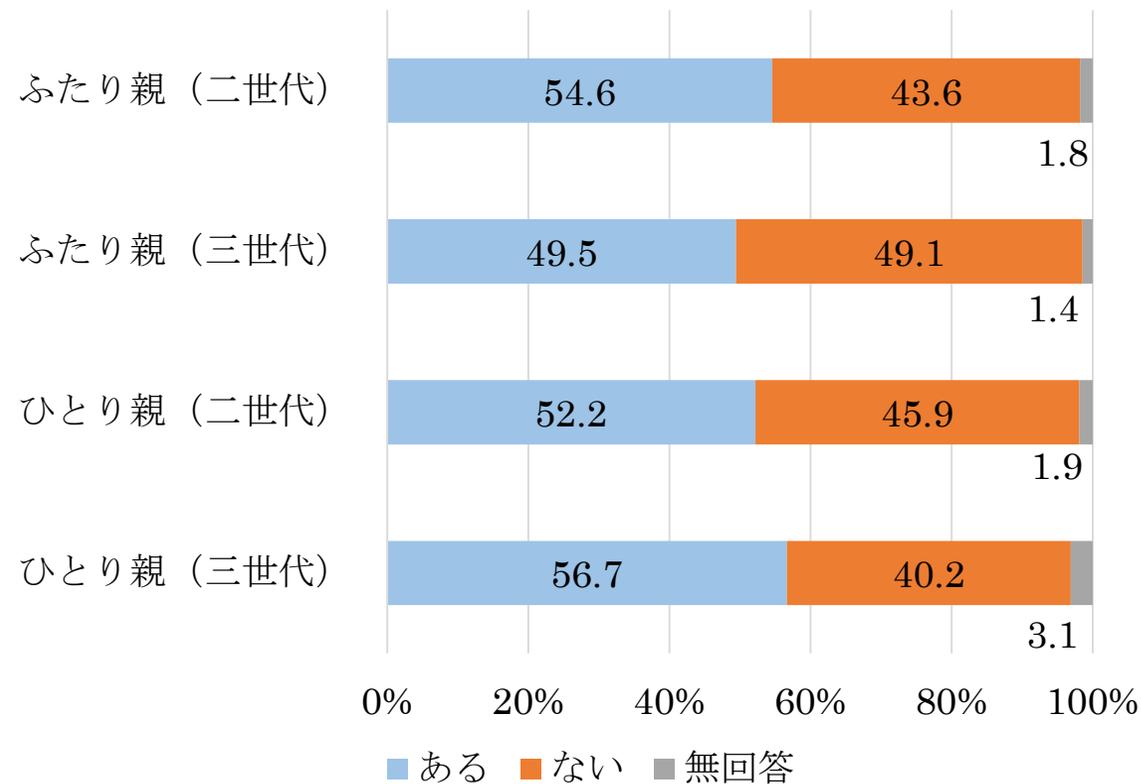


中学2年生で将来の「夢がある」子どもの割合は、生活困難度別、世帯タイプ別に差はない

将来の夢の有無（中学2年生）：生活困難度別(X)

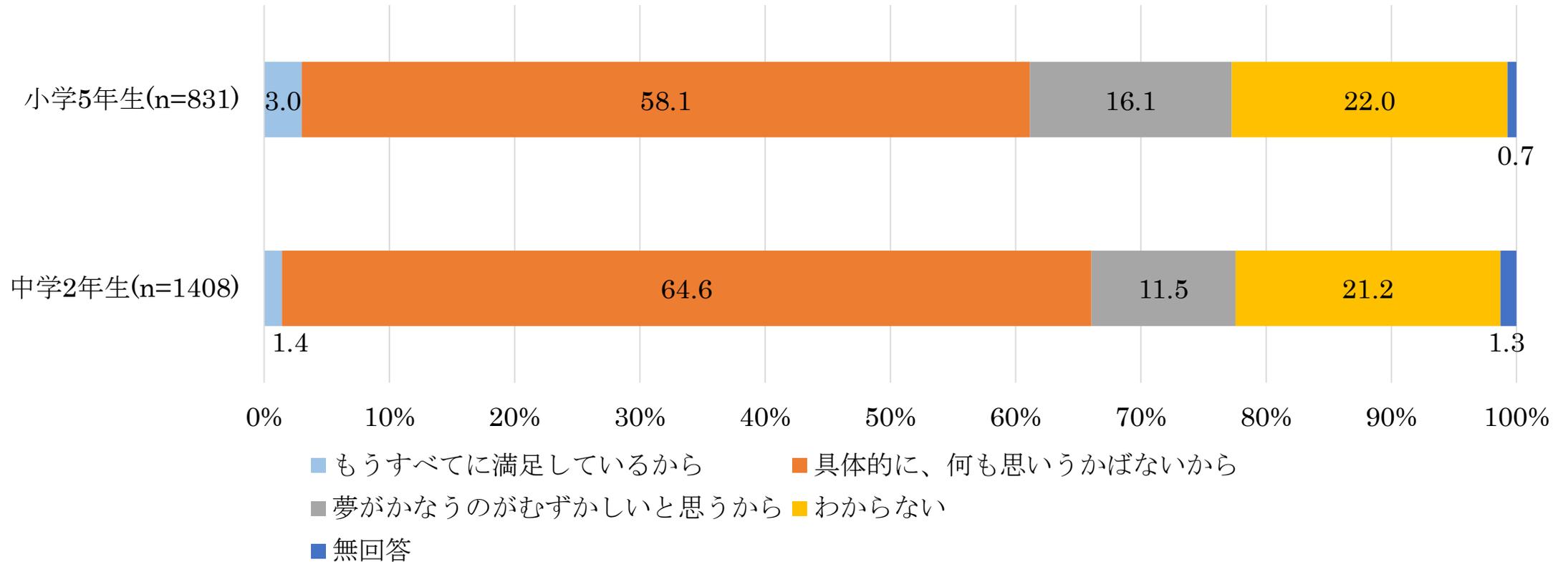


将来の夢の有無（中学2年生）：世帯タイプ別(X)



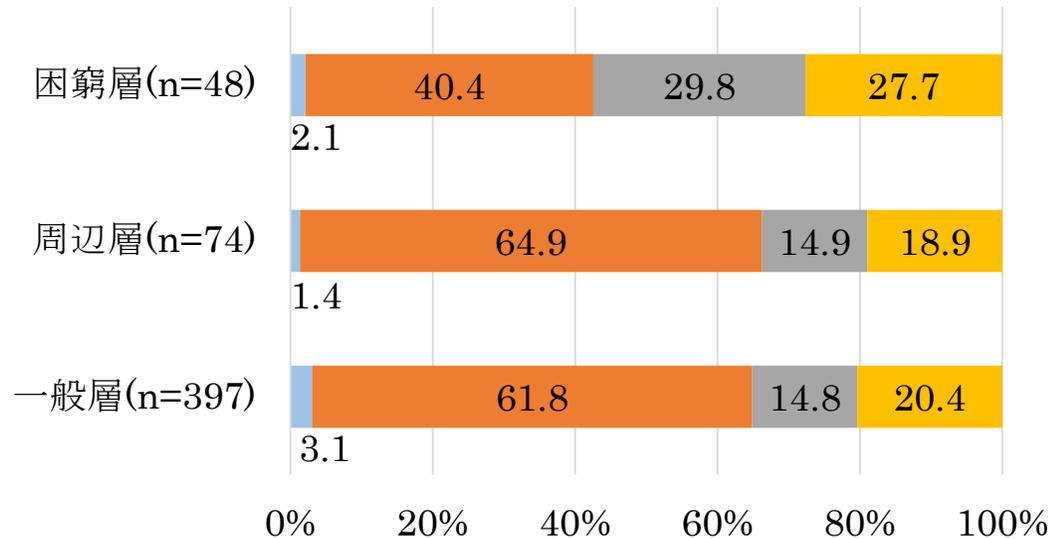
夢がない理由の6割は、「具体的に何も思いうかばないから」

夢がない理由



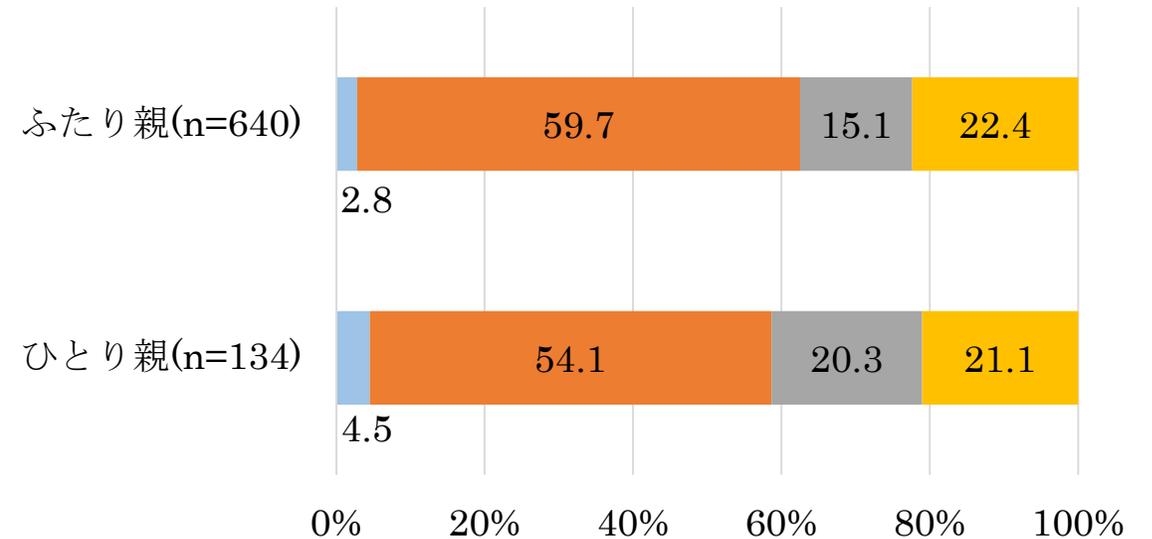
小5困窮層は「具体的に何も思いうかばない」4割、「かなうのが難しい」3割

夢がない理由（小学5年生）：生活困難度別(*)



- もうすべてに満足しているから
- 具体的に、何も思いうかばないから
- 夢がかなうのがむずかしいと思うから
- わからない

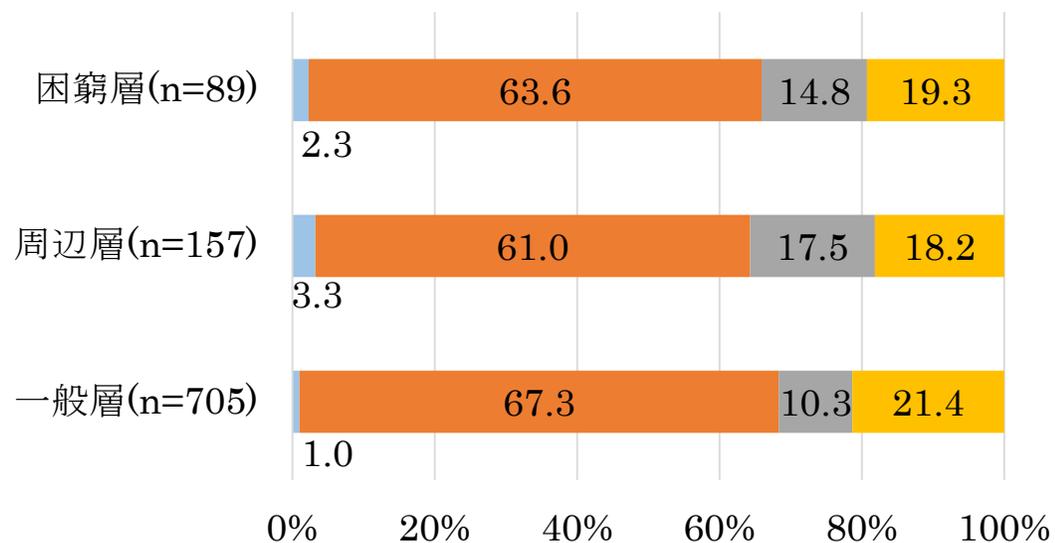
夢がない理由（小学5年生）：世帯タイプ別(X)



- もうすべてに満足しているから
- 具体的に、何も思いうかばないから
- 夢がかなうのがむずかしいと思うから
- わからない

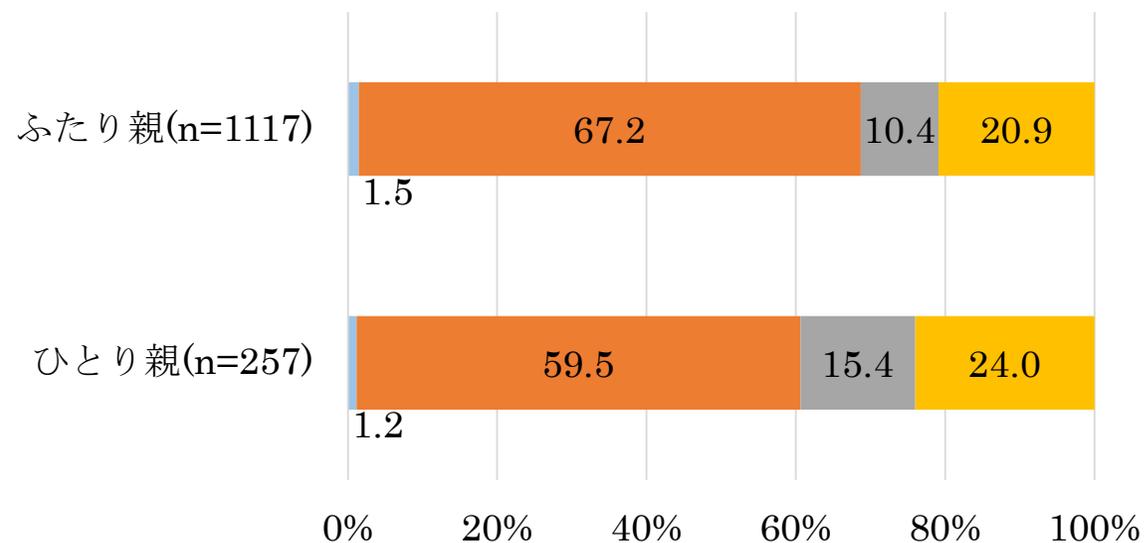
中2困窮層、周辺層、ひとり親世帯は「かなうのが難しい」15~18%と多い

夢がない理由（中学2年生）：生活困難度別(*)



- もうすべてに満足しているから
- 具体的に、何も思いうかばないから
- 夢がかなうのがむずかしいと思うから
- わからない

夢がない理由（中学2年生）：世帯タイプ別(*)

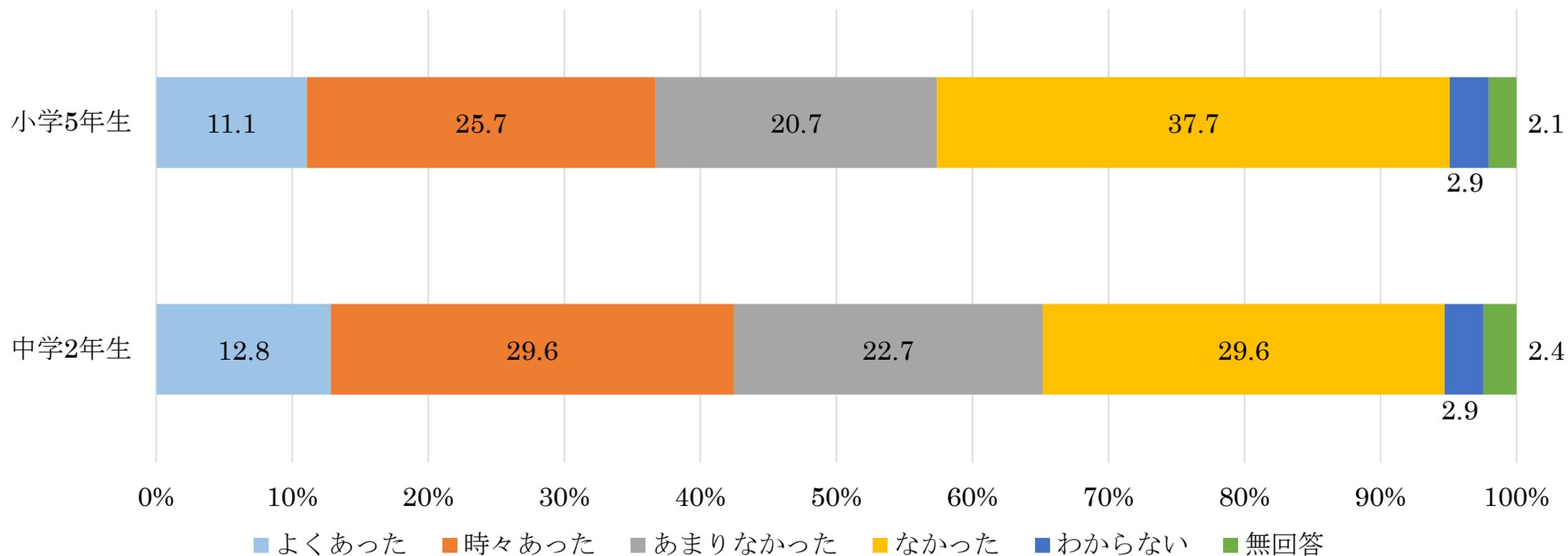


- もうすべてに満足しているから
- 具体的に、何も思いうかばないから
- 夢がかなうのがむずかしいと思うから
- わからない

不登校・いじめの状況

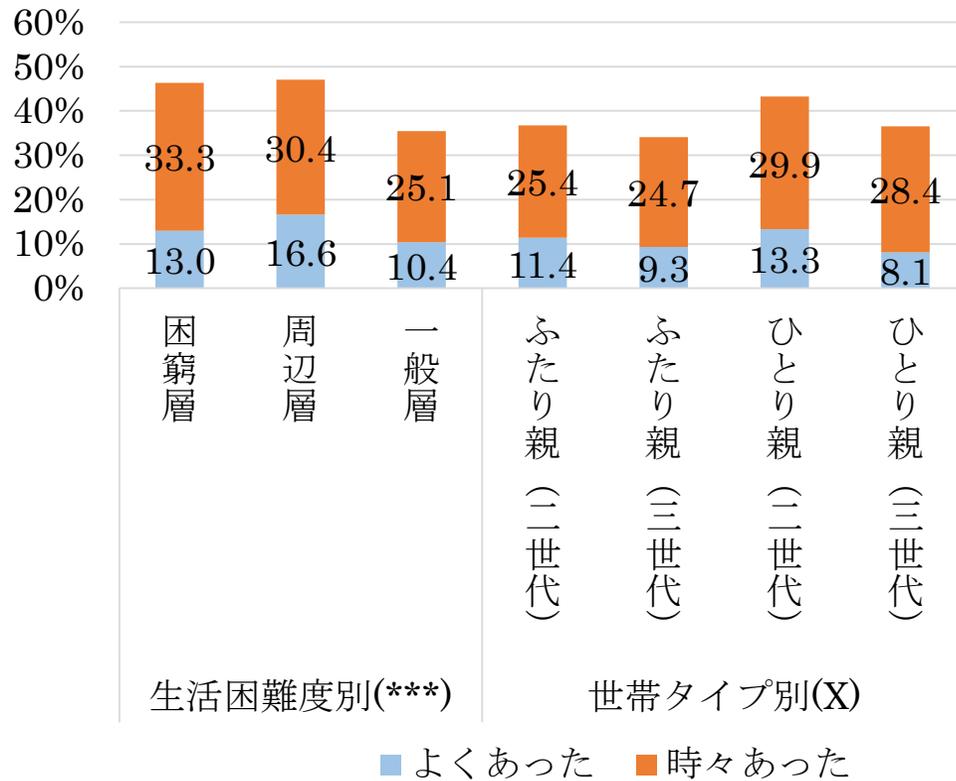
学校に行きたくないと思ったことがある 小5は36.8%、中2は42.4%

学校に行きたくないと思った経験

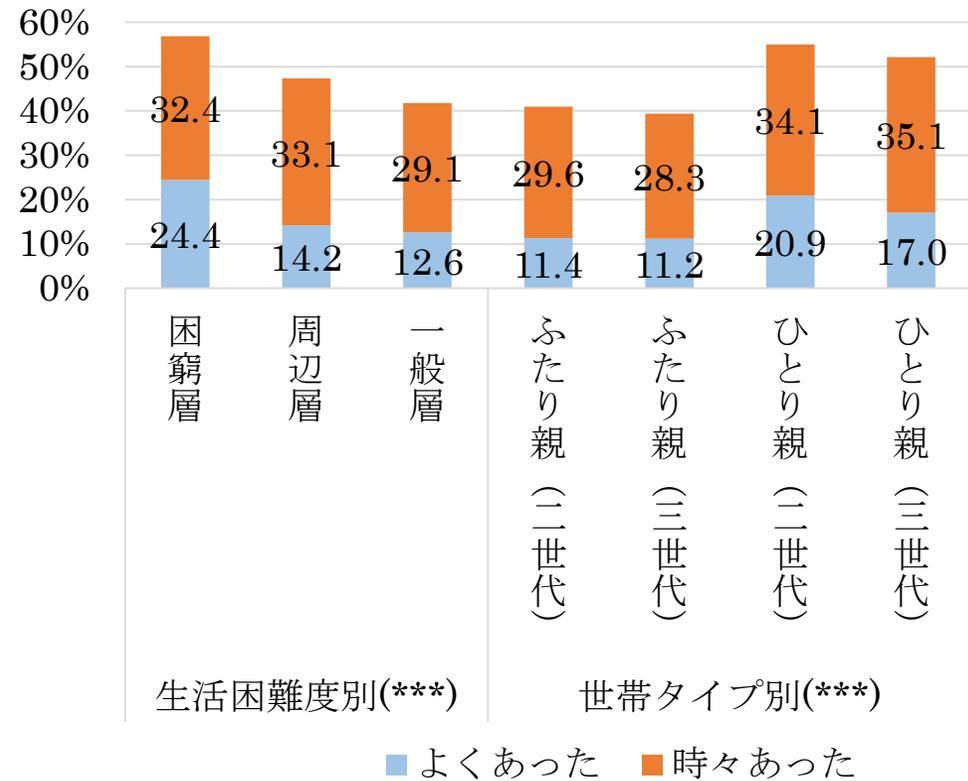


学校に行きたくないと思った経験は、困窮層、周辺層、ひとり親世帯が多い。特に中2の困窮層、ひとり親（二世帯）は2割以上が「よくあった」。

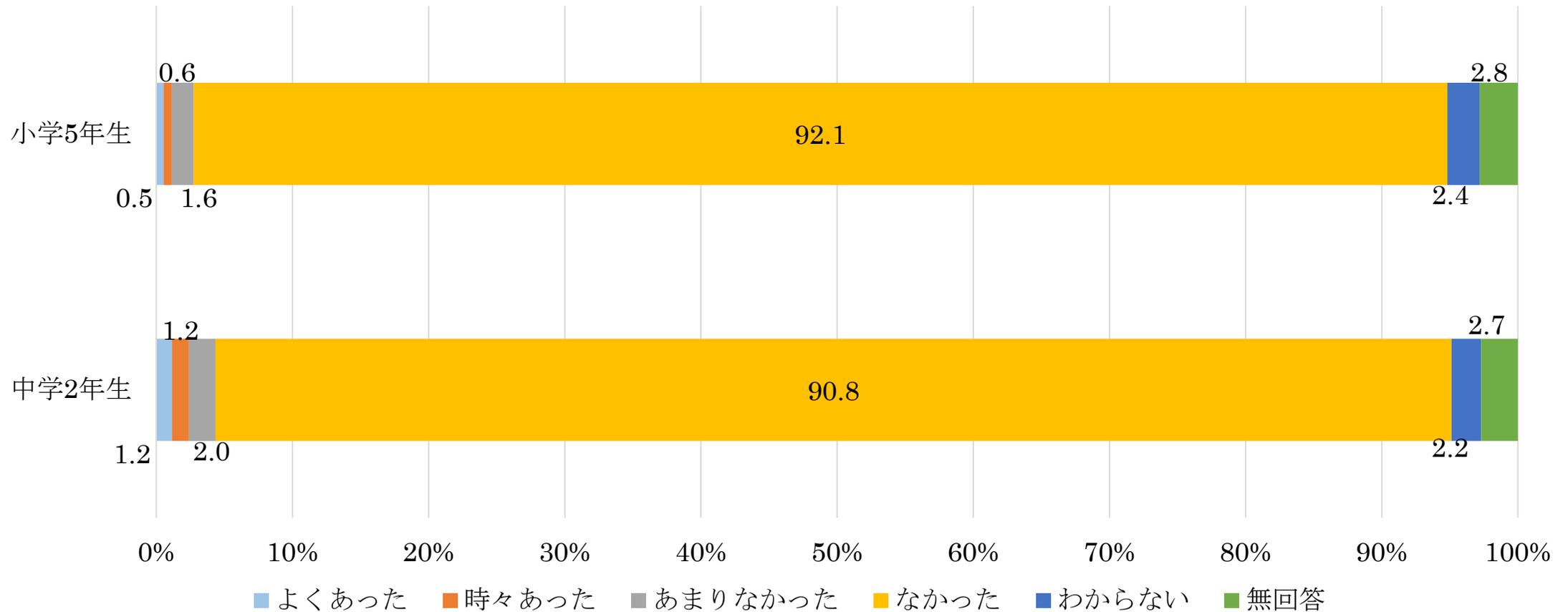
学校に行きたくないと思った経験（小学5年生）



学校に行きたくないと思った経験（中学2年生）

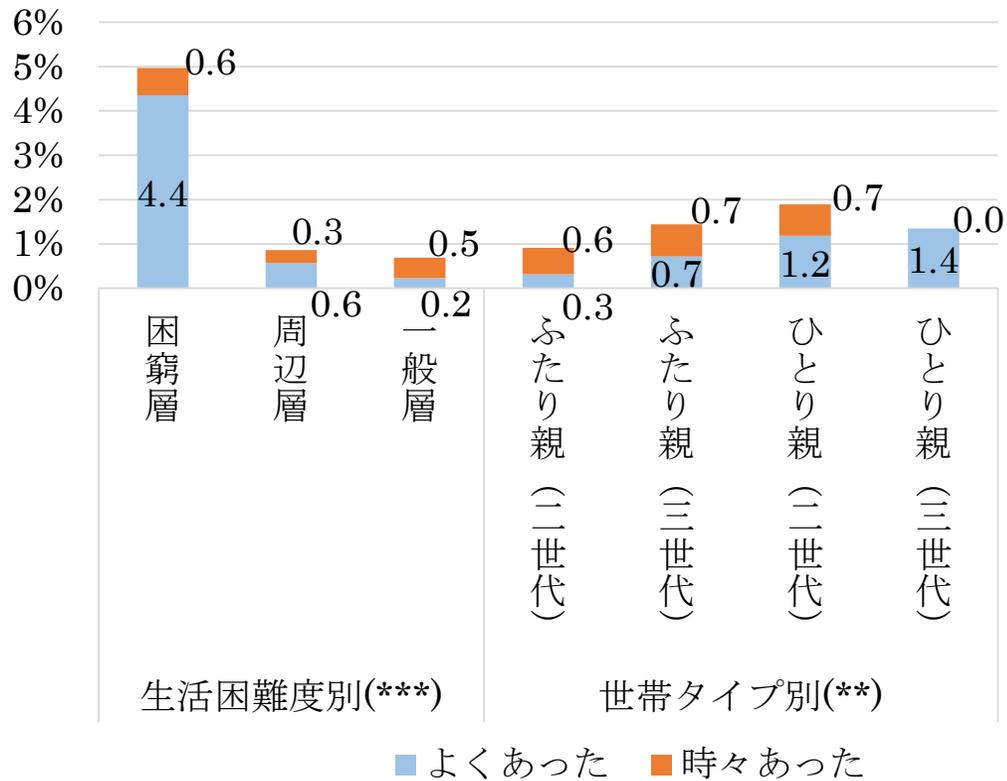


不登校経験がある小5は2.7%、中2は4.4%

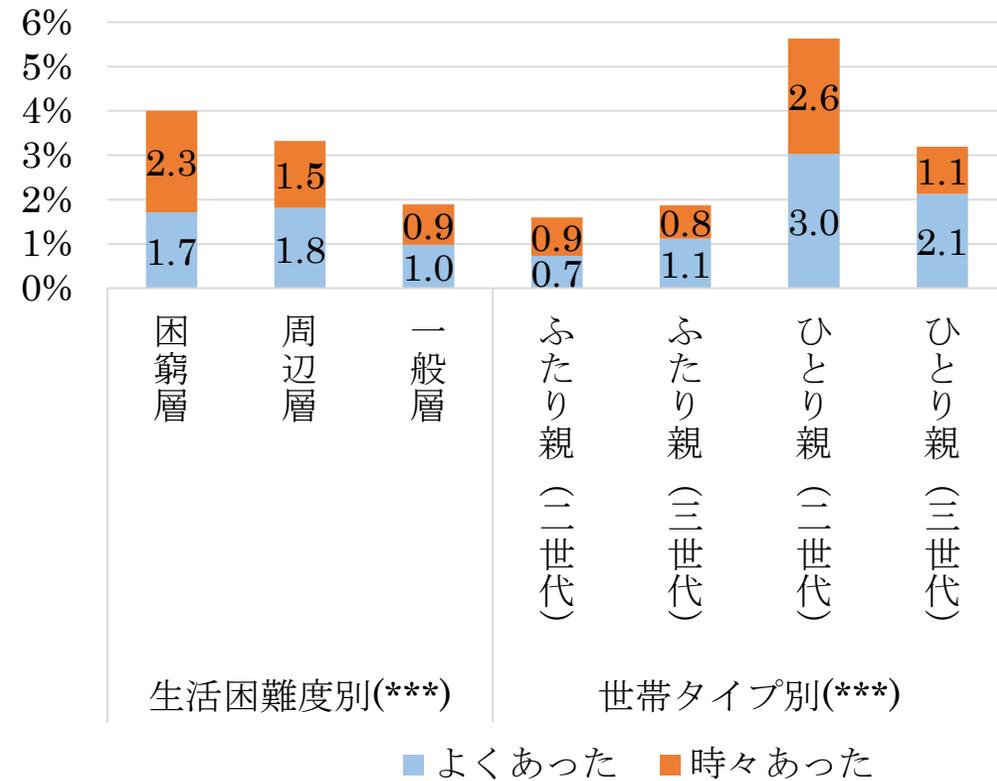


不登校経験は、小5では困窮層で著しく多い（5%）。
 中2ではひとり親（二世代）で5.6%と著しく多いほか、
 困窮層、周辺層、ひとり親（三世代）も多い（3～
 4%）。

小学校5年生

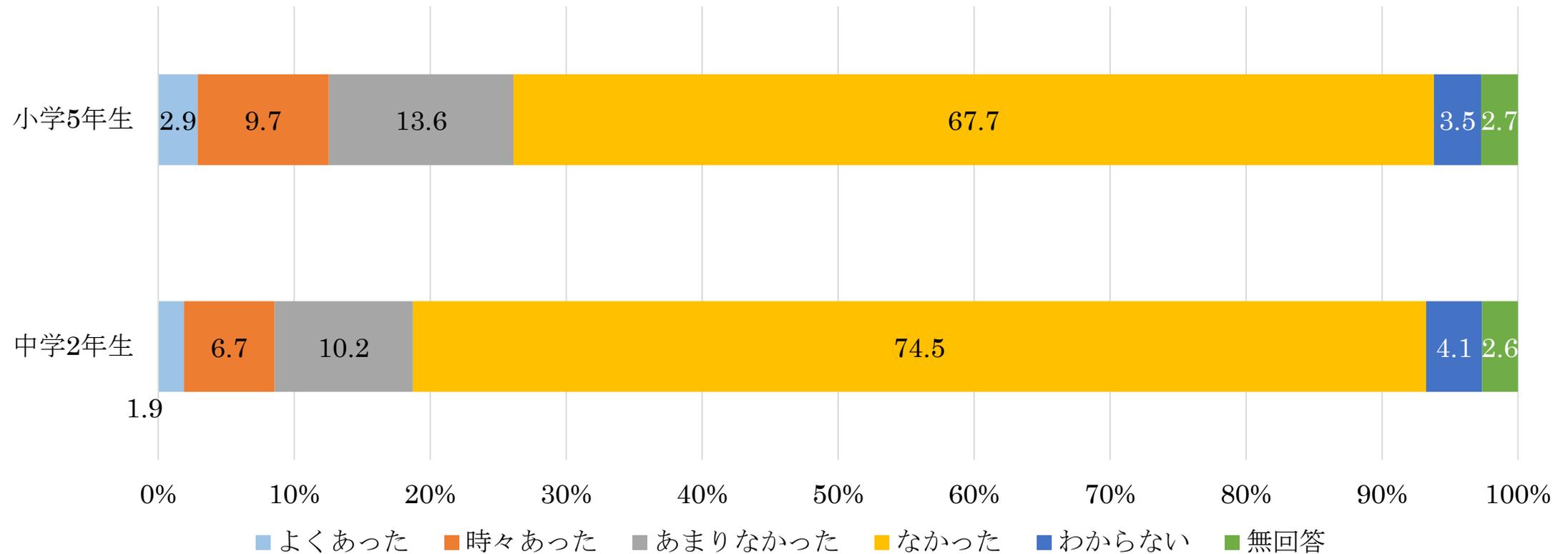


中学2年生

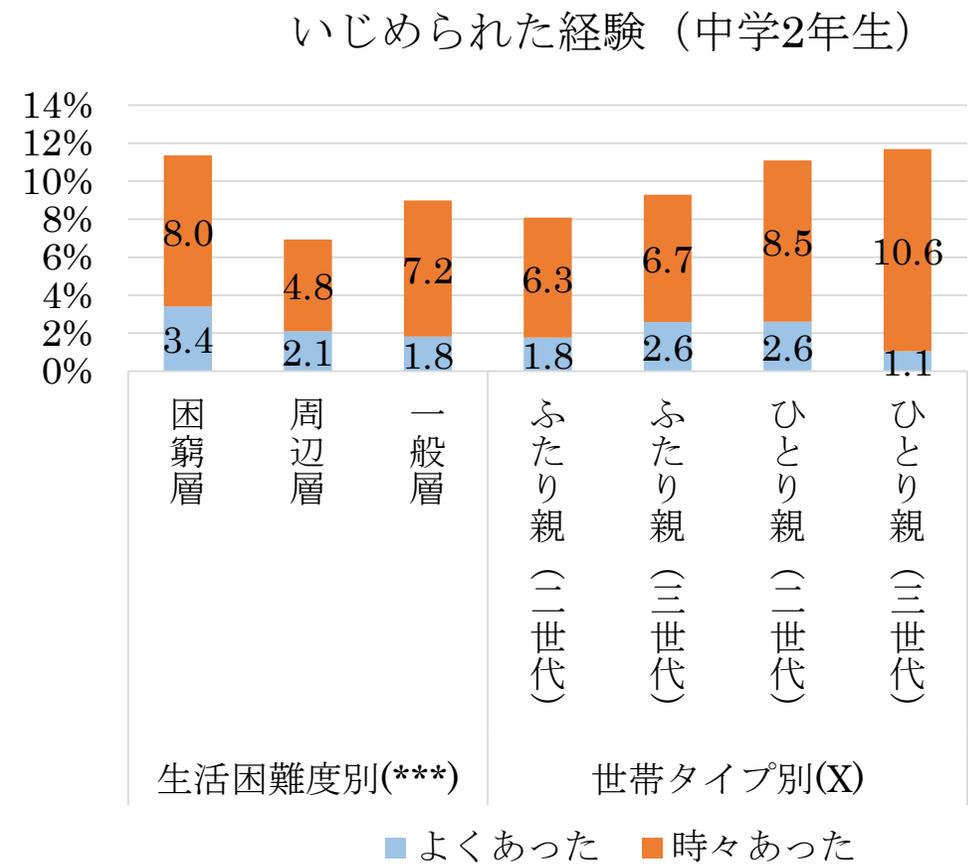
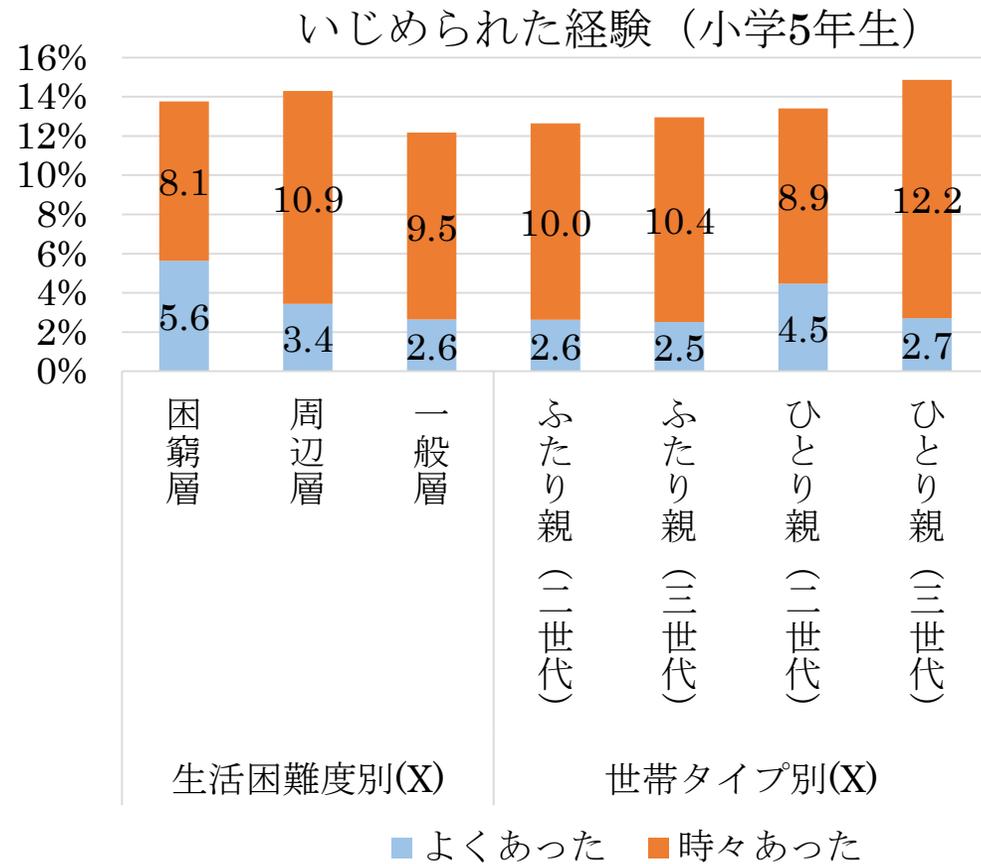


小5の8人に1人、中2の11人に1人は、いじめられた経験がある

いじめられた



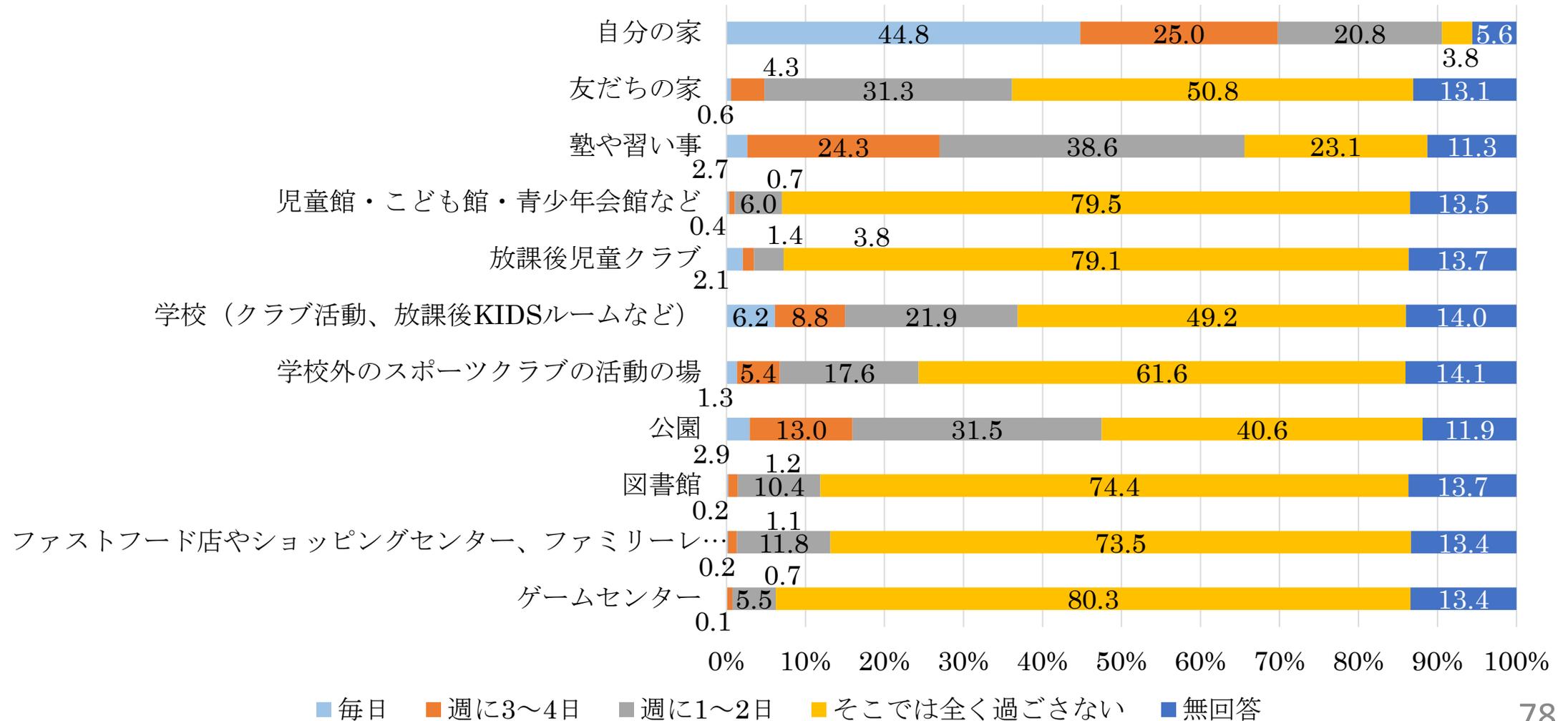
小5の困窮層、ひとり親（二世代）の 5～6%がいじめじめに「よくあった」



居場所（平日の放課後に過ごす場所・夜一人で過ごす）

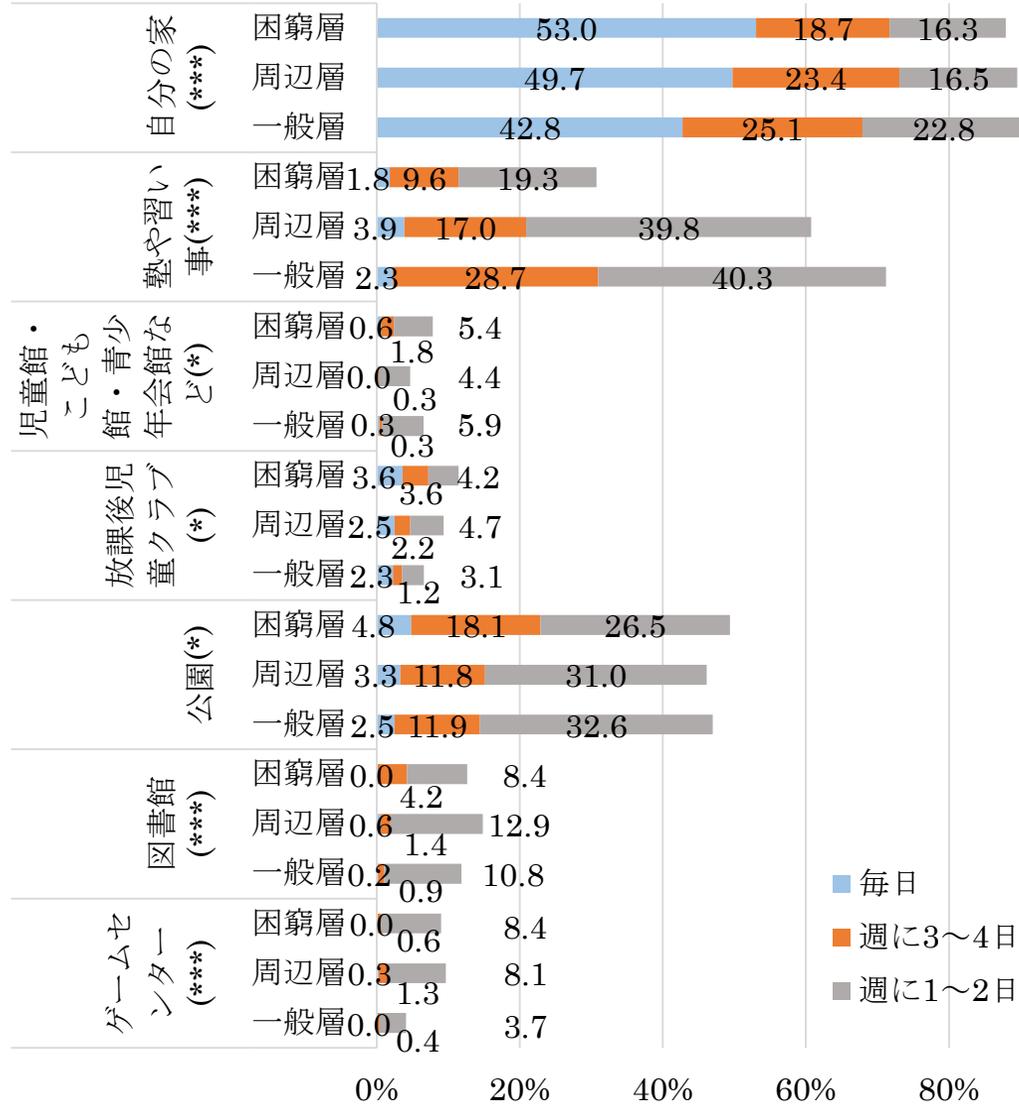
小学5年生が平日3～4日以上、放課後に過ごす場所は、「自分の家」「塾や習い事」「公園」「学校」が多い

小学5年生

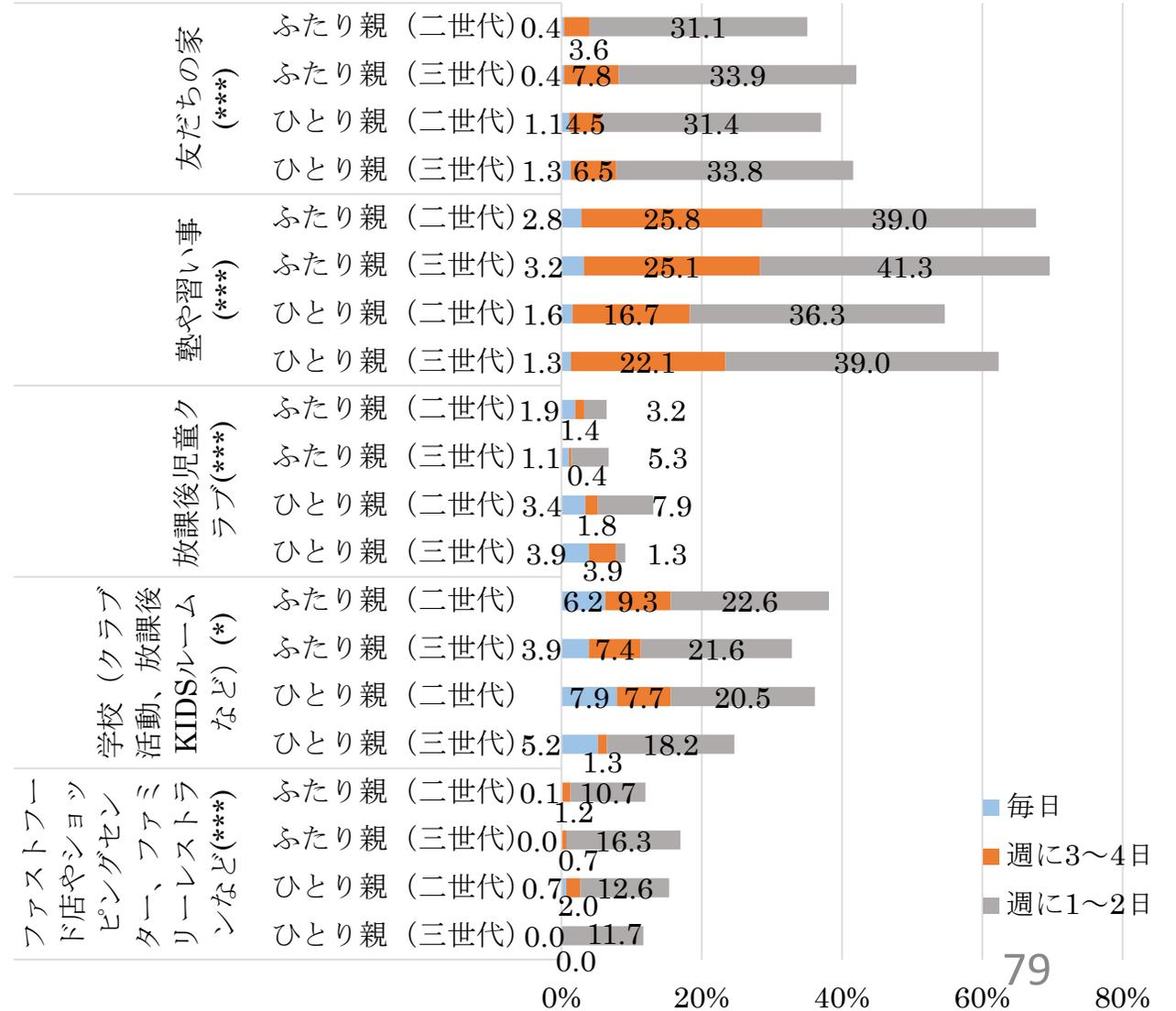


困窮層、周辺層、ひとり親世帯の小5は、習い事や塾で過ごす頻度が一般層、ふたり親世帯より少ない

平日の放課後に過ごす場所（小学5年生）：生活困難度別

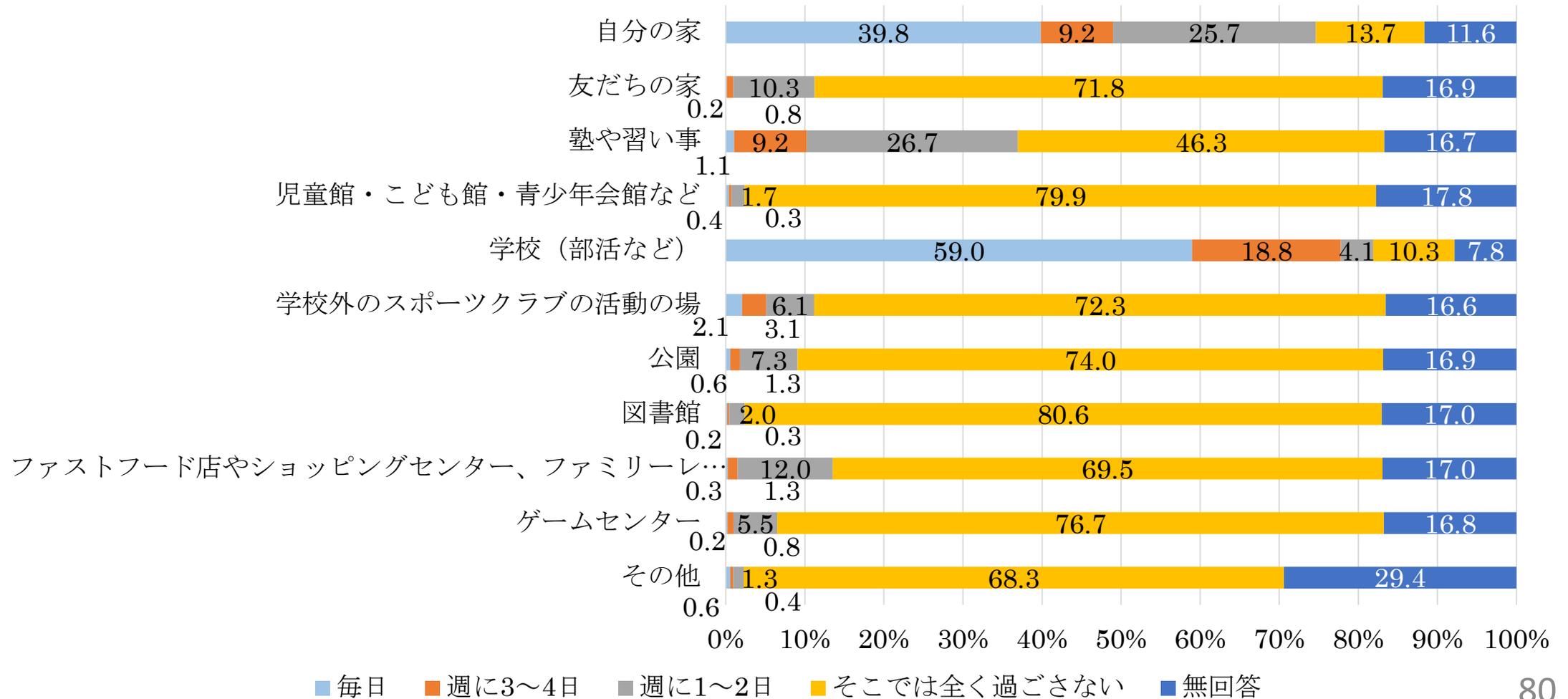


平日の放課後に過ごす場所（小学5年生）：世帯タイプ別



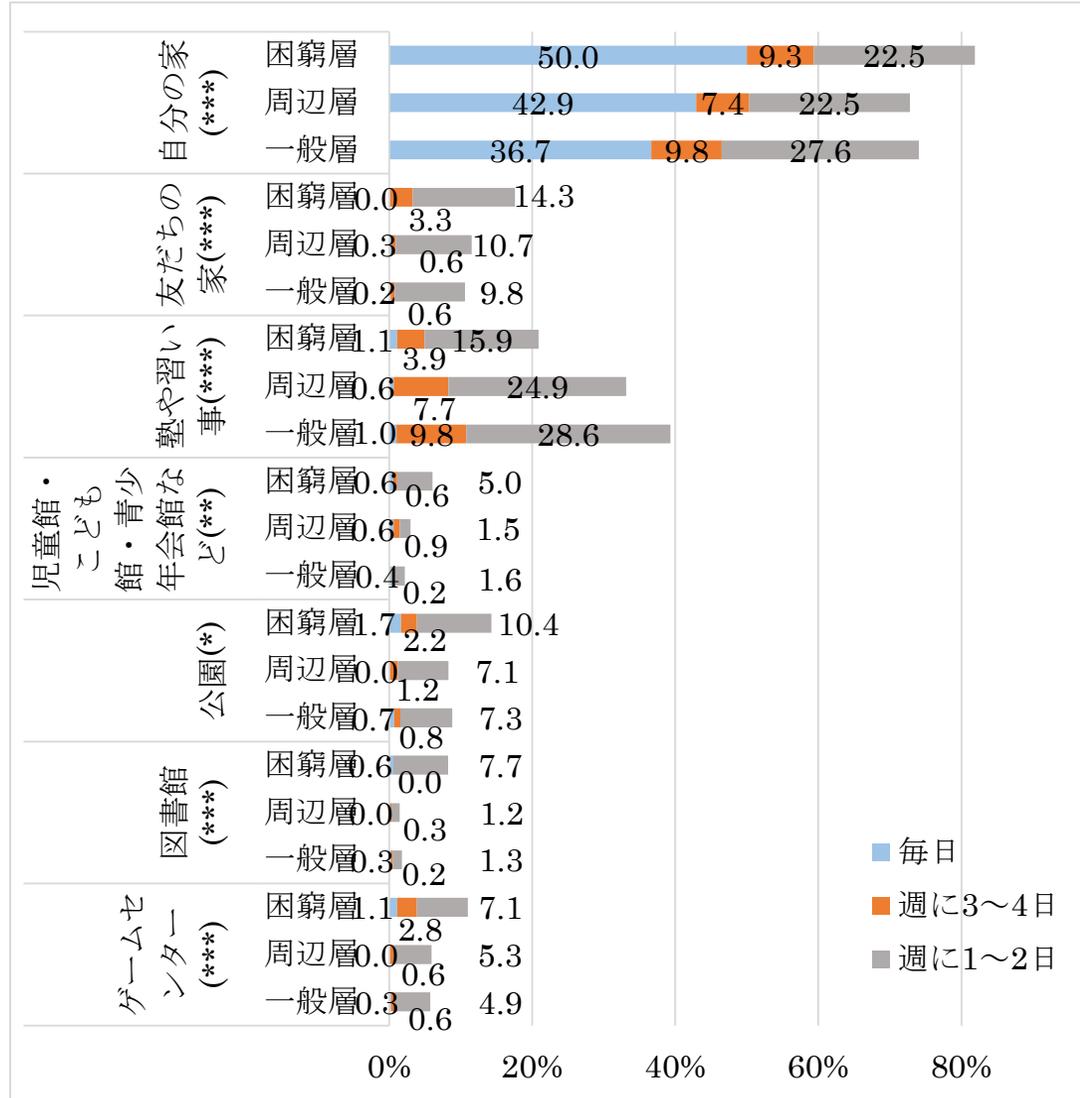
中学2年生が平日3~4日以上、放課後に過ごす場所は、「学校」「自分の家」「塾や習い事」が多い

中学2年生

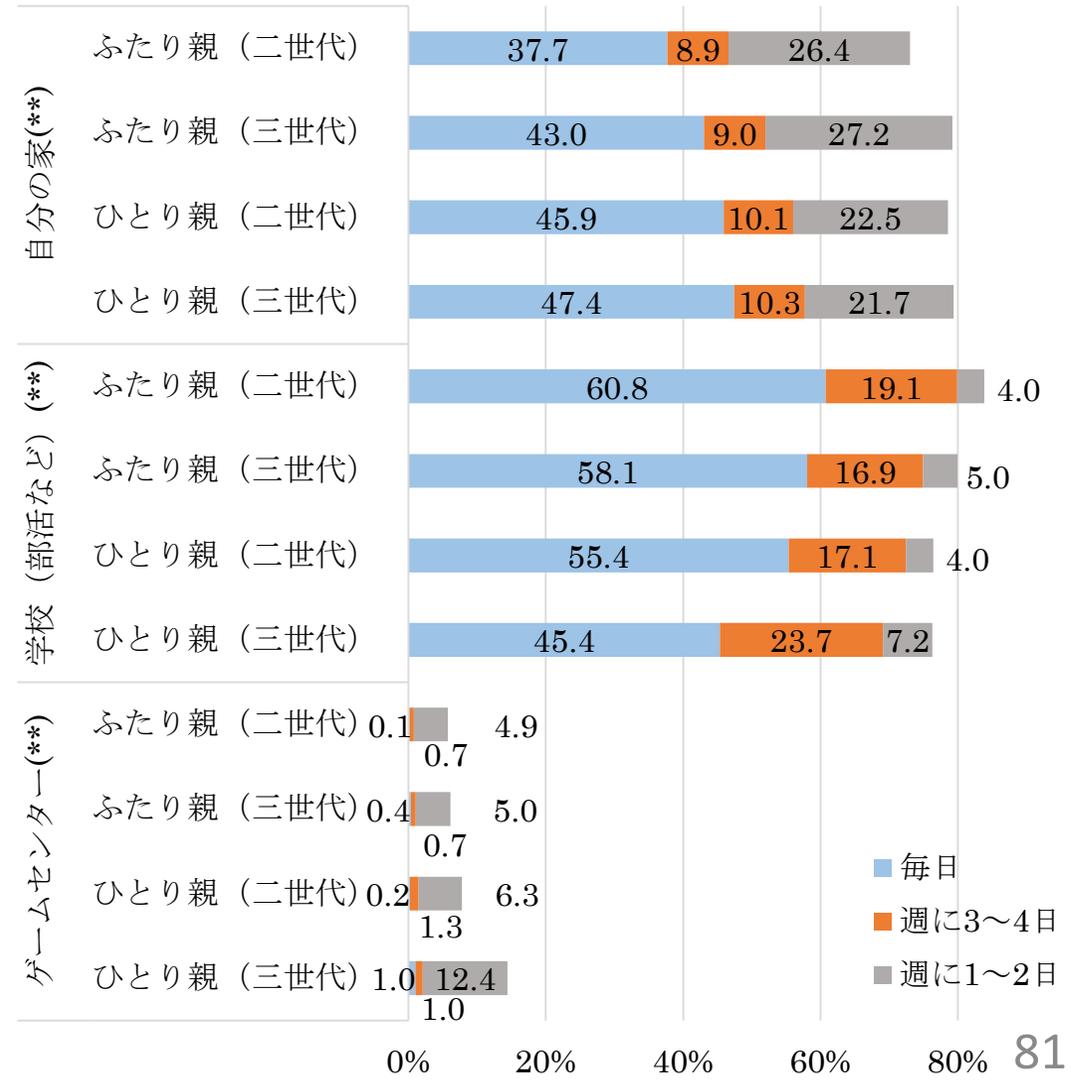


困窮層、ひとり親世帯の中2は自宅で過ごすことが多い

平日の放課後に過ごす場所（中学2年生）：生活困難度別

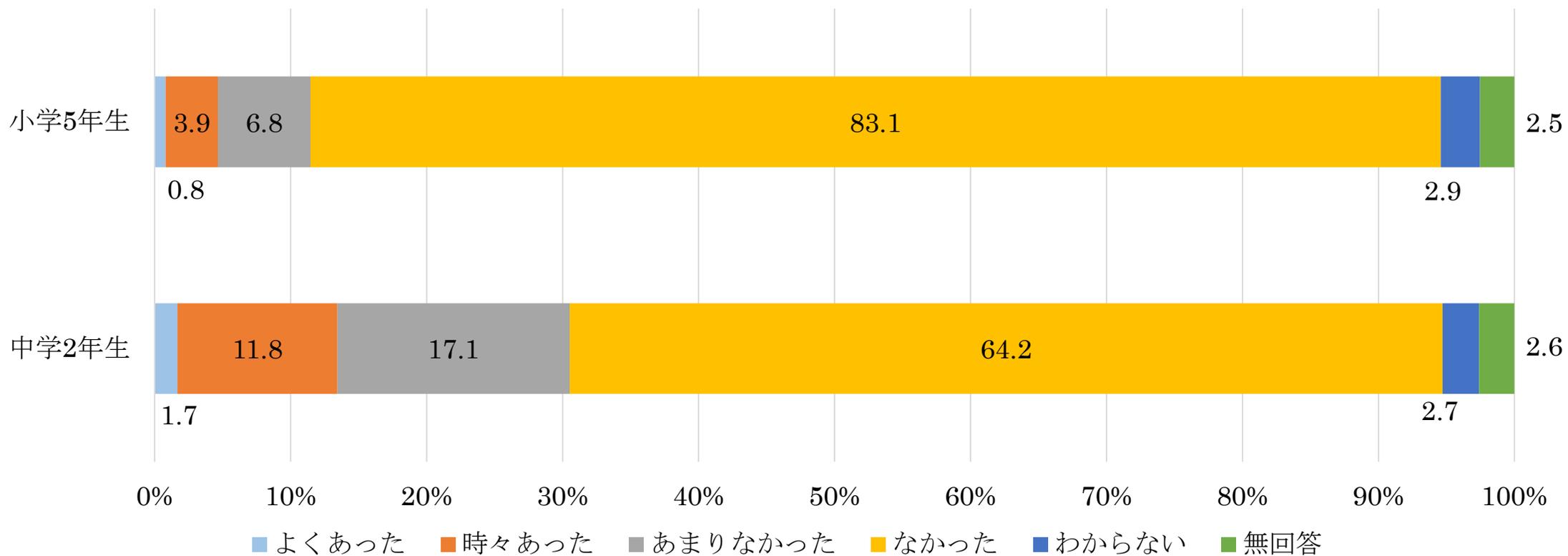


平日の放課後に過ごす場所（中学2年生）：世帯タイプ別



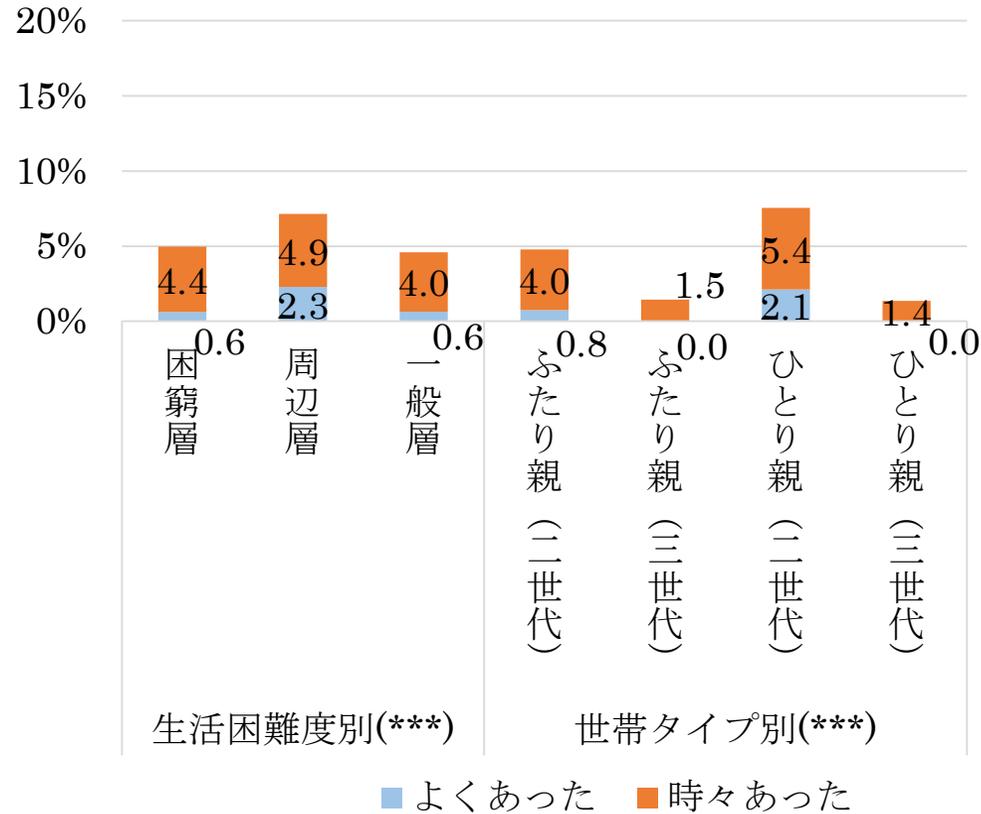
夜まで留守番したことがある小5は4.7%、 中2は13.5%

夜まで子どもだけで過ごした経験

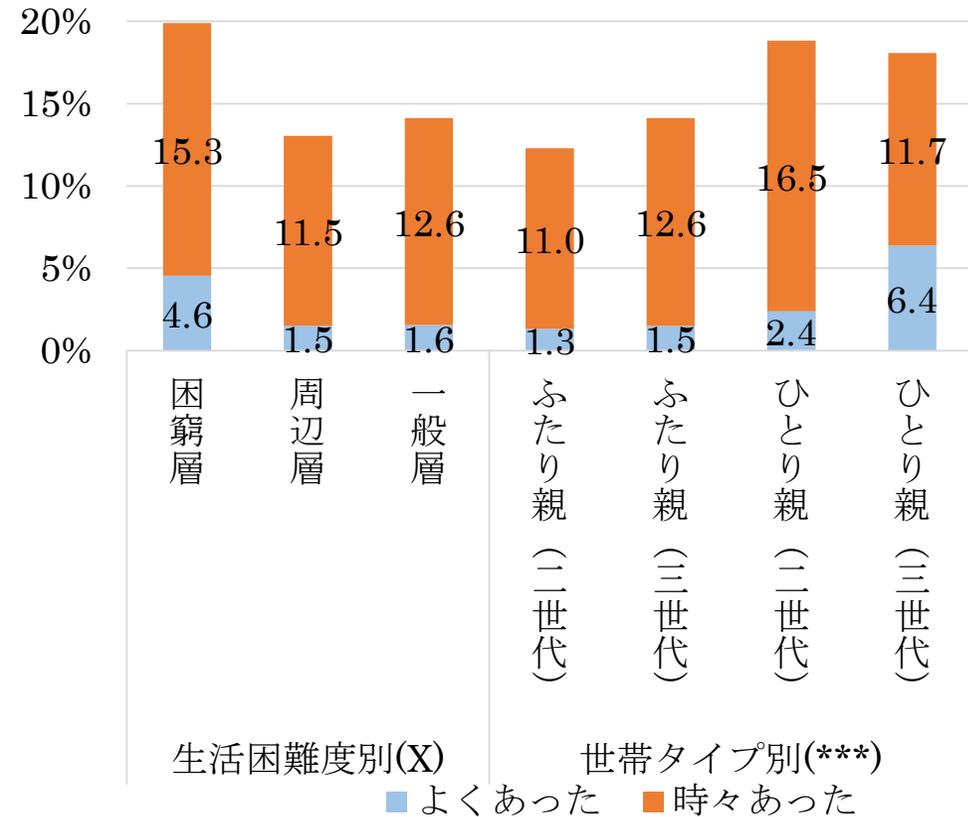


夜まで留守番：小5は周辺層、ひとり親（二世代）が多い（7%）。中2は困窮層、ひとり親世帯が多い（約2割）。

夜までの留守番（小学5年生）



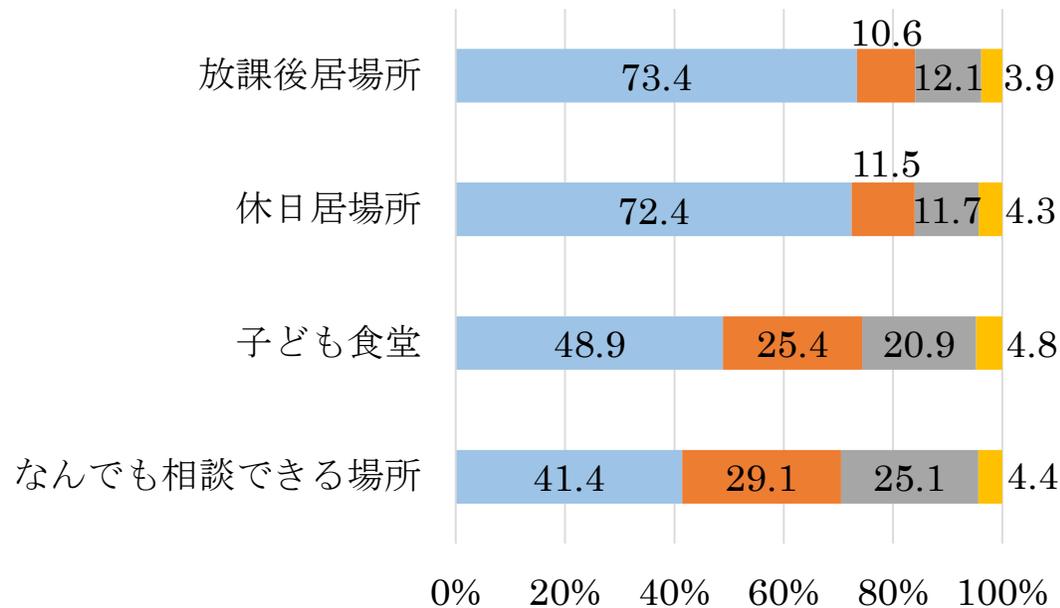
夜までの留守番（中学2年生）



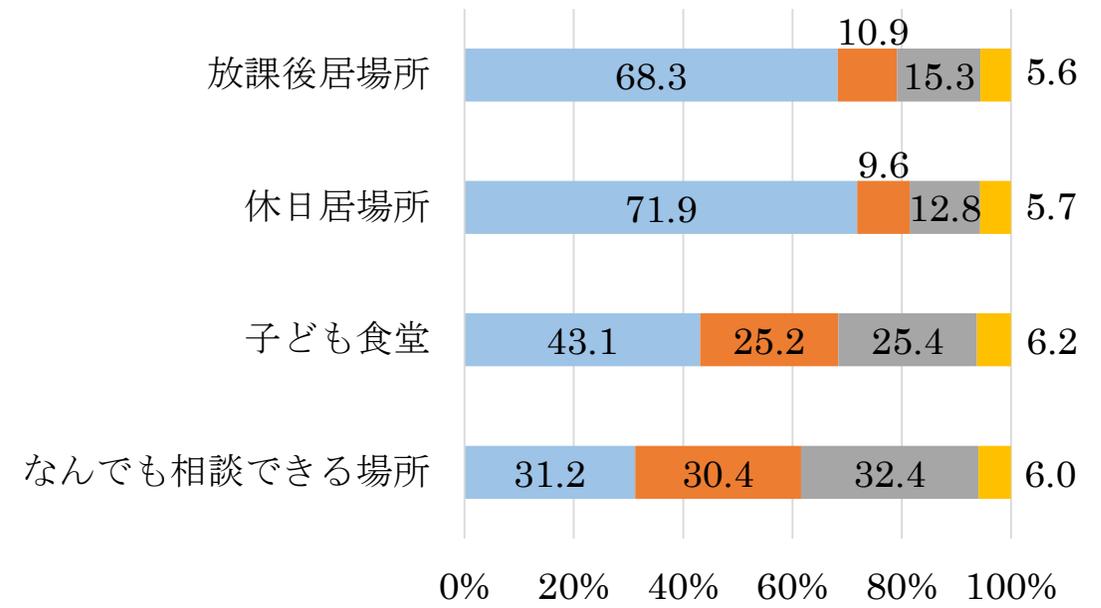
居場所支援ニーズ

放課後の居場所・休日の居場所・子ども食堂・なんでも相談できるところの利用意向

小学5年生



中学2年生



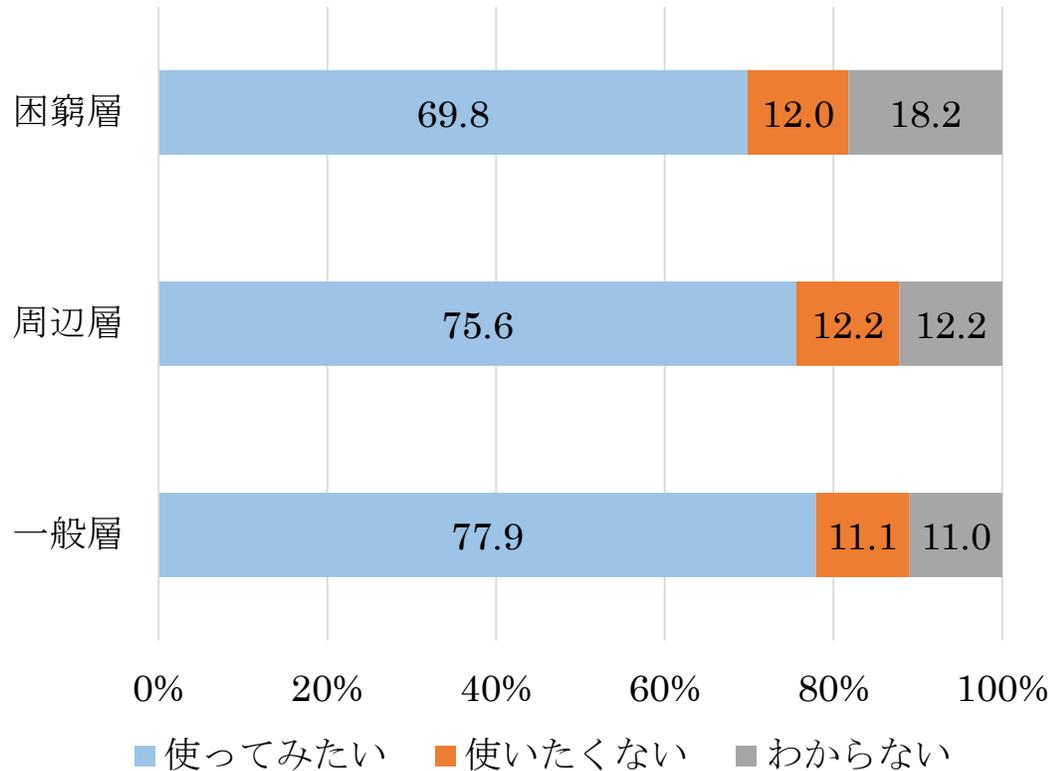
■使ってみいたい ■使いたくない ■わからない ■無回答

■使ってみいたい ■使いたくない ■わからない ■無回答

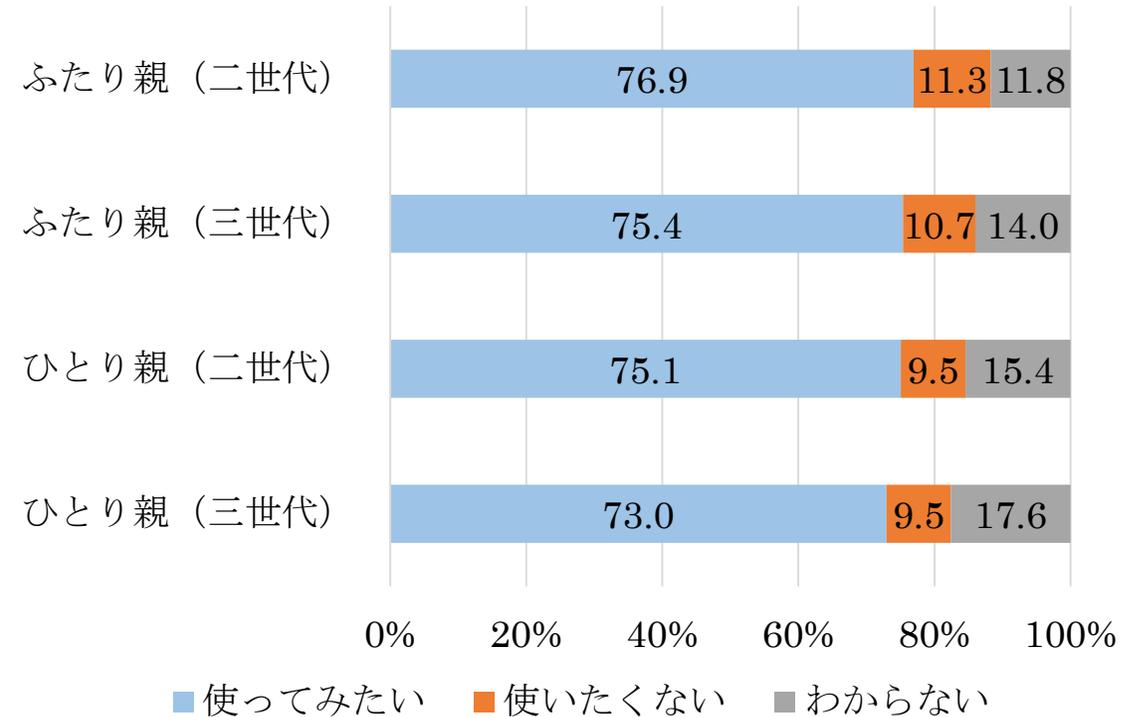
- 放課後、休日の居場所事業は、小5、中2の約7割が利用意向あり
- 子ども食堂のようなところは、小5の約5割、中2の約4割が利用意向あり
- なんでも相談できるところは、小5の約4割、中2の約3割が利用意向あり

放課後の居場所は小5の周辺層、一般層 で利用意向が多い（8割弱）

放課後居場所（小学5年生）（*）

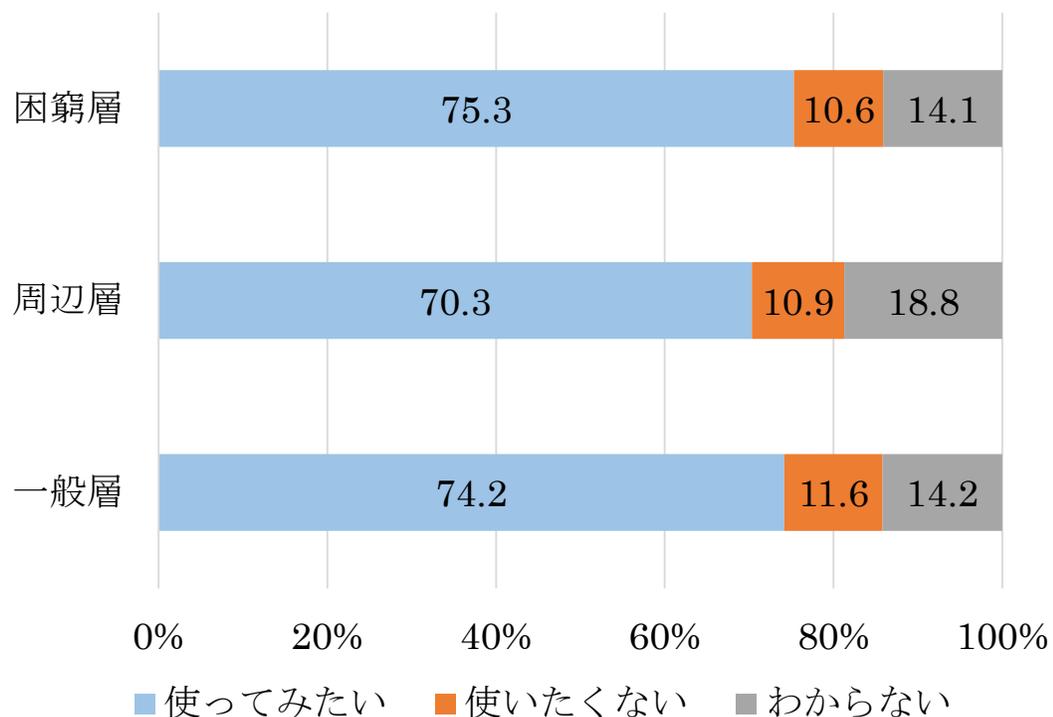


放課後居場所（小学5年生）：世帯タイプ別
（X）

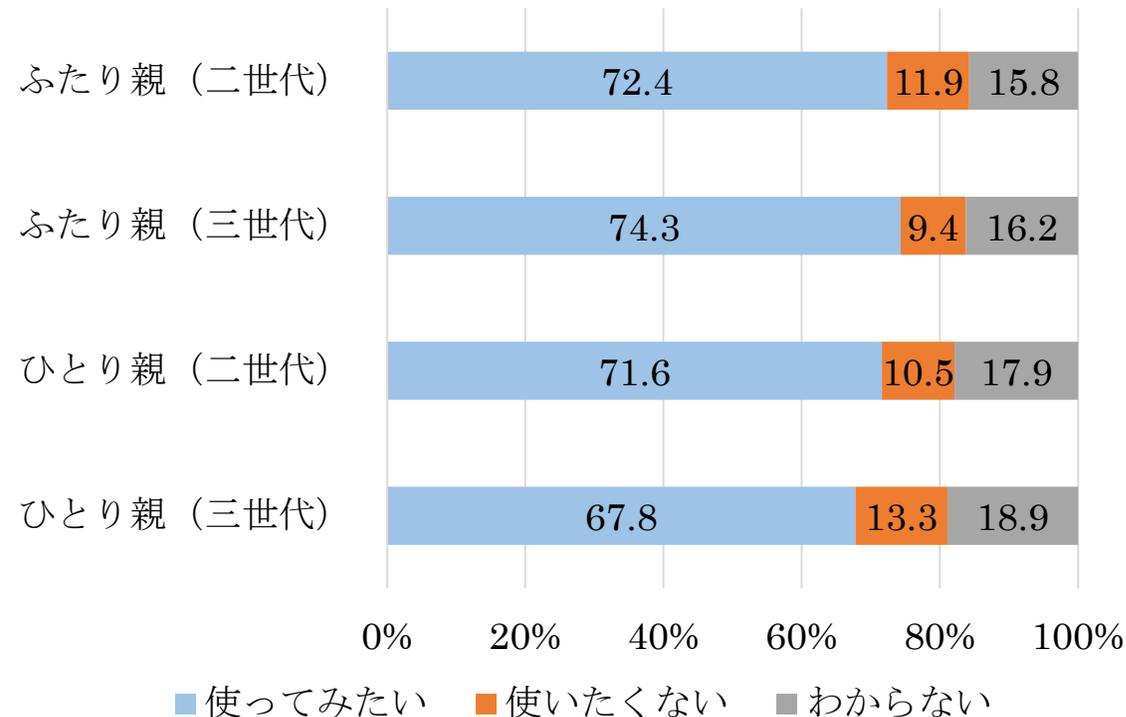


放課後の居場所は、中2の場合、生活困難度別、世帯タイプ別に違いはみられない

放課後居場所（中学2年生）：生活困難度別(X)

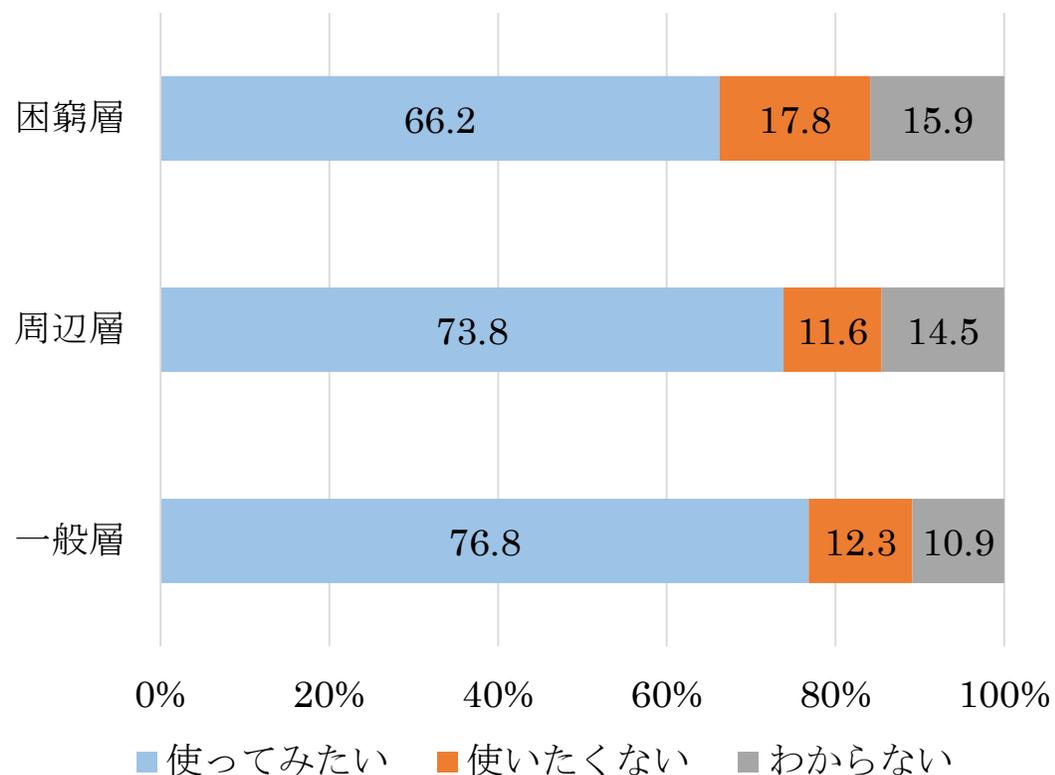


放課後居場所（中学2年生）：世帯タイプ別(X)

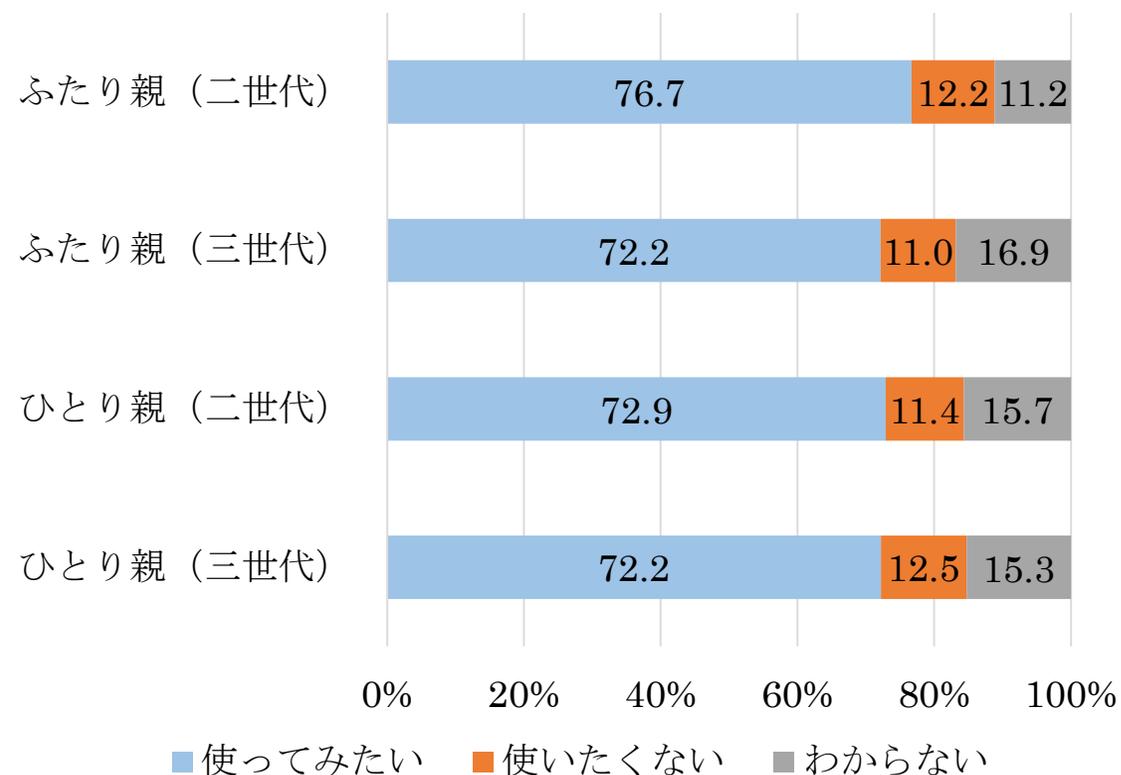


休日の居場所は小5の一般層、ふたり親（二世代）で利用意向が多い（8割弱）

休日居場所（小学5年生）（**）

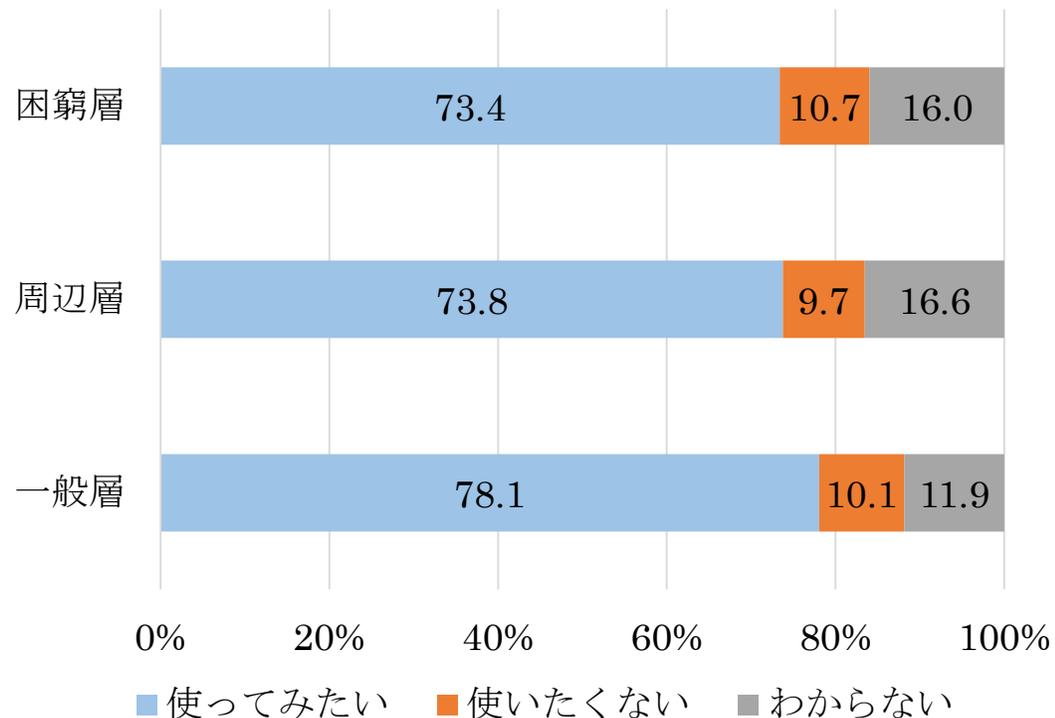


休日居場所（小学5年生）（**）

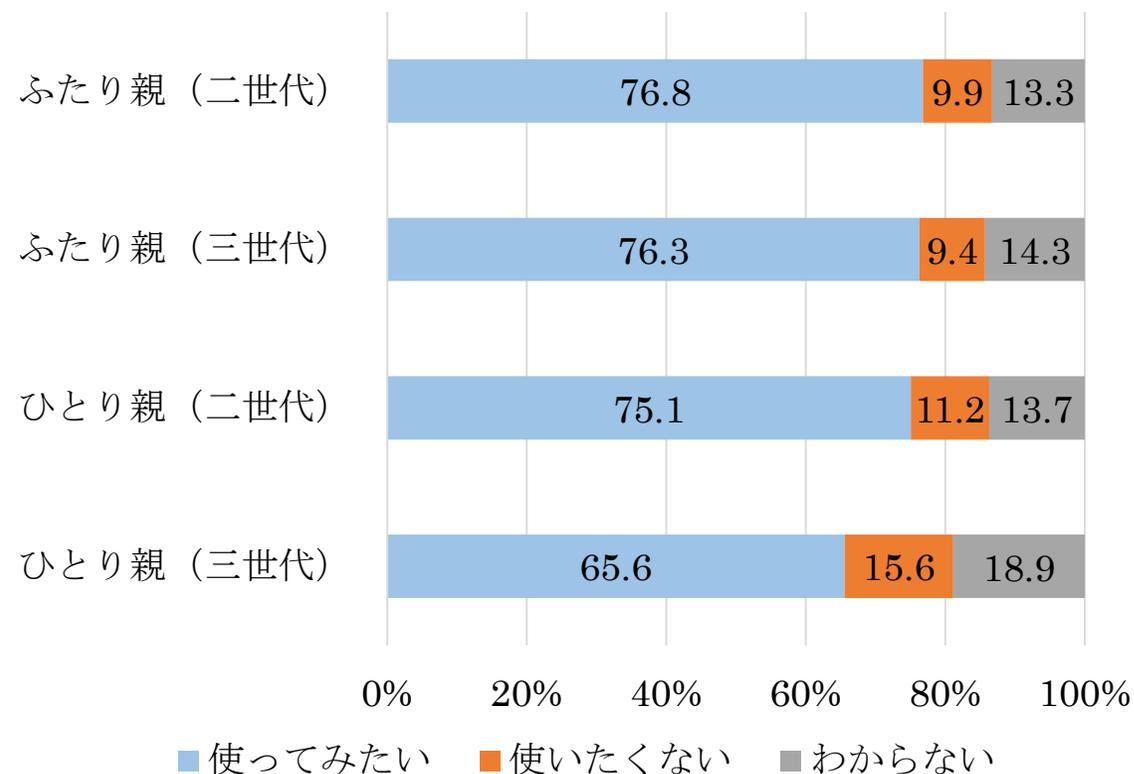


休日の居場所は、中2の場合、生活困難度別、世帯タイプ別に違いはみられない

休日居場所（中学2年生）：生活困難度別
(X)

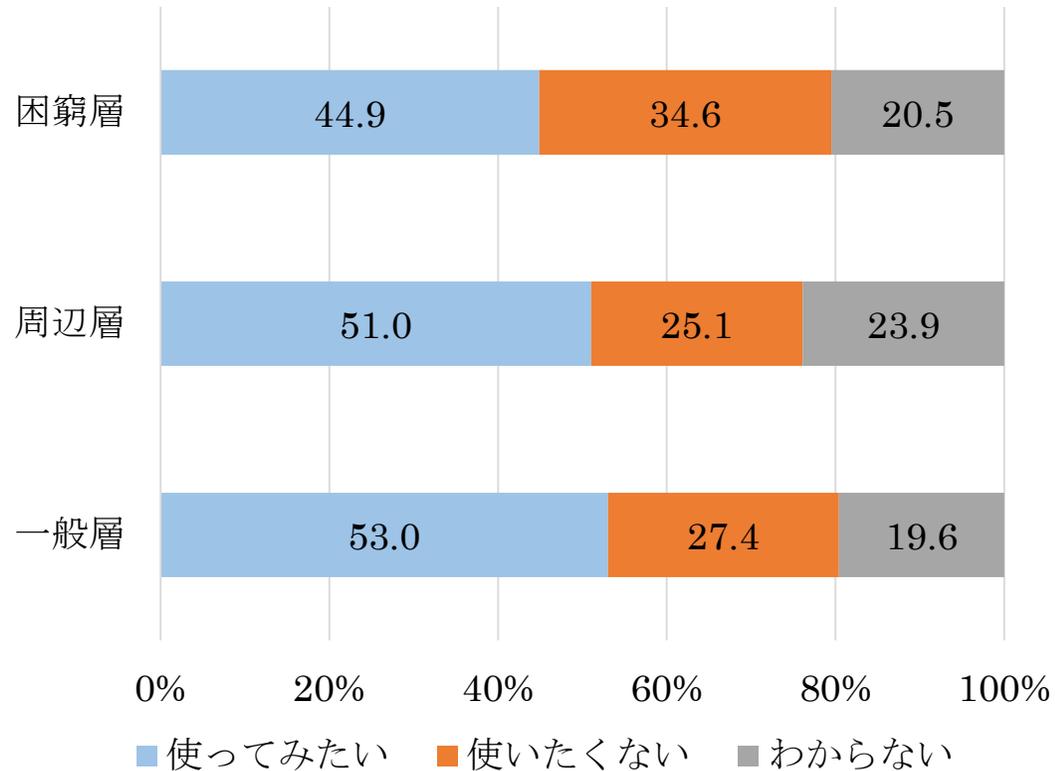


休日放課後（中学2年生）：世帯タイプ別(X)

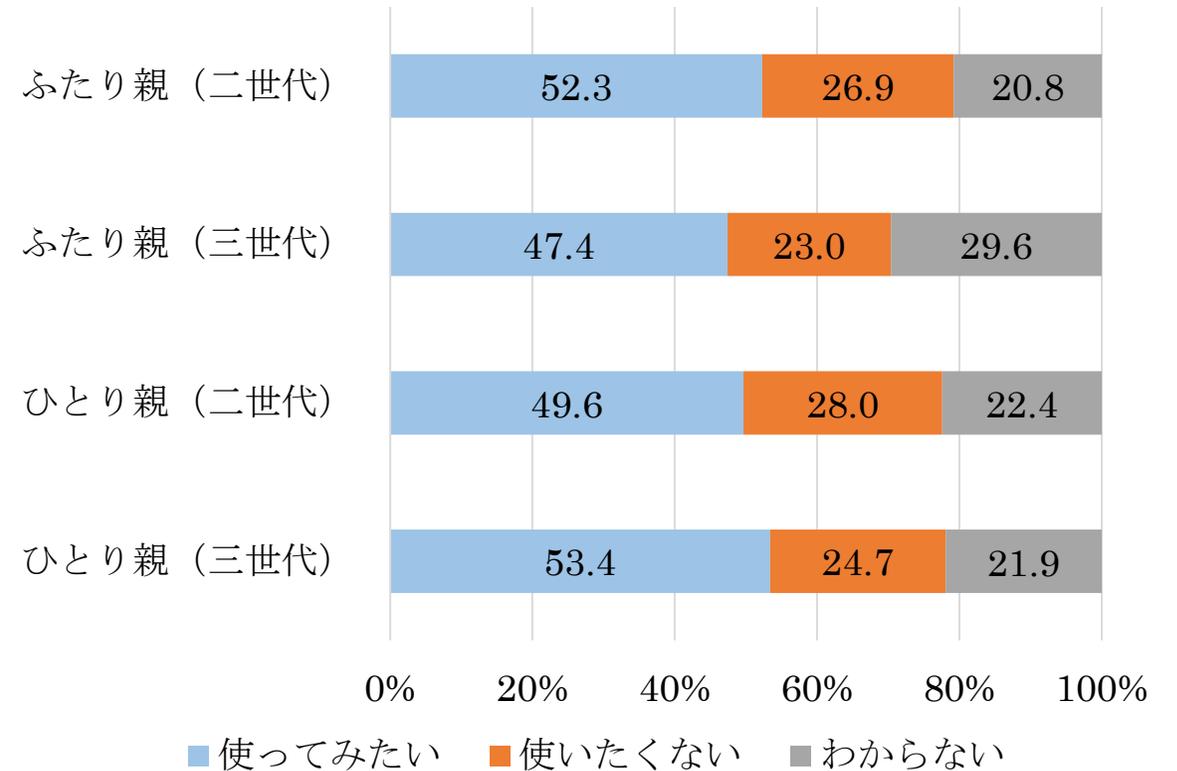


子ども食堂の利用意向はいずれも5割程度、「わからない」が2~3割で、今後の展開、周知により利用意向は変わると考えられる

子ども食堂（小学5年生）（*）

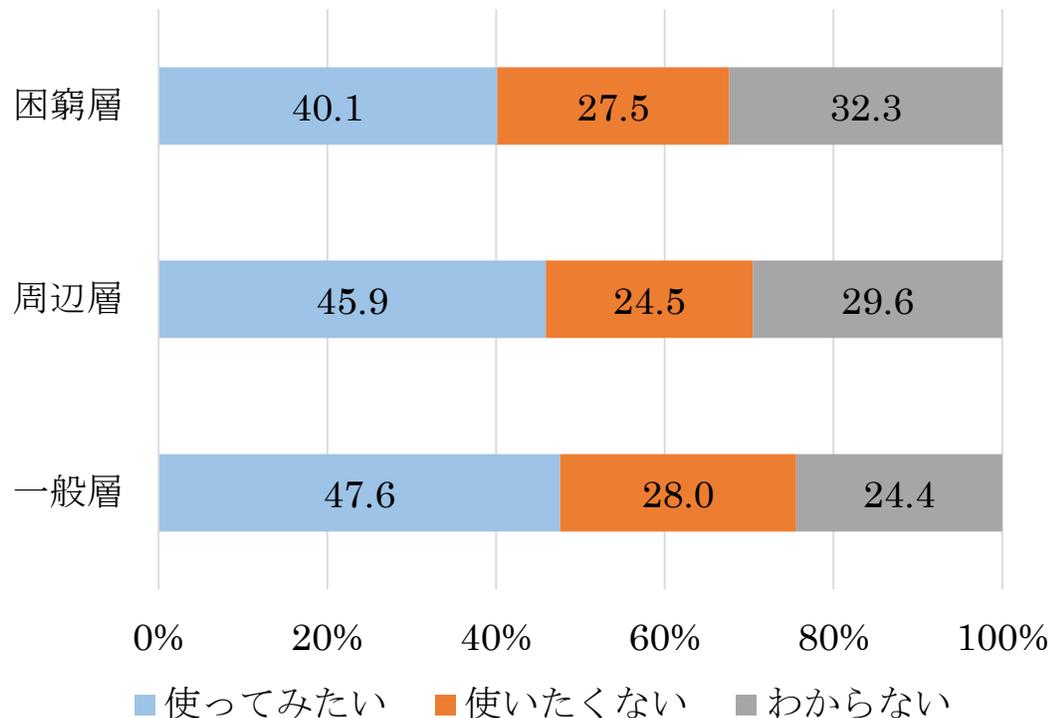


子ども食堂（小学5年生）（*）

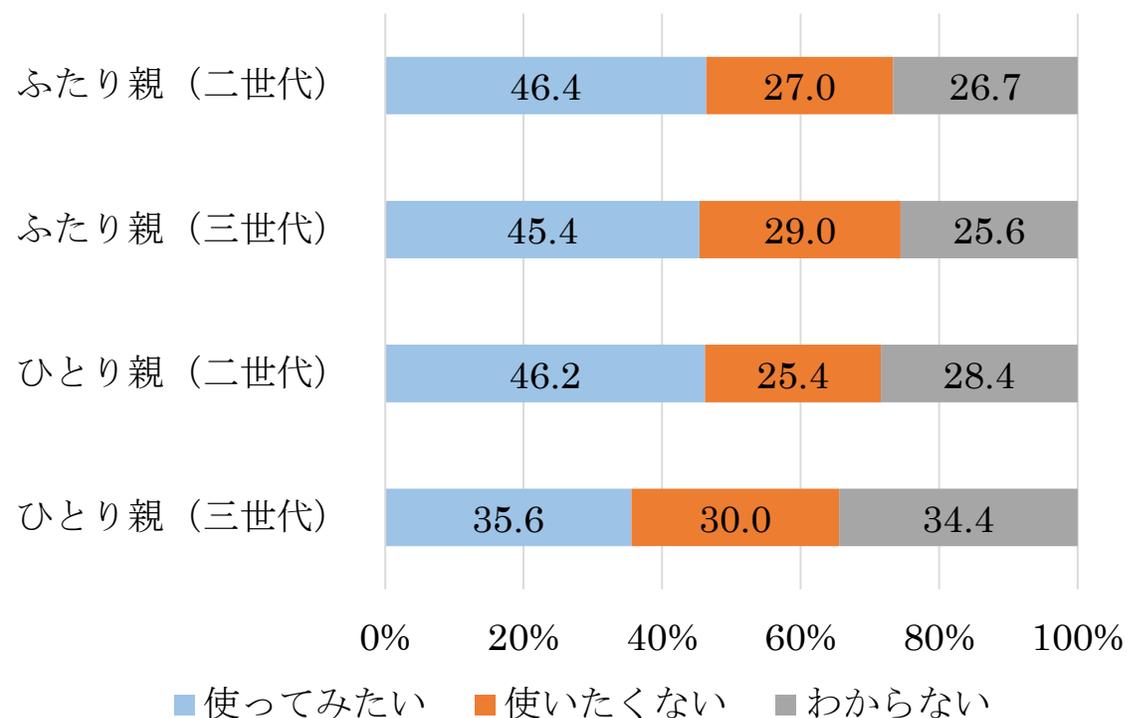


子ども食堂の利用意向は中2の困窮層、ひとり親（三世代）ではやや少ない

子ども食堂（中学2年生）：生活困難度別
(*)

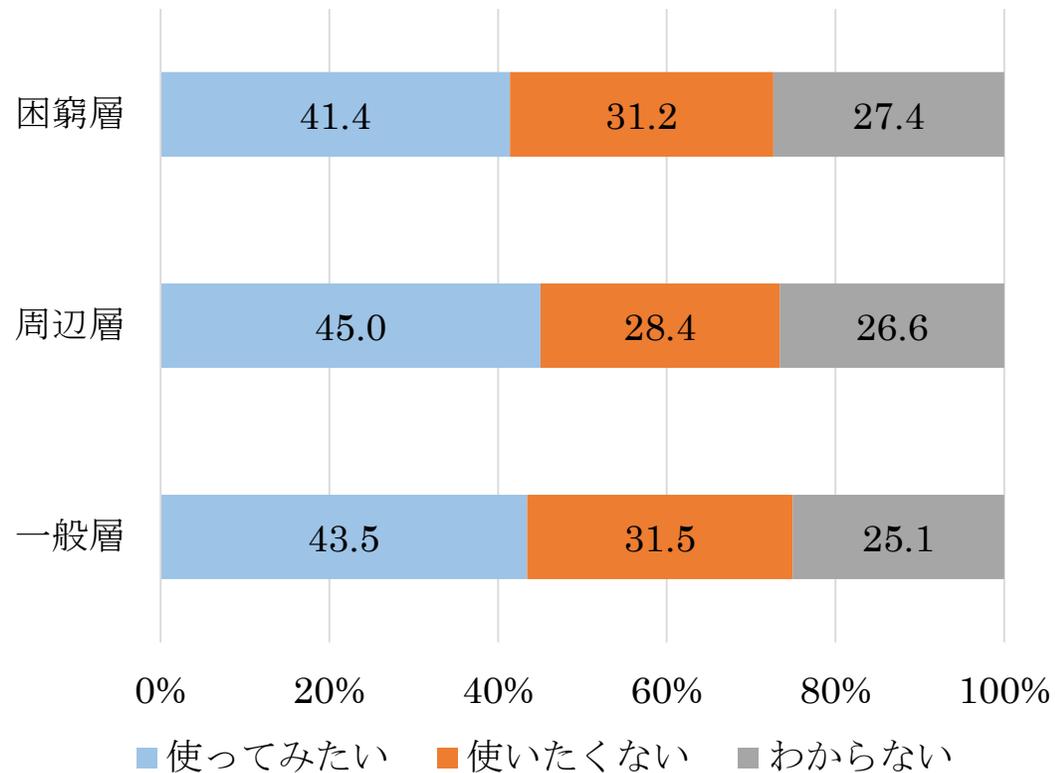


子ども食堂（中学2年生）：世帯タイプ別
(X)

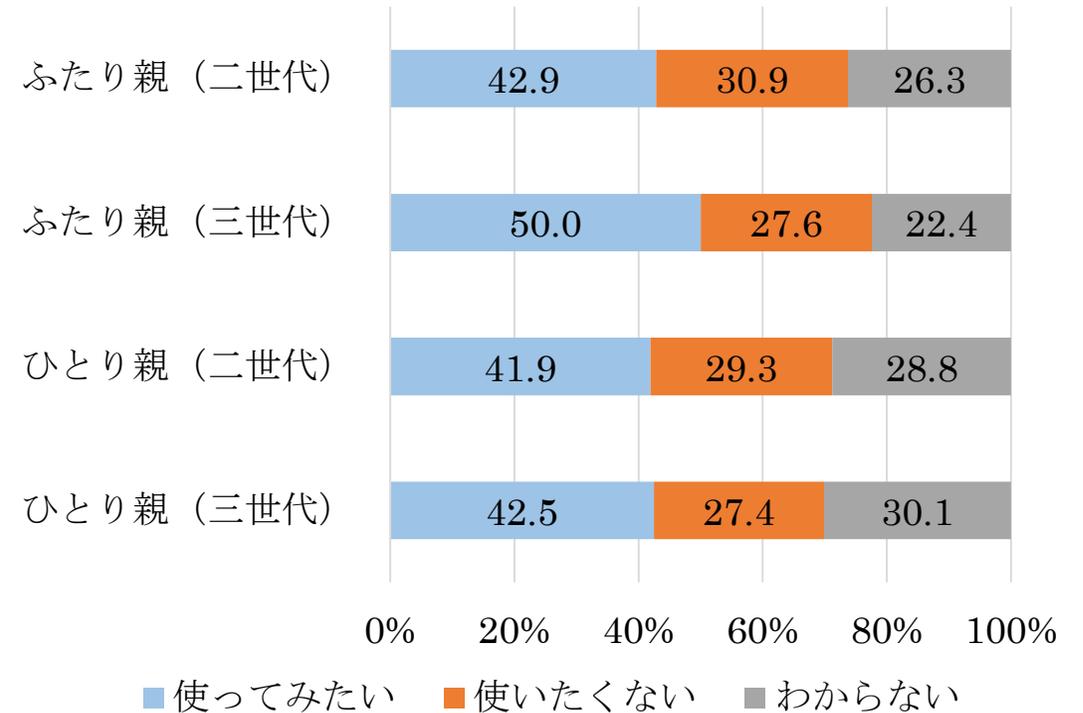


何でも相談できるところの利用意向は、小5では生活困難度別、世帯タイプ別に差はみられない

何でも相談できる場所（小学5年生）(X)

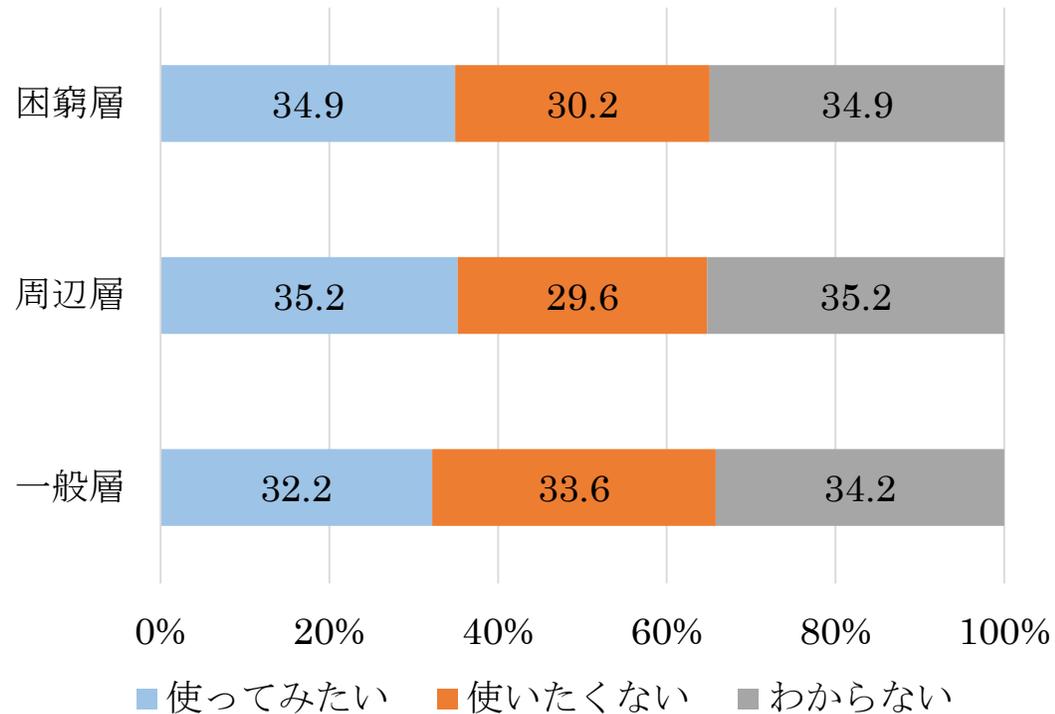


何でも相談できる場所（小学5年生）：世帯タイプ別(X)

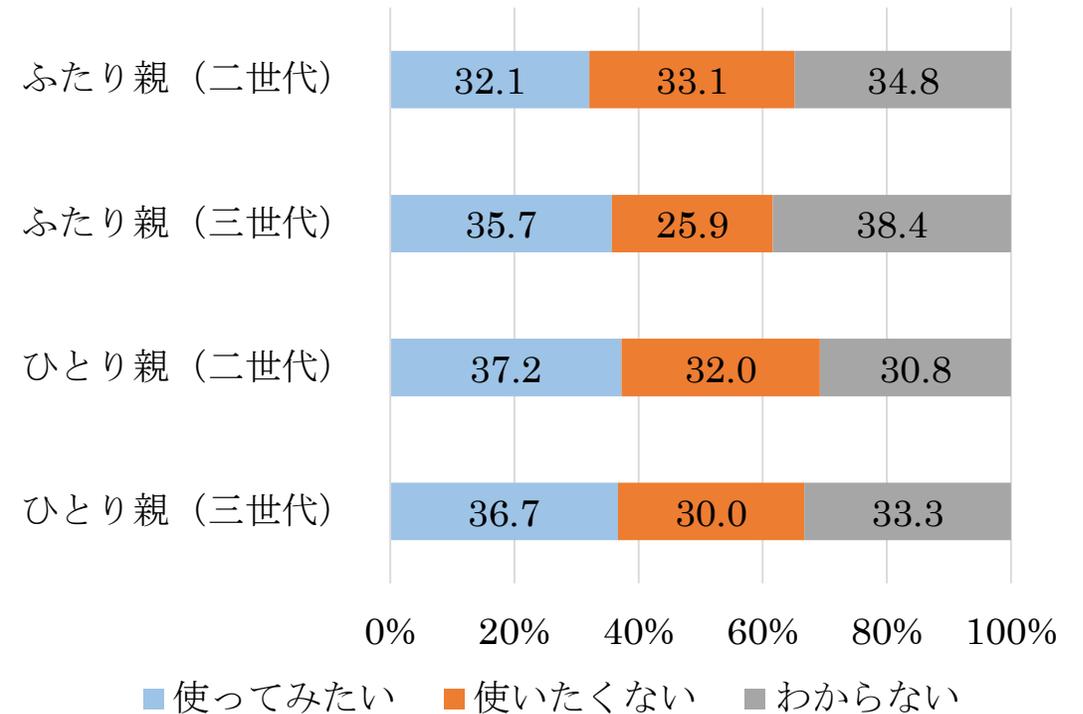


何でも相談できるところの利用意向は、中2 では、ひとり親世帯でやや多い（37%）

何でも相談できる場所（中学2年生）：生
活困難度別(X)



なんでも相談できる場所（中学2年生）：
世帯タイプ別(*)

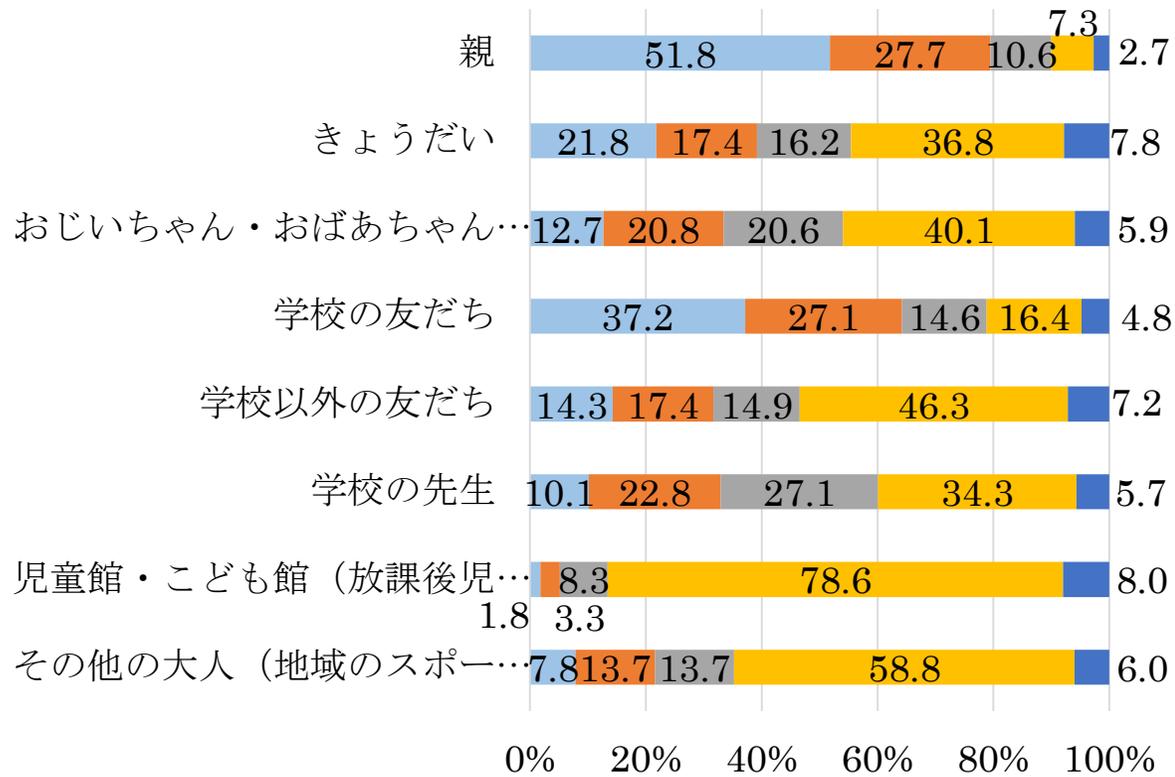


孤立の状況

- ・ 楽しいことや悲しいこと、悩み事を話せる人

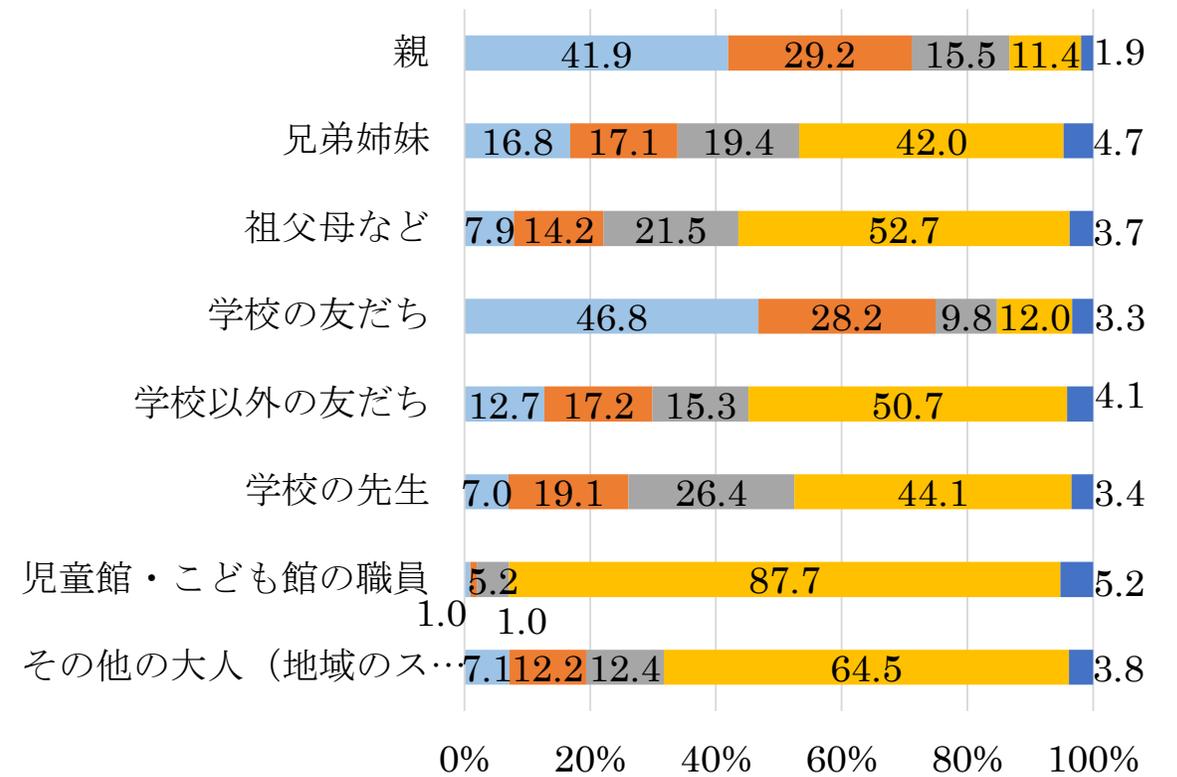
小中学生が楽しいことや悩みなどを「よく話す」相手は「親」「学校の友達」が多い

会話の頻度（小学5年生）



よく話す 時々話す あまり話さない
 ぜんぜん話さない 無回答

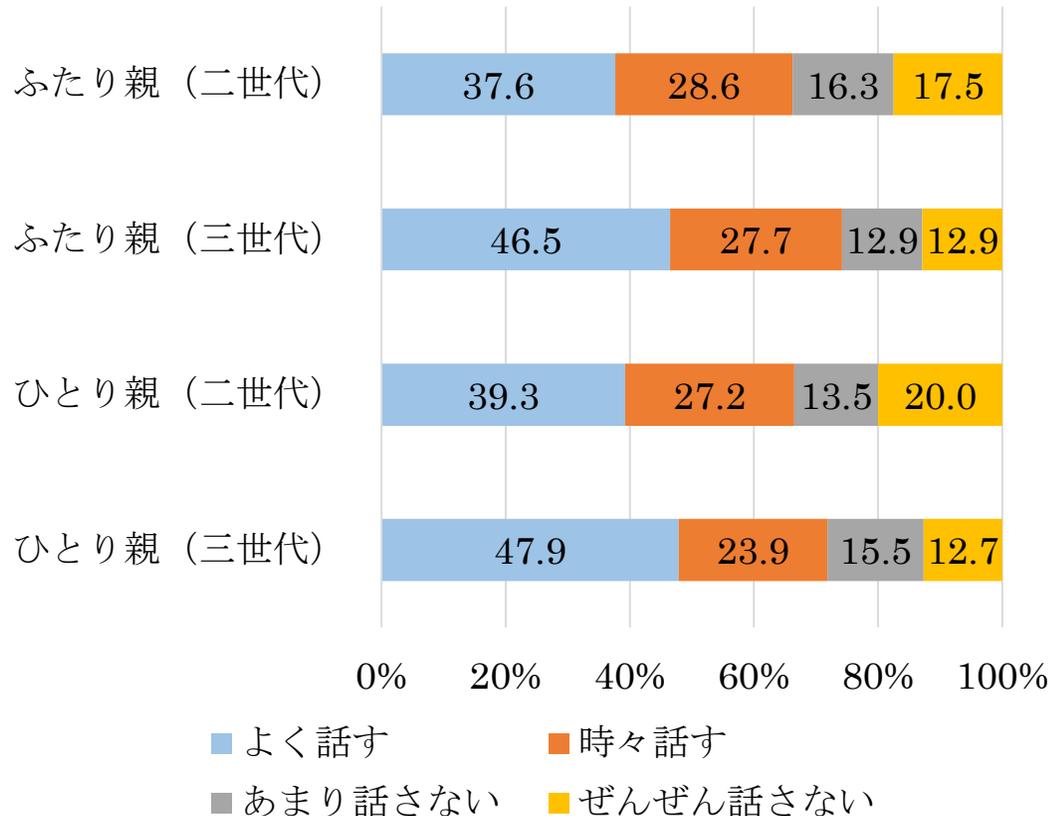
会話の頻度（中学2年生）



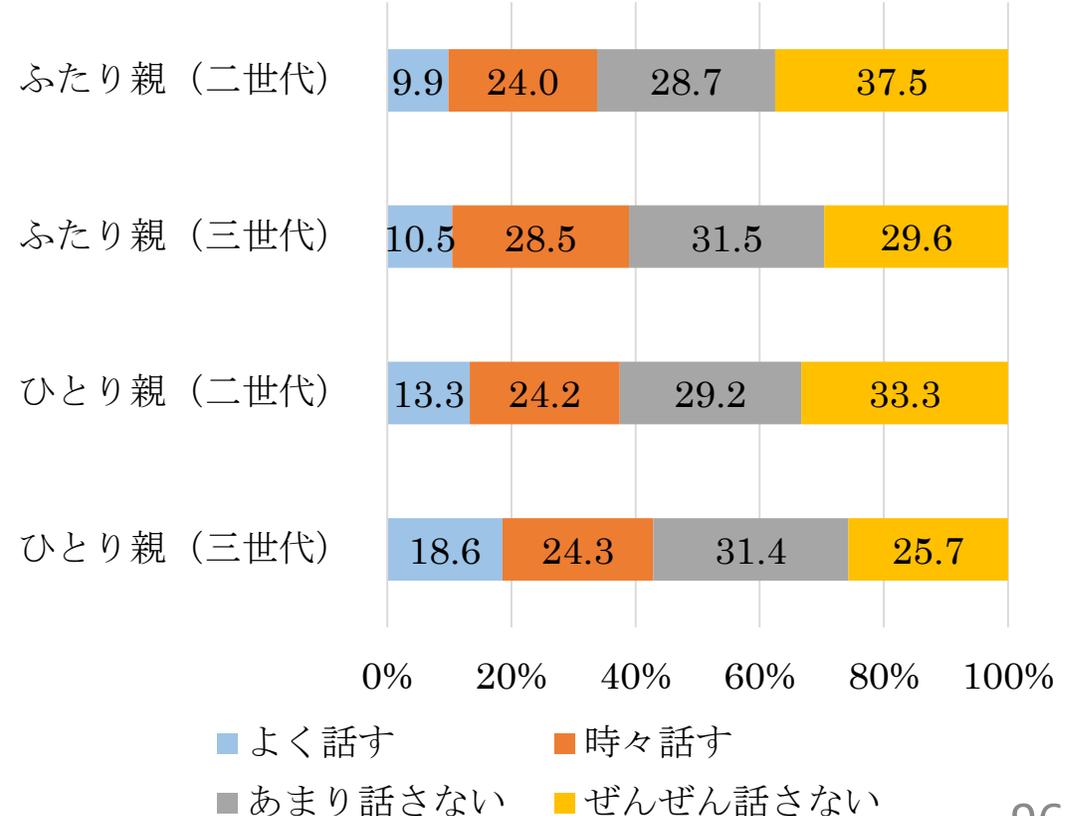
よく話す 時々話す あまり話さない
 ぜんぜん話さない 無回答

小5：「学校の友だち」とよく話すのは三世代世帯の子ども（5割弱）、「学校の先生」とよく話すのはひとり親（三世代）の子ども（2割弱）

学校の友だち（小学5年生）：世帯タイプ別(*)

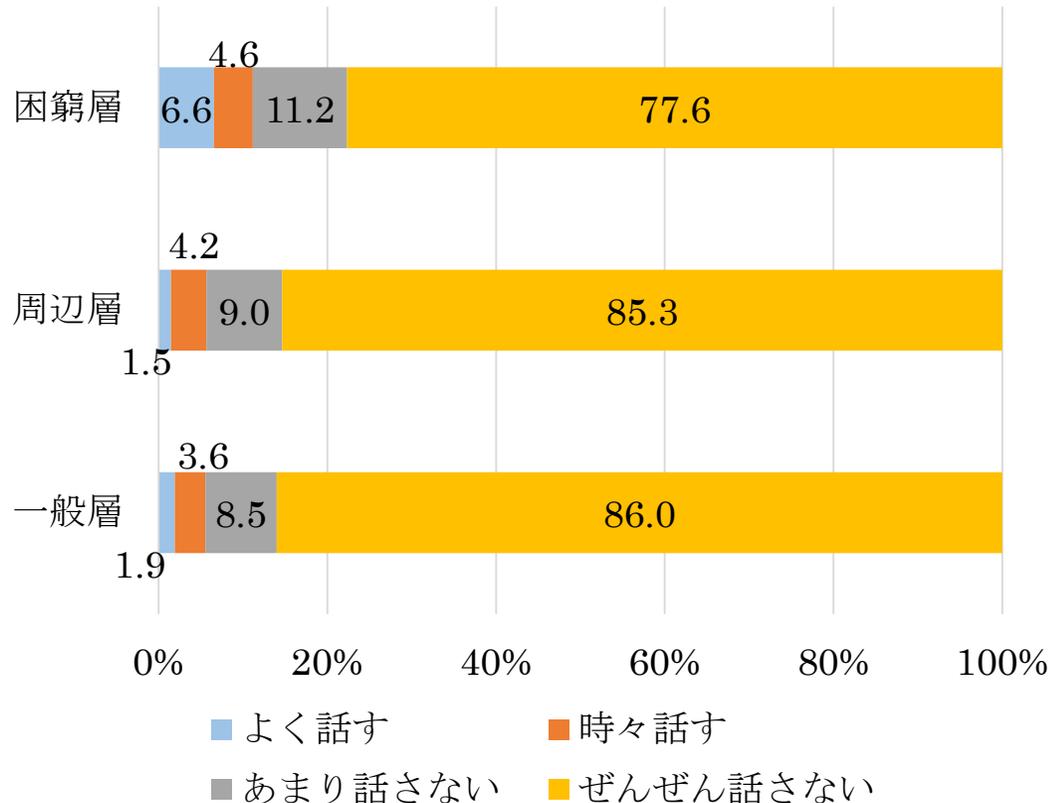


学校の先生（小学5年生）：世帯タイプ別(**)

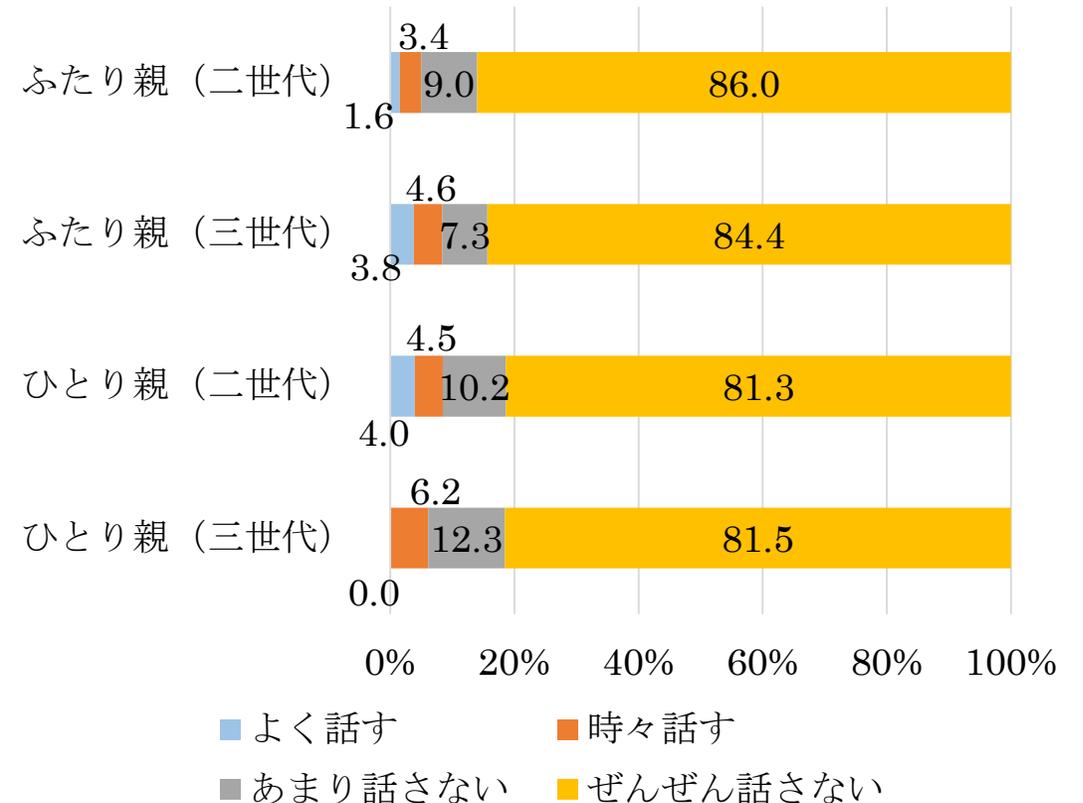


小5：「児童館・子ども館の職員」とよく話すのは、困窮層（6.6%）、ふたり親（三世代）、ひとり親（二世代）の子ども（約4%）

児童館・こども館の職員（小学5年生）：
生活困難度別(***)

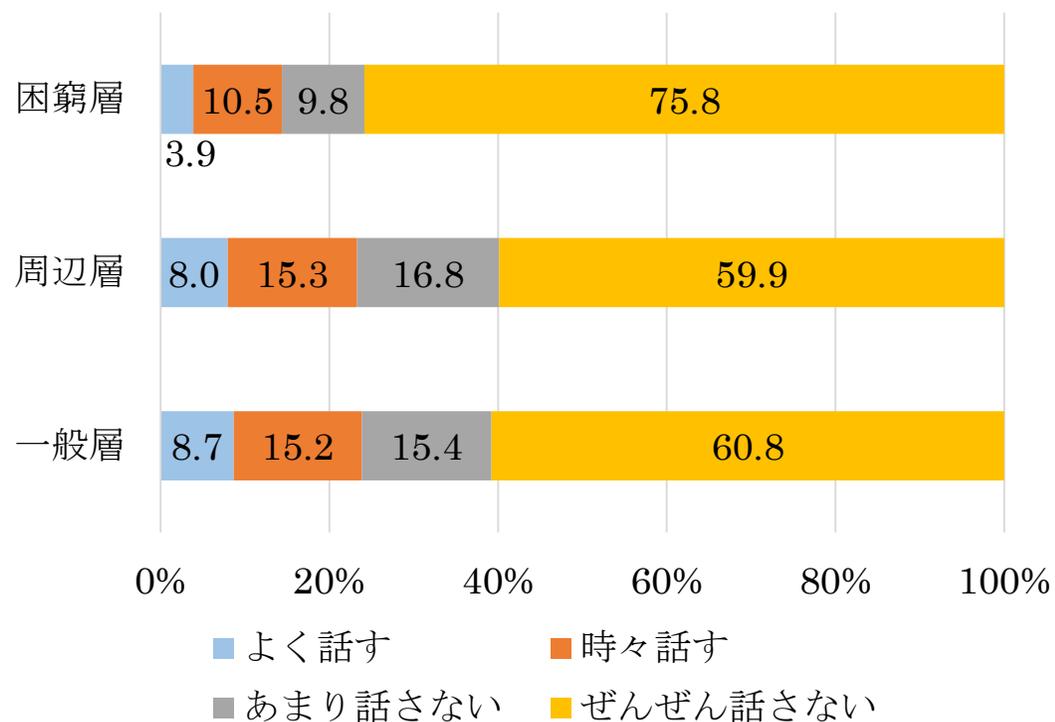


児童館・こども館の職員（小学5年生）：
世帯タイプ別(***)

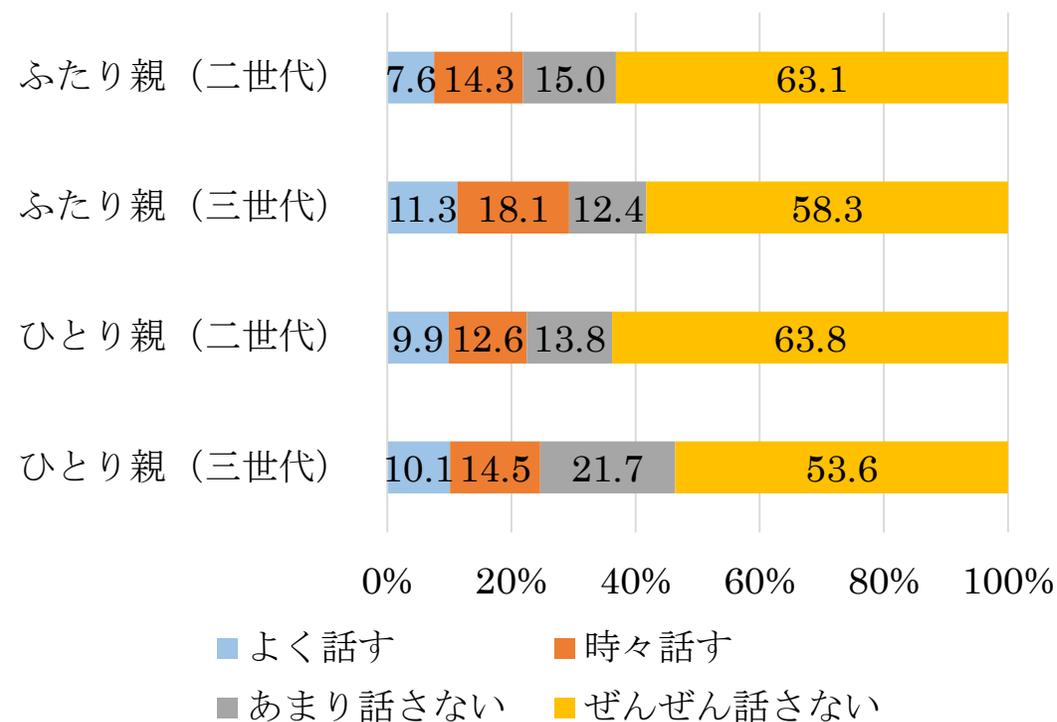


小5：「その他の大人」とよく話すのは、周辺層、一般層、ふたり親（三世代）、ひとり親世帯（約1割）

その他の大人（小学5年生）：生活困難度別(**)

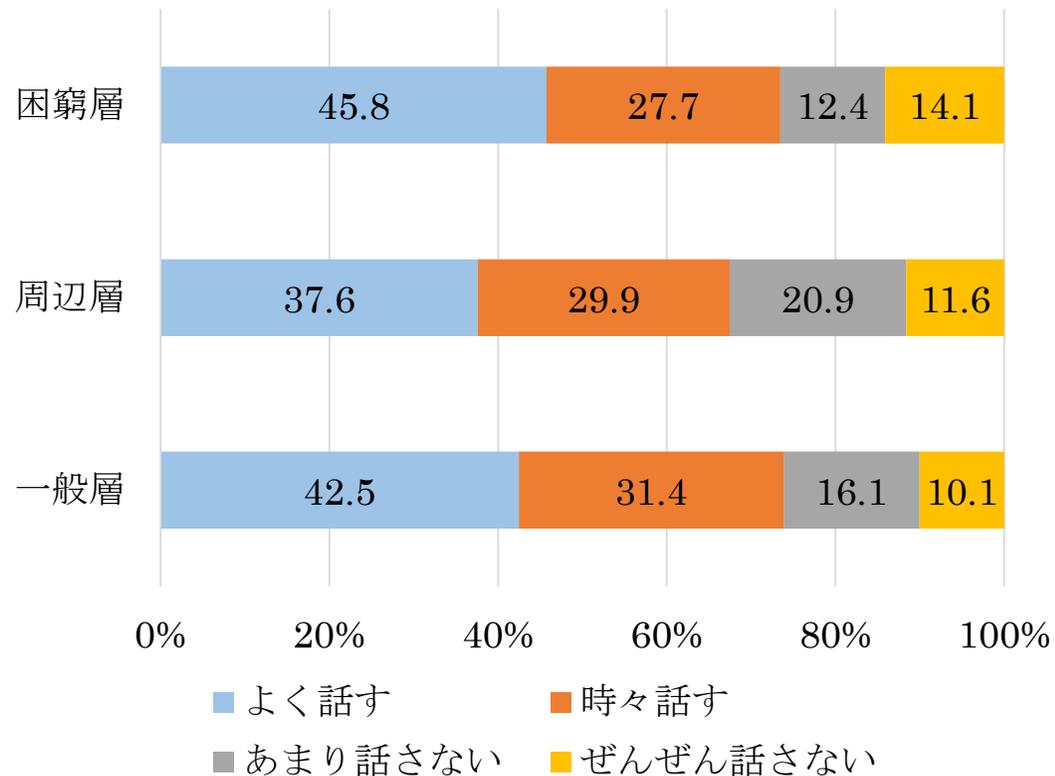


その他の大人（小学5年生）：世帯タイプ別(*)

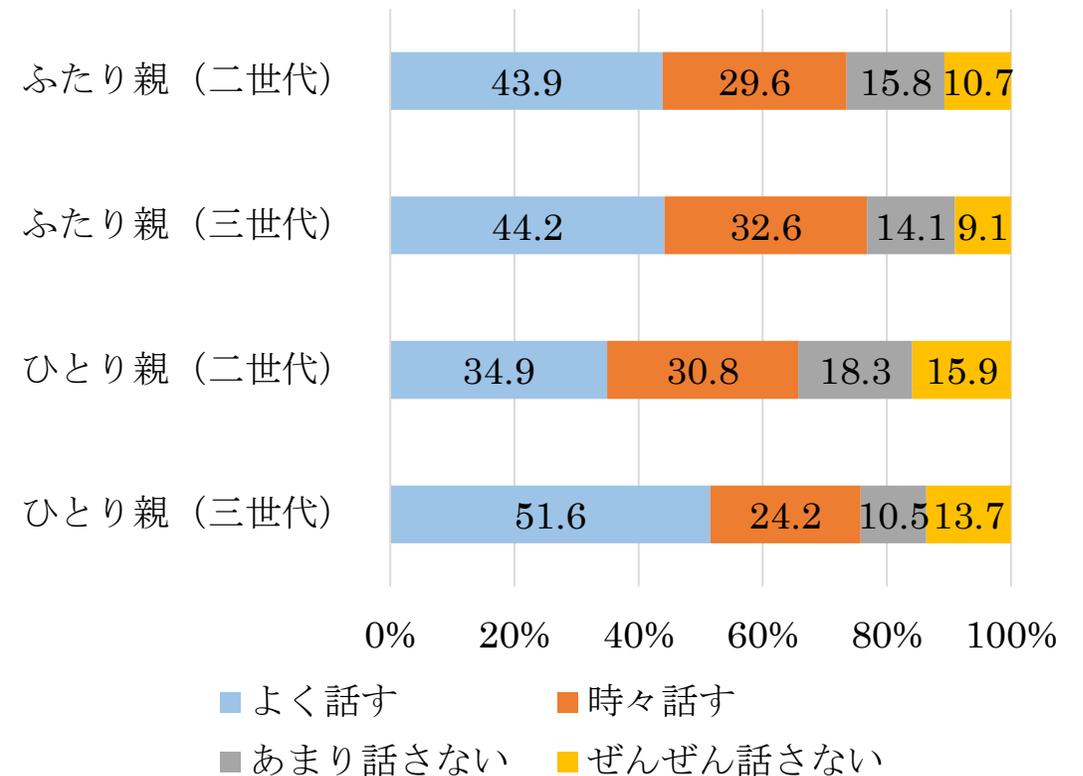


中2：周辺層、ひとり親（二世代）の中2は「親」とあまり話さない傾向

親（中学2年生）：生活困難度別(*)

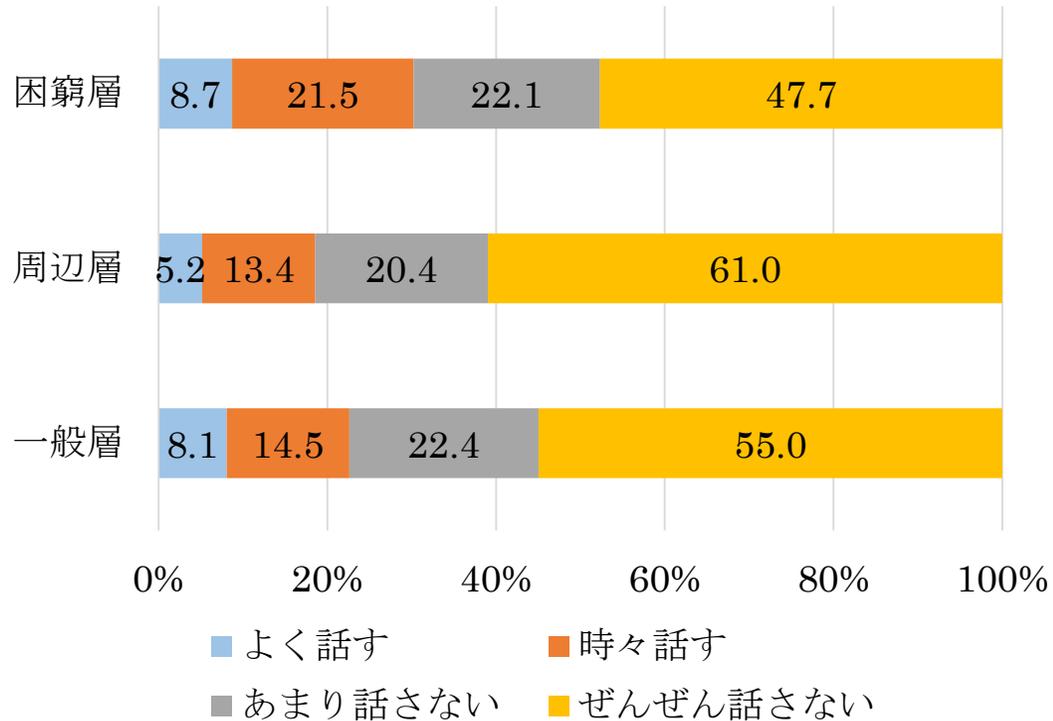


親（中学2年生）：世帯タイプ別(***)

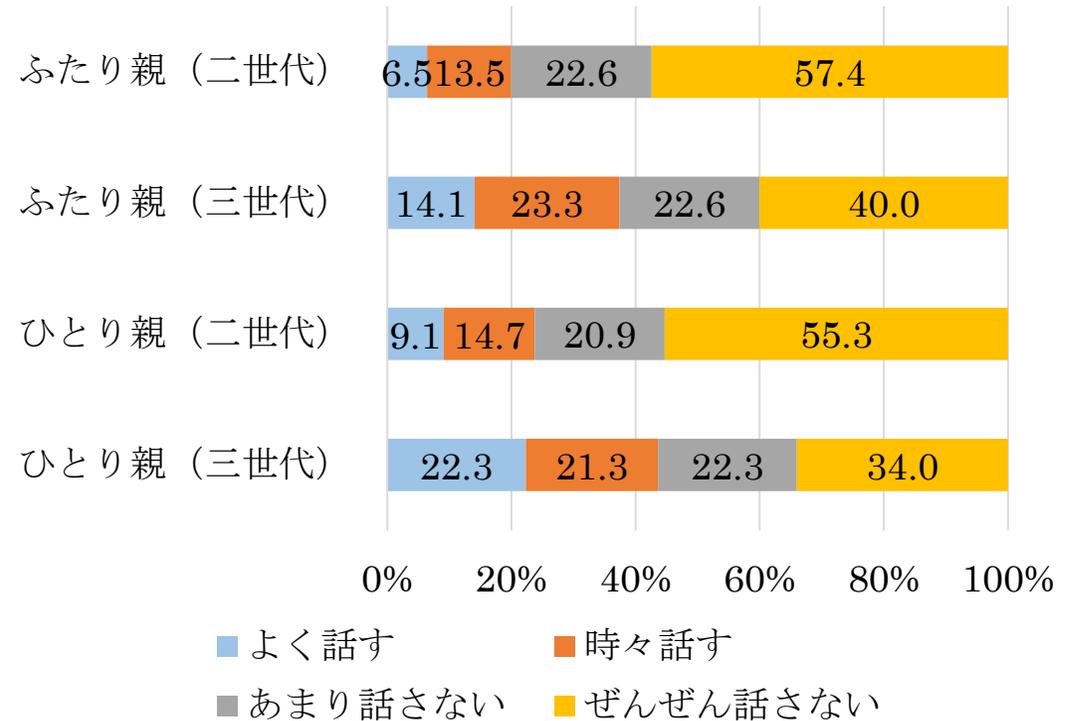


中2：「祖父母」とよく話すのは、困窮層、一般層、三世代世帯、特にひとり親（三世代）の子ども

祖父母など（中学2年生）：生活困難度別
(**)

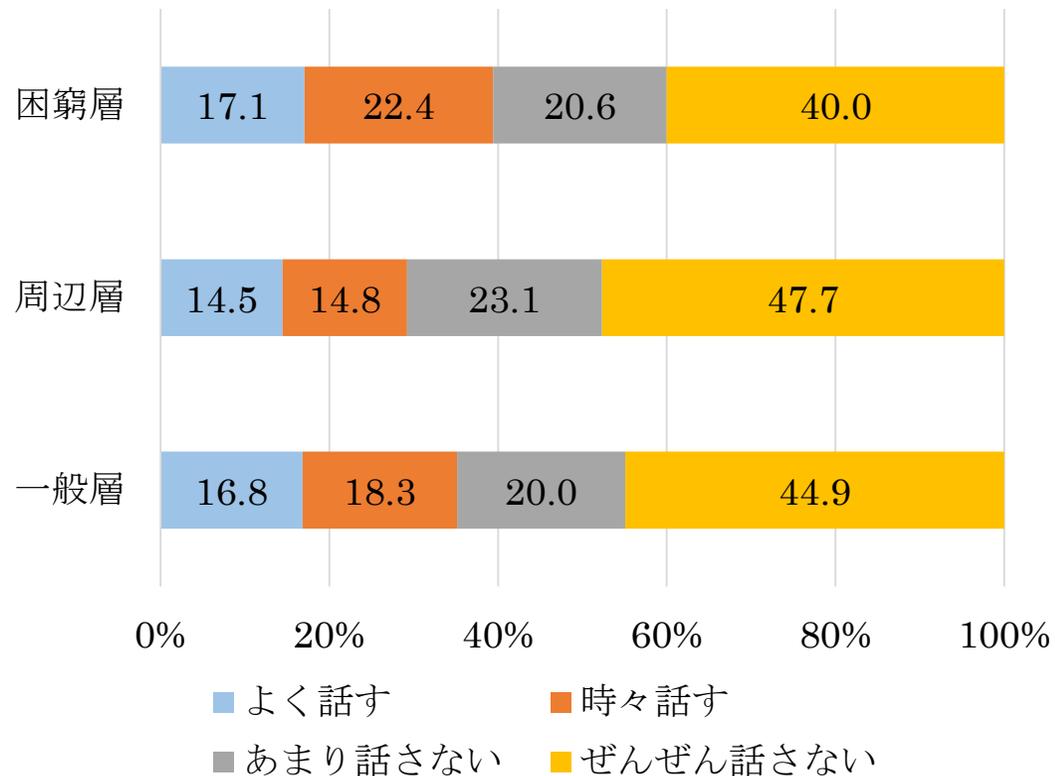


祖父母など（中学2年生）：世帯タイプ別
(***)

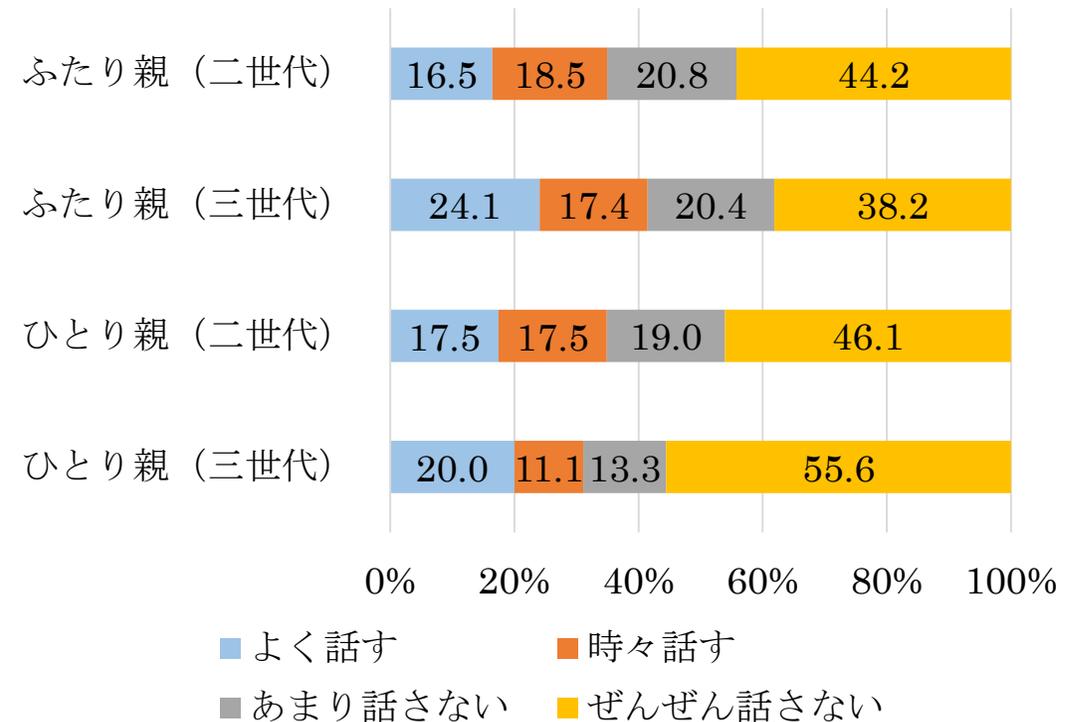


中2：「兄弟姉妹」とよく話すのは三世 代世帯の子ども（20～24%）

兄弟姉妹（中学2年生）：生活困難度別(X)

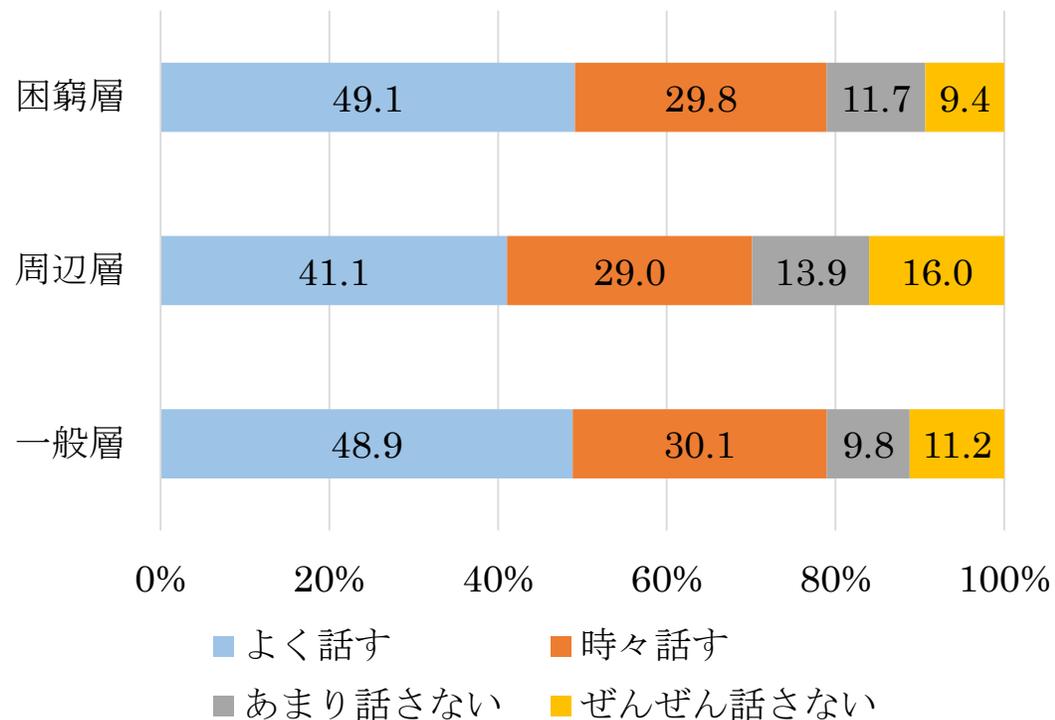


兄弟姉妹（中学2年生）：世帯タイプ別
(**)

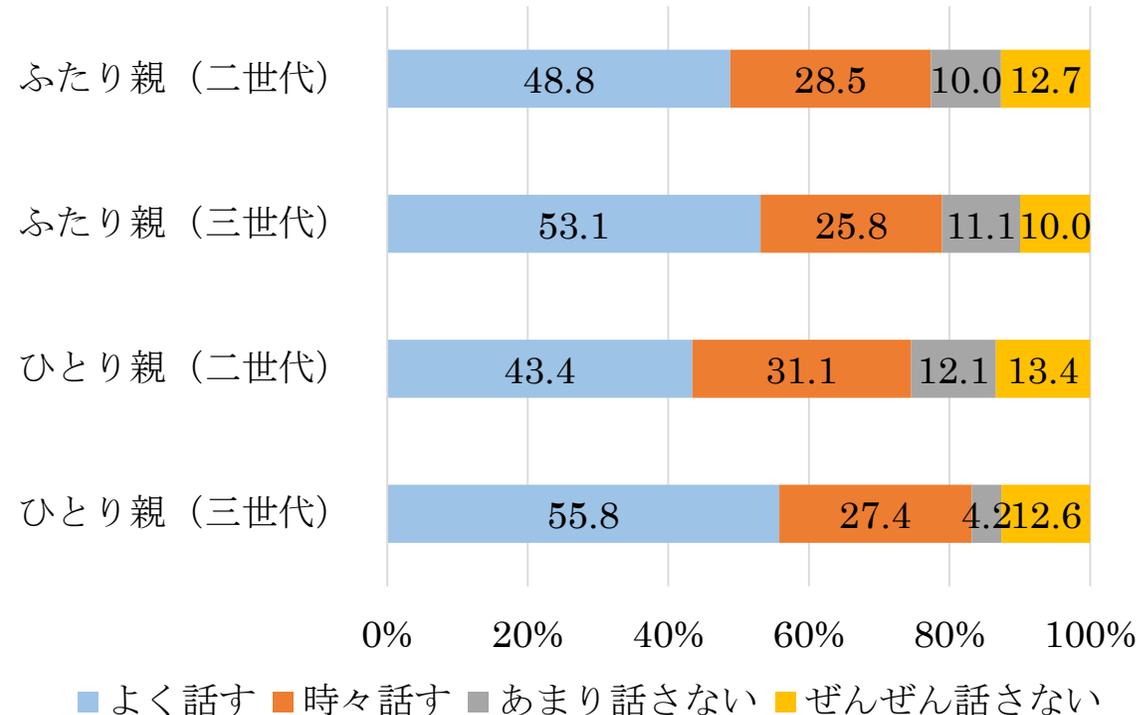


中2：周辺層の子どもは「学校の友だち」とあまり話さない傾向

学校の友だち（中学2年生）：生活困難度別(**)

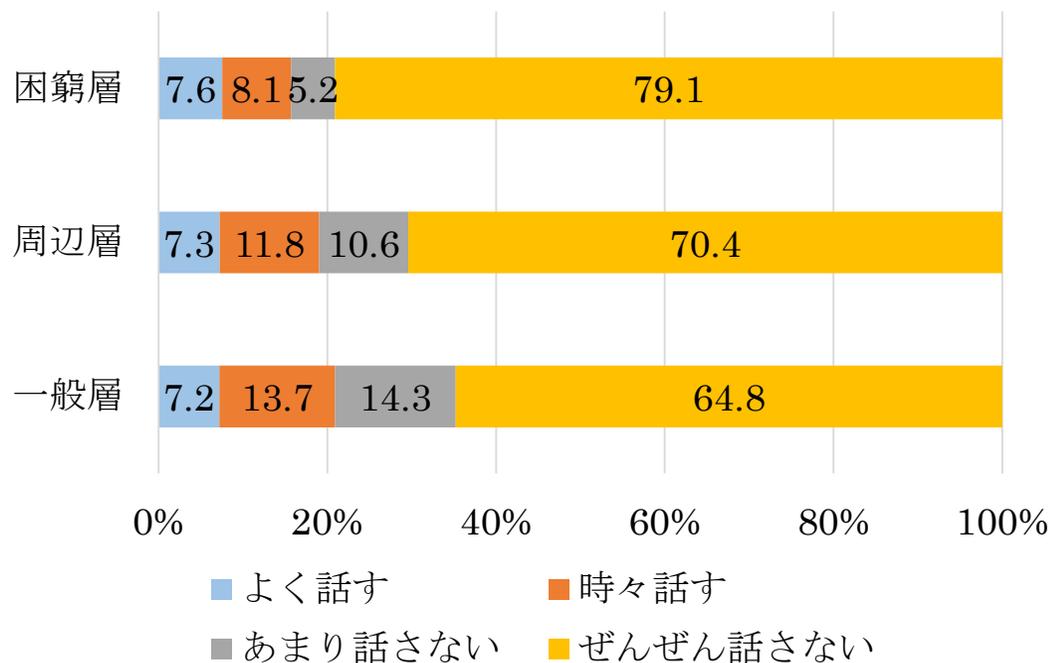


学校の友だち（中学2年生）：世帯タイプ別(X)



中2：「その他の大人」と話す困窮層は約16%である

その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）（中学2年生）：生活困難度別(***)



その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）（中学2年生）：世帯タイプ別(X)

